

令和8年度 弘前市社会福祉センター改修工事（建築工事）（ゼロ市債）特記仕様書

I. 工事概要

1. 工事場所

青森県弘前市大字宮園二丁目8番地1ほか

2. 敷地面積

6,159.82㎡

3. 工事種目

1) 体育館棟・渡り廊下B棟 鉄骨造 1階建
延べ面積 491.85㎡

改修一式

4. 工事内容

1) 体育館棟・渡り廊下B棟

－ 1. 屋根改修を行う。

－ 2. 外壁改修を行う。

－ 3. 内・外装改修を行う。

－ 4. 建具改修を行う。

－ 5. 塗装改修を行う。

－ 6. 環境配慮改修を行う。

－ 7. 屋外付帯改修を行う。

ポーチ・スロープ・犬走り・側溝

5. 指定部分

・有 対象部分（ ）
指定部分工期 年 月 日
・無

6. 工事範囲

※「3. 工事種目」すべてを工事範囲とする。
・「3. 工事種目」のうち _____ の工事範囲は
下記のとおりとする。

II. 建築改修工事仕様

(1) 図面及び本特記仕様に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁
営繕部制定の「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）令和7年版」
（以下「改修標準仕様書」という。）及び「公共建築工事標準仕様書（建築
工事編）令和7年版（以下「標準仕様書」という。）によるほか、下記仕様
書等のうち、○を付けたものを適用する。
○建築工事標準詳細図（令和4年版）（以下「標準詳細図」という。）
・公共木造建築工事標準仕様書（令和7年版）
○建築物解体工事共通仕様書（令和4年版）

(2) 電気設備工事及び機械設備工事を本工事に含む場合は、電気設備工事及び
機械設備工事はそれぞれの特記仕様書を適用する。
なお、電気設備工事の特記仕様書は（ ）図、機械設備工事の
特記仕様書は（ ）図による。

(3) 本特記仕様書の表記

1) 項目は、○印の付いたものを適用する。

2) 特記事項は、○印の付いたものを適用する。
○印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。
○印と ⊗ 印の付いた場合は、共に適用する。

3) 特記事項に記載の [. . .] 内表示番号は、改修標準仕様書の当該項目、
当該図又は当該表を示す。

4) 特記事項に記載の（ . . . ）内表示番号は、標準仕様書の当該項目、
当該図又は当該表を示す。

5) ㊿ 印は、「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律
（平成12年法律第100号）」に基づく「環境物品等の調達の推進に関する
基本方針（令和8年2月3日変更閣議決定）」に定める特定調達物品に
おける判断の基準（特定調達品目「公共工事」においては表1中の品目
ごとの判断の基準）を満たすものを示す。

章

項 目

特 記 事 項

①

○適用区分

建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重の算定には
次の条件を用いる。
・風圧力
風速（Vo= 34 m/s）
地表面粗度区分（・Ⅰ ・Ⅱ ○Ⅲ ・Ⅳ）
・積雪荷重
平成12年5月31日建設省告示第1455号における区域
別表（ 12 ）

・施工条件

・施工順序 (1.3.5) [1.3.5]
（※現場説明書による ・図示 ）
・工事用車両の駐車場及び資機材の置き場所
（ ・図示 ）

○環境への配慮 (1.4.1) [1.4.1]

1) 建築物内部に使用する材料等は、設計図書に規定する所要
の品質及び性能を有すると共に次の①から④を満たすもの
とする。
① 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板
積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、
ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、緩衝材、断熱材、
塗料、仕上塗材は、アセトアルデヒド及びスチレンを
発散しない又は発散が極めて少ない材料で、設計図書
に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に
応じた材料を使用する。
② 接着剤及び塗料は、トルエン、キシレン及びエチルベン
ゼンの含有量が少ない材料を使用する。
③ 接着剤は、可塑性（フタル酸ジブチル及びフタル酸
ジエチルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑性
剤を除く）が添加されていない材料を使用する。
④ ①の材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他
の什器類は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及び
スチレンを発散しないか、発散が極めて少ない材料を
使用したものとす。

○材料の品質等

(1.4.2) [1.4.2]

1) 本工事に使用する材料は、設計図書に定める品質及び性能
の他、通常有すべき品質及び性能を有するものとする。
2) 備考欄に商品名が記載された材料は、当該商品又は同等品
を使用するものとし、同等品を使用する場合は監督職員の
承諾を受ける。
3) 標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法について
は、材料製造所の指定する工法とする。
4) 本工事に使用する材料のうち、5)に指定する材料の製造業
者等は、次の①から⑥の事項を満たすものとし、その証明
となる資料（外部機関が発行する証明書の写し等）を監督
職員に提出して承諾を受ける。ただし、あらかじめ監督職
員の承諾を受けた場合はこの限りでない。
①品質及び性能に関する試験データを整備していること。
②生産施設及び品質の管理を適切に行っていること。
③安定的な供給が可能であること。
④法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得してい
ること。
⑤製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。
⑥販売、保守等の営業体制を整えていること。
5) 製造業者等に関する資料の提出を求める材料
床型枠用鋼製デッキプレート、鉄骨柱下無収縮モルタル、
無収縮グラウト材、乾式保護材、既調合モルタル（タイ
ル工所用）、既調合目地材、ルーフトレン、吸水調整材、
錠前類、クローザ類、自動ドア機構、自閉式上吊り引戸
（手動開き式）、重量シャッター、軽量シャッター、
オーバーヘッドドア、防水剤、現場発泡断熱材、
フリーアクセスフロア、可動間仕切、移動間仕切、
トイレブース、天井点検口、床点検口、グレーチング、
屋上緑化システム、トップライト、ポリマーセメント
モルタル、鋳鉄製ふた

○石綿含有建材
の調査

[1.5.1]

調査
※石綿含有建材の事前調査
工事着手に先立ち、あらかじめ関係法令に基づき、
石綿含有建材の事前調査を行う。
貸与資料
（○アスベスト関係材料調査票 ○既存図面 ・ ）
○分析による石綿含有建材の調査
分析対象
アクチノライト、アモサイト、アンソフィライト、
クリソタイル、クロシドライト、トレモライト
分析方法

	定性分析方法	定量分析方法
材料名	JIS A 1481-1または JIS A 1481-2	JIS A 1481-3、 JIS A 1481-4または JIS A 1481-5
	○ 2 箇所	・ 箇所
	・ 箇所	・ 箇所
	・ 箇所	・ 箇所

サンプル数 1箇所あたり3サンプル
採取箇所 ○図示による ・
○化学物質
の濃度測定

[1.7.9]

1) 施工完了後、引渡前に室内空気中のホルムアルデヒド、
トルエン、キシレン、 エチルベンゼン、スチレン
の濃度を測定し、測定結果を監督職員に報告する。
2) 測定対象室：体育館
3) 測定方法は、現場説明書による。
4) 測定結果の報告は、現場説明書による。

○埋設配管・配線
及び鉄筋調査

あと施工アンカー工事
6章及び8章による
コア抜き、はつり工事等
※既存資料調査
・探査機（電磁波レーダ法又は電磁波誘導法）による探査
配管 ・配線等の位置の墨出を行う
範囲
※図示による ・
・放射線透過試験
労働安全衛生法、「電離放射線障害防止規制」（昭和
47年労働省令第41号）等に定めるところによるほか、
次による。
1) 作業主任者は、エックス線作業主任者の資格を有
するものとし、資格を証明するものとし、資格を
証明する資料を監督職員に提出する。
2) 放射線照射量は最小限のものとし、照射中は人体
に影響のない程度まで照射器より離れる。また、
作業者以外の立入禁止措置を講ずる。
3) 露出時間は、コンクリートの厚さ等により、適宜
調整する。
4) 付近にフィルム、磁気ディスク等放射線の影響を
受けるものの有無を確認する。
5) 躯体の墨出しは、表裏でズレがないように措置を
講ずる。
撮影枚数 枚
フィルムサイズ
コンクリート厚さ cm

1級建築士事務所 青森県知事登録第A1-1642号
株式会社 **イクラン** 一級建築士事務所
門前 孝治 1級建築士登録第213201号

〒036-8353
青森県弘前市下轄師町11
T E L 0172-38-1900
F A X 0172-39-6168

承認
設計
担当

縮尺
A1版 —
A3版 —
設計年月日
2026.06

工事名称
令和8年度 弘前市社会福祉センター改修工事（建築工事）（ゼロ市債）
図面名称
改修工事 特記仕様書（その1）

AB-101
No.

2

仮設工事

騒音・粉じん等の対策

足場等

既存部分の養生

仮設間仕切り

防音パネル
防音シート

防音パネル等を取り付ける足場等の設置範囲
図示による

「手すり先行工法等に関するガイドライン」について
(厚生労働省 令和5年12月26日)の「(別紙)手すり先行工法等に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙1「手すり先行工法による足場の組立て等の作業に関する基準」における2の(1)手すり据置き方式又は(2)手すり先行専用足場方式により行う。

外部足場
設置する
(設置範囲
工事に必要な範囲 図示による)
設置しない

防護シート
設置する
(設置範囲
工事に必要な範囲 図示による)
設置しない

内部足場
設置する
(脚立、足場板等 枠組棚足場)
設置しない

材料、撤去材等の運搬方法
種別 (A種 B種 C種 D種 E種)
C種: 利用可能なエレベーター
(図示による)
D種: 利用可能な階段
(図示による)

養生方法等
既存部分
養生方法 (※ビニルシート、合板)
既存家具、既存設備等
養生方法 (※ビニルシート等)
既存ブラインド、カーテン等
養生方法 (・ビニルシート等)
保管場所 (・図示による)
固定された備品、机、ロッカー等の移動
図示による

既存部分に汚染又は損傷を与えるおそれのある場合は養生を行う。また、万一損傷等を与えた場合は、受注者の責任において速やかに修復等の処置を行う。

仮設間仕切り及び仮設扉の設置箇所
図示による

仮設間仕切りの種別と材質等
種別 仕上げ(厚さmm) 塗装 充填材
A種 せっこうボード 種類 (・ mm ※9.5mm)
厚さ (・ mm ※9.5mm)
合板 種類 (・ mm ※9mm)
厚さ (・ mm ※9mm)
B種
※C種 防煙シート

仮設間仕切りに設ける仮設扉の材質等
材質 仕上げ 塗装 設置箇所
※木製 ※合板張り程度 ・無し ・か所
・ ・ ・片面 ・図示による

3

防水改修工事

施工数量調査

降雨等に対する養生方法
(とい共)

既存防水の処理

既存下地の処理

アスファルト防水

調査範囲
図示による
調査方法
図示による
既存部分の破壊を行った場合の補修方法
図示による
調査報告書(提出部数 ・2部 ・)

※改修標準仕様書3.1.3(5)(7)～(9)による

既存保護層の撤去
行う(範囲 図示による)
行わない
既存防水層の撤去
行う(範囲 図示による)
行わない
既存露出防水層表面の仕上げ塗装の除去
行う (・M4AS ・M4ASI ・M4C ・M4DI ・L4X)
行わない

既存下地の補修箇所の形状、長さ、数量等
図示による
POS工法及びPOSI工法(機械的固定方法)の既存保護層を撤去し防水層を非撤去とした立上り部等の処理
※改修標準仕様書3.2.6(4)(9)(g)①～③による
設備機器架台、配管受部、パラベット、貫通パイプ回り、手すり・丸環の取付け部、塔屋出入口部等の欠損部及び防水層末端部の納まり部の処理
※監督職員と協議する
図示による

改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ
※改修標準仕様書 表3.3.3～表3.3.6による
JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分
材料による区分 ※R種
厚さ ()mm以上
部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ
※改修標準仕様書 表3.3.3及び表3.3.4による
JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分
材料による区分 ※R種
厚さ ()mm以上
平場の保護コンクリートの厚さ
こて仕上げ ※水下 80mm以上
床タイル張り ※水下 60mm以上
立上り部の保護方法
乾式保護材(品質・性能、試験方法は別表による)
窯業系パネルI類(厚さ (mm) 幅 (mm))
れんが押え(※JIS R 1250)
コンクリート押え
モルタル押え(屋内)

新設防水層(屋根露出工法)の種類
改修工法 新設種別 施工箇所 断熱材 G 種類 使用量 高日射反射率防水 G 備考

M4C C-1 C-2 C-3 C-4

M3D D-1
POD D-2

PODI DI-1
M3DI DI-2
M4DI

改修標準仕様書 3.3.2(9)(種類)
(厚さ)(mm)

改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ
※改修標準仕様書 表3.3.7～表3.3.9による
JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分
材料による区分 ※R種
厚さ ()mm以上
部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ
※改修標準仕様書 表3.3.8及び表3.3.9による
JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分
材料による区分 ※R種
厚さ ()mm以上
絶縁断熱工法のルーフトレन回り及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置
※図示による
絶縁工法及び絶縁断熱工法の脱気装置の種類及び設置数量
種類
※アスファルトルーフィング類の製造所の指定
設置数量
※アスファルトルーフィング類の製造所の指定
(個)

屋内防水
防水層の種類
改修工法 種別 施工箇所

P1E E-1
P2E E-2

保護層 設ける(※図示による)
設けない
E-1の工程3を行う部位
※貯水槽、浴室等常時水に接する部位
立上り部の押え金物の材質、形状及び寸法
※アルミニウム製 L-30×15×2.0mm程度
屋上排水溝
図示による

改質アスファルトシート
防水

改質アスファルトシート
防水

新設防水層(屋根露出防水)の種類
改修工法 新設種別 施工箇所 断熱材 G 種類 使用量 高日射反射率防水 G 備考

M4AS AS-T1 AS-T2 AS-J2

M3AS AS-T3 AS-T4 AS-J1

POAS AS-T3 AS-T4 AS-J1 AS-J3

M3ASI M4ASI POASI ASI-J1

改修標準仕様書 3.4.2(3)(9)(種類)
(厚さ)(mm)

改質アスファルトシートの種類及び厚さ
※改修標準仕様書 表3.4.1から表3.4.3による
JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分
材料による区分 ※R種
厚さ ()mm以上
粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ
※改修標準仕様書 表3.4.1から表3.4.3による
JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分
材料による区分 ※R種
厚さ ()mm以上
部分粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ
※改修標準仕様書 表3.4.1から表3.4.3による
JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分
材料による区分 ※R種
厚さ ()mm以上
立上り部の押え金物の材質、形状及び寸法
※アルミニウム製 L-30×15×2.0mm程度
絶縁工法及び絶縁断熱工法の脱気装置の種類及び設置数量
種類
※改質アスファルトシート類の製造所の指定
設置数量
※改質アスファルトシート類の製造所の指定
(個)
絶縁断熱工法の防湿用シート
設置する
設置しない

1級建築士事務所 青森県知事登録第A1-1642号
株式会社 **イクラン** 一級建築士事務所
門前 孝治 1級建築士登録第213201号

〒036-8353
青森県弘前市下輪師町11
TEL 0172-38-1900
FAX 0172-39-6168

承認 設計 担当

縮尺 A1版 —
A3版 —
設計年月日 2026.06

工事名称 令和8年度 弘前市社会福祉センター改修工事(建築工事)(ゼロ市債)
図面名称 改修工事 特記仕様書(その2)

AB-102
No.

4

外壁改修工事（共通事項）

・施工数量調査

調査範囲
・外壁改修範囲
・図示による
調査内容
ひび割れの幅及び長さを壁面に表示する。また、ひび割れ部の挙動の有無、漏水の有無及び錆汁の流出の有無を調査する。
モルタル塗仕上げ及びタイル張り仕上げについては浮き部分を表面に表示し、また欠損部の形状寸法等を調査する。
コンクリート表面のはがれ及びはく落部を壁面に表示する。
塗り仕上げについては、コンクリートまたはモルタル表面のはがれ及びはく落部を壁面に表示する。また、既存塗膜と新規上塗材との適合性を確認する。
既存部分の破壊を行った場合の補修方法
・図示による
調査報告書の部数（・2部　・　）

4-1

外壁改修工事
コンクリート打放し仕上げ外壁

・ひび割れ部改修工法

・樹脂注入工法
[4.1.4] [4.2.4、5、6、7]
工法の種類
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法
・手動式エポキシ樹脂注入工法
・機械式エポキシ樹脂注入工法
注入状況の確認方法
※コアの抜き取りを行う
抜き取り個数
※長さ500mごと及びその端数につき1個
・抜き取り部の補修方法
※図示による
・Uカットシーリング材充填工法
工法の種類
・可とう性エポキシ樹脂
・シーリング材
1.0超過
1.5以上～2.0未満
・シーリング材
充填材料の種類
※1成分形又は2成分形ポリウレタン系
・シーリング材のうえにポリマーセメントモルタル（性能、試験方法は別表による）の充填
・行う
・行わない
シーリング材の試験は改修標準仕様書 3章 防水改修工事による。
・可とう性エポキシ樹脂
・シール工法
工法の種類
・パテ状エポキシ樹脂
・可とう性エポキシ樹脂
・欠損部改修工法
・充填工法
[4.1.4] [4.2.4、7]
材料
平均深さ（mm）
平均広さ（㎡）
延べ箇所数（-）
・ポリマーセメントモルタル
10～15未満
15～20未満
20～25未満
25～30未満
30～35未満
35～40未満
・エポキシ樹脂モルタル
30～35未満
35～40未満
ポリマーセメントモルタルの性能、試験方法は別表による

4-2

外壁改修工事
モルタル塗り仕上げ外壁

・ひび割れ部改修工法

・樹脂注入工法
[4.1.4] [4.3.5、6、7、8]
工法の種類
ひび割れ幅（mm）
注入口間隔（mm）
注入量（mL/m）
延べ長さ（m）
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法
・手動式エポキシ樹脂注入工法
・機械式エポキシ樹脂注入工法
注入状況の確認方法
※コアの抜き取りを行う
抜き取り個数
※長さ500mごと及びその端数につき1個
・抜き取り部の補修方法
※図示による
・Uカットシーリング材充填工法
工法の種類
ひび割れ幅（mm）
延べ長さ（m）
・可とう性エポキシ樹脂
・シーリング材
1.0超過
1.5以上～2.0未満
・シーリング材
充填材料の種類
※1成分形又は2成分形ポリウレタン系
・シーリング材のうえにポリマーセメントモルタル（性能、試験方法は別表による）の充填
・行う
・行わない
シーリング材の試験は改修標準仕様書 3章 防水改修工事による。
・可とう性エポキシ樹脂
・シール工法
工法の種類
ひび割れ幅（mm）
延べ長さ（m）
・パテ状エポキシ樹脂
・可とう性エポキシ樹脂
・欠損部改修工法
・充填工法
[4.1.4] [4.2.9、10]
材料
平均深さ（mm）
平均広さ（㎡）
延べ箇所数（-）
・ポリマーセメントモルタル
5～10未満
10～15未満
15～20未満
20～25未満
25～30未満
30～35未満
35～40未満
・エポキシ樹脂モルタル
30～35未満
35～40未満
ポリマーセメントモルタルの性能、試験方法は別表による
・モルタル塗替え工法
材料
平均深さ（mm）
平均広さ（㎡）
延べ箇所数（-）
・現場調合材料
・既調合材料
・現場調合材料
（セメントは改修特記仕様書8-2 コンクリート工事による）
・既調合材料（　　）
既製目地材
・使用する（形状　・図示による　・　）
仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の措置
※図示による　・

・浮き部改修工法

・浮き部改修工法

[4.1.4] [4.3.11～16]

工法の種類
アンカーピンの本数（本/㎡）
注入口の箇所数（箇所/㎡）
注入量（mL/箇所）
延べ広さ（㎡）
一般部
指定部
一般部
指定部
一般部
指定部
・アンカーピンニング部分球状樹脂注入工法
・アンカーピンニング全面球状樹脂注入工法
・アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法
・注入口付アンカーピンニング部分球状樹脂注入工法
・注入口付アンカーピンニング全面球状樹脂注入工法
・注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法
・充填工法
・モルタル塗替え工法
アンカーピンの材質
※ステンレス鋼（SUS304）呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工したもの
・
注入口付アンカーピンの材質
※ステンレス鋼（SUS304）呼び径外径6mm程度
・
注入工法用材料
・ポリマーセメントスラリー
広がり長さ引張接着性曲げ性能吸水性耐久性
速度変化量（材齢28日）（材齢28日）（72時間）（劣化曲げ強さ）
（cm/s）（%）（N/?）（N/?）（%）（N/?）
3以上3以下0.5以上5.0以上15以下5.0以上
保水係数0.35～0.55
粘調係数0.50～1.00
充填工法用材料
・エポキシ樹脂モルタル
・ポリマーセメントモルタル（性能、試験方法は別表による）
モルタル塗替え工法用材料
・現場調合材料（セメントは改修特記仕様書 8章 8-2 コンクリート工事による）
・既調合材料（　　）
既製目地材
・使用する（形状　・図示による　・　）
仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の措置
※図示による　・

4-3

外壁改修工事
タイル張り仕上げ外壁

・タイルの形状、寸法等

・タイルの形状、寸法等
[4.4.5、8]
施工箇所
種類
形状/形状（mm）
再生材料の適用
吸水率による区分
I類II類III類
うわぐすり
役物
色
耐凍害性
耐滑り性
種類
内外：内外装タイル
ユ　：ユニットタイル（内装タイル以外）
備考欄：参照タイルシリーズ
標準的な曲がりの役物は一体成形とする。
見本焼き
・行う（施工箇所：　　）
・行わない
試験張り
・行う（範囲、仕様等は図示による）
・行わない
・ひび割れ部改修工法
・樹脂注入工法
[4.1.4] [4.4.5、6]
工法の種類
ひび割れ幅（mm）
注入口間隔（mm）
注入量（mL/m）
延べ長さ（m）
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法
・手動式エポキシ樹脂注入工法
・機械式エポキシ樹脂注入工法
注入状況の確認方法
※コアの抜き取りを行う
抜き取り個数
※長さ500mごと及びその端数につき1個
抜き取り部の補修方法
※図示による　・　
・欠損部改修工法
・タイル部分張替え工法
[4.1.4] [4.4.5、7、8]
接着剤の種類
・ポリマーセメントモルタル（性能、試験方法は別表による）
・JIS A 5557に基づく一液反応硬化形変成シリコーン樹脂系
施工数量
平均広さ（　　）㎡
延べ箇所数（　　）箇所
・タイル張替え工法
張替え用材料
・接着剤JIS A 5557に基づく一液反応硬化形変成シリコーン樹脂系
・張付けモルタル（・現場調合材料　・既調合モルタル）
伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地の位置
※改修標準仕様書 表4.4.2による
・図示による
外装タイル張り下地等の下地モルタル及び下地調整剤塗りの接着力試験
・行う
・行わない
施工数量
平均広さ（　　）㎡
延べ箇所数（　　）箇所

1級建築士事務所 青森県知事登録第A1-1642号
株式会社 **イクラン** 一級建築士事務所
門前 孝治 1級建築士登録第213201号

〒036-8353
青森県弘前市下轄師町11
TEL 0172-38-1900
FAX 0172-39-6168

承認

設計

担当

縮尺
A1版 —
A3版 —
設計年月日
2026.06

工事名称
令和8年度 弘前市社会福祉センター改修工事（建築工事）（ゼロ市債）
図面名称
改修工事 特記仕様書（その4）

AB-104
NO.

4-3

外壁改修工事

タイル張り仕上げ外壁

・セメントモルタルによるタイル（セラミックタイル）張り
下地モルタル塗りを行うコンクリート素地面の処理
・目荒し工法（改修標準仕様書4.3.10(3)による）
・
タイル張りの工法
・外装タイル
・密着張り
・改良圧着張り
・ユニットタイル
・マスク張り
・モザイクタイル張り
シーリング
改修特記仕様書 3章 防水改修工事による。
・有機系接着剤によるタイル（セラミックタイル）張り
モルタル塗りを行うコンクリート素地面の処理
・目荒し工法（改修標準仕様書4.3.10(3)による）
・
シーリング材の種類
打継ぎ目地、ひび割れ誘発目地
※ポリウレタン系シーリング材
・
伸縮調整目地その他の目地
※変成シリコーン系シーリング材
・
シーリングのその他事項は、改修特記仕様書 3章 防水改修工事による。

目地詰め ※行う ・行わない

・浮き部改修工法

工法の種類	アンカーピンの本数 (本/㎡)		注入口の箇所数 (箇所/㎡)		注入量 (mL/箇所)	延べ広さ (㎡)	
	一般部	指定部	一般部	指定部		一般部	指定部
・アンカーピン工法 部分工法 樹脂注入工法	※16	※25			※25		
・アンカーピン工法 全面工法 樹脂注入工法	※13	※20	※12	※20	※25		
・アンカーピン工法 全面工法 リマーセメントスラリー注入工法	※13	※20	※12	※20	※50		
・注入口付アンカーピン工法 部分工法 樹脂注入工法	※9	※16			※25		
・注入口付アンカーピン工法 全面工法 樹脂注入工法	※9	※16	※9	※16	※25		
・注入口付アンカーピン工法 全面工法 リマーセメントスラリー注入工法	※9	※16	※9	※16	※50		
・注入口付アンカーピン工法 部分工法 樹脂注入工法 タイル固定工法	・	・			※25		
・タイル部分張り替え工法							
・タイル張り替え工法							

アンカーピンの材質
※ステンレス鋼（SUS304）呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工したもの
・
注入口付アンカーピンの材質
※ステンレス鋼（SUS304）呼び径外径6mm程度
・

4-4

外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

・タイル部分張り替え工法
接着剤の種類
・ポリマーセメントモルタル
（性能、試験方法は別表による）
・JIS A 5557に基づく
一液反応硬化形変成シリコーン樹脂系
施工数量
平均広さ（ ）㎡ 延べ箇所数（ ）箇所
・タイル張り替え工法
張り替え用材料
・接着剤JIS A 5557に基づく一液反応硬化形変成シリコーン樹脂系
・張付けモルタル
（・現場調査材料 ・既調合モルタル）
伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地の位置
※改修標準仕様書 表4.5.11による
・図示による
外装タイル張り下地等の下地モルタル及び下地調整剤塗りの接着力試験
・行う ・行わない
施工数量
平均広さ（ ）㎡ 延べ箇所数（ ）箇所
・セメントモルタルによるタイル（セラミックタイル）張り
下地モルタル塗りを行うコンクリート素地面の下地処理
・目荒し工法（改修標準仕様書4.3.10(3)による）

タイル張りの工法
・外装タイル
・密着張り
・改良圧着張り
・ユニットタイル
・マスク張り
・モザイクタイル張り
シーリング
改修特記仕様書 3章 防水改修工事による。
・有機系接着剤によるタイル（セラミックタイル）張り
モルタル塗りを行うコンクリート素地面の下地処理
・目荒し工法（改修標準仕様書4.4.9(3)による）
・
シーリング材の種類
打継ぎ目地、ひび割れ誘発目地
※ポリウレタン系シーリング材
・
伸縮調整目地その他の目地
※変成シリコーン系シーリング材
・
シーリングのその他事項は、改修特記仕様書 3章 防水改修工事による。

目地詰め ※行う ・行わない

・目地改修工法

種類 (呼び名)	仕上りの形状	工法	上塗り	防火材料
・外装厚塗材C	・吹放し ・凸部処理 ・平たん状 ・凹凸状 ・ひき起こし ・かき落とし	・吹付け ・こて塗り	・適用する	
・外装厚塗材Si	・吹放し ・凸部処理	・吹付け	・適用する	
・外装厚塗材E	・平たん状 ・凹凸状 ・ひき起こし	・こて塗り ・ロー塗り		

4-5

外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

・既存塗膜等の除去、下地処理及び下地調整

・下地調整塗材

・仕上塗材仕上げ

種類 (呼び名)	仕上りの形状	工法	防火材料
・外装薄塗材Si	・砂壁状 ・ゆず肌状 ・ゆず肌状 ・さざ波状	・吹付け ・ロー塗り	・
・可とう形外装塗材Si	・砂壁状 ・ゆず肌状 ・ゆず肌状 ・さざ波状	・吹付け ・ロー塗り	・
・外装薄塗材E	・砂壁状 ・ゆず肌状 ・平たん状 ・凹凸状 ・ゆず肌状 ・さざ波状	・吹付け ・こて塗り ・ロー塗り	・
・可とう形外装塗材E	・砂壁状 ・ゆず肌状 ・平たん状 ・凹凸状 ・ゆず肌状 ・さざ波状	・吹付け ・こて塗り ・ロー塗り	・
・防水形外装薄塗材E	・ゆず肌状 ・さざ波状	・ロー塗り	・
・外装薄塗材S	・砂壁状	・吹付け	・

・厚付け仕上塗材

種類 (呼び名)	仕上りの形状	工法	上塗り	防火材料
・外装厚塗材C	・吹放し ・凸部処理 ・平たん状 ・凹凸状 ・ひき起こし ・かき落とし	・吹付け ・こて塗り	・適用する	
・外装厚塗材Si	・吹放し ・凸部処理	・吹付け	・適用する	
・外装厚塗材E	・平たん状 ・凹凸状 ・ひき起こし	・こて塗り ・ロー塗り		

・複層仕上塗材

種類 (呼び名)	仕上りの形状	工法	上塗材の種類	耐候性	防火材料
・複層塗材CE ・複層塗材RE ・複層塗材Si ・複層塗材E	・凸部処理 ・凹凸状 ・ゆず肌状	・吹付け ・ロー塗り	・樹脂 ・外観 ・溶媒	・耐候形1種 ・耐候形2種 ・耐候形3種	・
・可とう形複層塗材CE	・凸部処理 ・凹凸状 ・ゆず肌状	・吹付け ・ロー塗り	・樹脂 ・外観 ・溶媒	・耐候形1種 ・耐候形2種 ・耐候形3種	・
・防水形複層塗材CE ・防水形複層塗材RE ・防水形複層塗材E	・凸部処理 ・凹凸状 ・ゆず肌状	・吹付け ・ロー塗り	・樹脂 ・外観 ・溶媒	・耐候形1種 ・耐候形2種 ・耐候形3種	・

・可とう形改修用仕上塗材

種類 (呼び名)	仕上りの形状	工法	上塗材の種類	耐候性	防火材料
・可とう形改修塗材E ・可とう形改修塗材RE ・可とう形改修塗材CE	・平たん状 ・さざ波状 ・ゆず肌状	・吹付け ・ロー塗り	・樹脂 ・外観 ・溶媒	・耐候形1種 ・耐候形2種 ・耐候形3種	・

改修標準仕様書4.6.2 による

仕上りの形状
・
工法
・
仕上塗料の耐候性
・
下地挙動緩衝材の適用
・適用する
・適用しない
コンクリート面のひび割れ部及び欠損部の処理は、改修特記仕様書 4章 外壁改修工事（コンクリート打ち放し仕上げ外壁改修）による。
モルタル面のひび割れ部、欠損部及び浮き部の処理は、改修特記仕様書 4章 外壁改修工事（モルタル塗り仕上げ外壁改修）による。
吹付け工法の模様材の種類
・（・所要量（kg/㎡））
外壁用仕上塗料の種類
・（・所要量（kg/㎡））
既存塗膜等の除去、下地処理及び下地調整は、改修特記仕様書 4章 外壁改修工事（塗仕上げ外壁等改修）による。

令和8年度 弘前市社会福祉センター改修工事（建築工事）（ゼロ市債）

改修工事 特記仕様書（その5）

AB-105

NO.

5

改修工法

建具改修工事

既存建具の種類

かぶせ工法

撤去工法

適用箇所

○アルミニウム製建具

・樹脂製建具

○鋼製建具

・鋼製軽量建具

・ステンレス製建具

○木製建具

○

・外部

・内部

・

・

○

○

○建具表による

・建具表による

・建具表による

・建具表による

・建具表による

○建具表による

新規に建具を設ける場合

壁部分の開口の開け方

※図示による

新規建具周囲の補修工法及び範囲

※図示による

建具周囲のシーリングは、改修特記仕様書3章 防水改修工事による。

・再使用（ ・ ブラインドボックス ・ ）

・指定する

適用箇所（ ・ 建具表による ・ ）

・指定しない

防火戸の自動閉鎖機構及び防火戸とヒューズ装置、熱感知器又は煙感知器との連動

・連動させる 適用箇所（ ・ 建具表による ・ ）

・連動させない

・見本の製作等

建具見本の製作

・行う（建具符号： ）

・行わない

建具見本製作の目的等：（ ）

特殊な建具の仮組

・行う（建具符号： ）

・行わない

・防犯建物部品

・適用する（ ・ 建具表による ・ ）

・適用しない

○アルミニウム製建具

性能値等

耐風圧性の等級（○ S-5 ）

（建具符号 ○建具表による ・ ）

気密性の等級（○ A-3 ）

（建具符号 ○建具表による ・ ）

水密性の等級（○ W-4 ）

（建具符号 ○建具表による ・ ）

外部に面する建具の種類

・A種（建具符号 ・ 建具表による ・ ）

○B種（建具符号 ○建具表による ・ ）

・C種（建具符号 ・ 建具表による ・ ）

枠の見込み寸法（○建具表による ・ ）

防音ドア・防音サッシ

遮音性の等級（ ・ ）

（建具符号： ・ 建具表による ・ ）

断熱ドア・断熱サッシ

断熱性の等級（ ・ ）

（建具符号 ・ 建具表による ・ ）

材料

ステンレス鋼板

※SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1

ステンレス製くつずりの仕上げ

※HL ・

形状及び仕上げ

表面処理

外部に面する建具

種別（改修標準仕様書 表5.2.2）

○BB-1種

・BB-2種（着色： ・ 標準色 ・ 特注色）

屋内の建具

種別（開封標準仕様書 表5.2.2）

・BC-1種 ・ BC-2種

・BC-2種（着色： ・ 標準色 ・ 特注色）

結露水の処理方法

・水貯め式 ・ 排水式

工法

水切り板、ぜん板

※図示による ・

○網戸等

・樹脂製建具

種類

材質

線径

網目

○防虫網

※合成樹脂製

・ガラス繊維入り合成樹脂製

・ステンレス（SUS316）製

※0.25mm以上

・

※16～18メッシュ

・

・防鳥網

ステンレス（SUS304）線材

1.5mm

網目寸法15mm

性能値等

耐風圧性の等級（ ・ ）

気密性の等級（ ・ ）

水密性の等級（ ・ ）

外部に面する建具の種類

・A種（建具符号 ・ 建具表による ・ ）

・B種（建具符号 ・ 建具表による ・ ）

・C種（建具符号 ・ 建具表による ・ ）

防音ドア・防音サッシ

遮音性の等級（ ・ T-1 ・ T-2 ）

（建具符号 ・ 建具表による ・ ）

断熱ドア・断熱サッシ

断熱性の等級（ ・ H-4 ・ H-5 ・ H-6 ・ H-7 ・ H-8 ）

（建具符号 ・ 建具表による ・ ）

外部に面する建具の日射熱取得性の等級

枠の見込み寸法 ・ 建具表による ・

材料

ガラス

※複層ガラス（組合せは建具表による）

・

ステンレス製くつずりの仕上げ

※HL ・

形状及び仕上げ

表面色 ・ 標準色 ・ 特注色

工法

水切り板、ぜん板

※図示による

・

・鋼製建具

鋼製軽量建具

性能値等

簡易気密型ドアセット

・適用する

（建具符号 ・ 建具表による ・ ）

・適用しない

防音ドア・防音サッシ

遮音性の等級（ ・ ）

（建具符号 ・ 建具表による ・ ）

断熱ドア・断熱サッシ

断熱性の等級（ ・ ）

（建具符号 ・ 建具表による ・ ）

耐震性能

建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による

材料

ステンレス鋼板

※SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1

ステンレス製くつずりの仕上げ

※HL ・

形状及び仕上げ

鋼板類の厚さ（mm）

※改修標準仕様書 表5.4.2による

・ mm 使用箇所（ ・ ）

標準型鋼製建具の形式及び寸法

※建具表による ・

・ステンレス製建具

性能値等

簡易気密型ドアセット

・適用する

（建具符号 ・ 建具表による ・ ）

・適用しない

防音ドア・防音サッシ

遮音性の等級（ ・ ）

（建具符号 ・ 建具表による ・ ）

断熱ドア・断熱サッシ

断熱性の等級（ ・ ）

（建具符号 ・ 建具表による ・ ）

耐震性能

建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による

材料

鋼板

○亜鉛めっき鋼板

○ビニル被覆鋼板

・カラー鋼板

・ステンレス鋼板

ステンレス鋼板

※SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1

・

召合わせ、縦小口包み板の性質

※鋼板 ・

ステンレス製くつずりの仕上げ

※HL ・

形状及び仕上げ

鋼板類の厚さ（mm）

※改修標準仕様書 表5.5.1による

・ mm 使用箇所（ ・ ）

・防音性能を求める戸（建具表による）

防音充填材（ガラスウール又はロックウール）

標準型鋼製軽量建具の形式及び寸法

※建具表による ・

・ステンレス製建具

木製建具

建具材の加工、組立時の含水率

※A種 ・

建物内部の木製建具に使用する表面材及び接着剤のホルムアルデヒド放散量

※F☆☆☆☆ ・

・フラッシュ戸

表面材のホルムアルデヒド放散量等

※改修標準仕様書5.7.2(2)(イ)による

表面材の合板の種類

合板の種類

規格等

備考

・普通合板

表面の樹種

・

板面の品質（※広葉樹1等 ・ ）

接着の程度（ ・ 1類 ・ 2類 ）

・天然木

樹種名（ ・ ）

化粧合板

接着の程度（ ・ 1類 ・ 2類 ）

・特殊加工

化粧合板

※プリント

・ポリエステル化粧合板

・メラミン化粧合板

・

接着の程度（ ・ 1類 ・ 2類 ）

・MDF

表裏面の状態による区分（ ・ ）

曲げ強さによる区分（ ・ ）

耐水性による区分（ ・ ）

難燃性による区分（ ・ ）

表面板の厚さ

※改修標準仕様書 表5.7.6による ・

引戸の召合せかまちのいんろう付きの適用

・適用しない ・ 適用する

・かまち戸

かまち樹種（ ・ ）

鏡板樹種（ ・ ）

見込み寸法 ※36mm ・ 建具表による ・

・ふすま

張りの種別（ ・ I型 ・ II型）

上張り（押入等の裏側以外）

・鳥の子

・新鳥の子又はビニル紙程度

縁仕上げ

・塗り縁

・生地縁（素地）

・生地縁（ウレタンクリヤー塗装）

見込み寸法 ※19.5mm ・ 建具表による ・

・戸ぶすま

表面板の仕上 ・ 建具表による

見込み寸法 ※30mm ・ 建具表による ・

・紙張り障子

見込み寸法 ※30mm ・ 建具表による ・

枠、くつずりの材料

・建具表による ・

○既製品（枠共）

○木製建具

1級建築士事務所 青森県知事登録第A1-1642号

〒036-8353

青森県弘前市下鞆師町11

TEL 0172-38-1900

FAX 0172-39-6168

株式会社

一級建築士事務所

門前 孝治 1級建築士登録第213201号

承認

設計

担当

縮尺

A1版 —

A3版 —

設計年月日

2026.06

工事名称

令和8年度 弘前市社会福祉センター改修工事（建築工事）（ゼロ市債）

図面名称

改修工事 特記仕様書（その6）

AB-106

NO.

6

内装改修工事

○改修範囲

[6. 1. 3]

既存間仕切壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井、壁及び床の改修範囲
※壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う
○図示による
天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井の改修範囲
※壁面より両側 600mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う
○図示による
既存天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修
※既存のまま
○図示による

○既存床の撤去及び下地補修

[6. 2. 2]

ビニル床シート等の除去
⊗仕上材のみ（接着剤とも）
○下地モルタルとも（○図示による ・除去範囲全て）
合成樹脂塗床材の除去工法
・機械的除去工法
・目荒し工法
既存のコンクリート又はモルタル面の下地処理に用いるポリマーセメントモルタル及びエポキシ樹脂モルタルは、改修標準仕様書 4章 外壁改修工事による。
改修後の床の清掃範囲
※図示による ・

○既存壁の撤去及び下地補修

[6. 3. 2]

間仕切壁撤去に伴う他の構造体の補修
※改修標準仕様書4. 3. 10によるモルタル塗り（全塗厚が25mmを超える場合の処置 ※図示による）
○ 図示

・木下地等の表面仕上げ

[6. 5. 1]

見え掛り面の表面仕上げの程度
※プレーナー加工仕上げ
適用部材（部位）（ ）
・超自動機械かんな掛け仕上げ
適用部材（部位）（ ）
・サンダー掛け仕上げ
適用部材（部位）（ ）

○木材の施工一般

[6. 5. 2]

材料のホルムアルデヒド放散量
※改修標準仕様書6. 5. 2(1) (ウ)による ・

○製材

[6. 5. 1] [6. 5. 6～9]

○JAS 1083-5 に基づく下地用製材 ㊦

施工箇所	樹種名	等級 (材面の品質)	寸法 (mm)	含水率	保存 処理
床下地材	松	・ ※2級	図示	※A種 ・B種	・
		・ ※2級		※A種 ・B種	・

・JAS 1083-2 に基づく造作用製材 ㊦

施工箇所	樹種名	等級 (材面の品質)	寸法 (mm)	含水率	保存 処理
見え掛り面		※上小節 ・		※A種 ・B種	・
見え掛り面以外		※小節以上 ・		※A種 ・B種	・

・JAS 1083-6 に基づく広葉樹製材 ㊦

施工箇所	樹種名	等級 (材面の品質)	寸法 (mm)	含水率	保存 処理
		※1等 ・		※10%以下 ・A種 ・B種	・
		※1等 ・		※10%以下 ・A種 ・B種	・

・JAS 1083（製材）以外の製材 ㊦

施工箇所	寸法 (mm)	材面の品質	防虫処理 の適用	含水率
		() 造作材の場合 (※A種 ・B種)	・適用する ・適用しない	※A種 ・B種
		() 造作材の場合 (※A種 ・B種)	・適用する ・適用しない	※A種 ・B種

○造作用集成材

[6. 5. 2]

○JAS 1152 に基づく造作用集成材 ㊦

施工箇所	品名	樹種名	見付け 材面 (面数)	寸法 (mm)	見付け材 面の品質
巾木 額縁・開口枠		スプルース		図示	※1等 ・2等
					※1等 ・2等

・JAS 1152 に基づく化粧ばり造作用集成材 ㊦

施工箇所	品名	材種名	化粧 薄板の 厚さ (mm)	見付け 材面 (面数)	寸法 (mm)	見付け材 面の品質
		化粧薄板 : 芯材 :				※1等 ・2等
		化粧薄板 : 芯材 :				※1等 ・2等

・JAS 1152 以外の造作用集成材 ㊦

施工箇所	材種名	寸法 (mm)	見付け材面の 品質	含水率
				※15%以下 ・
				※15%以下 ・

・JAS 1152 以外の化粧ばり造作用集成材 ㊦

施工箇所	材種名	寸法 (mm)	化粧 薄板の 厚さ (mm)	見付け 材面の 品質	含水率
	化粧薄板 : 芯材 :				※15%以下 ・
	化粧薄板 : 芯材 :				※15%以下 ・

・造作用単板積層材

[6. 5. 2]

・JAS 0701 に基づく造作用単板積層材 ㊦

施工箇所	品名	寸法 (mm)	表面の品質	防虫処理
			・無 (・1等 ・2等 ・3等) ・有 (・天然木化粧加工 ・塗装加工)	・適用する () ・適用しない
			・無 (・1等 ・2等 ・3等) ・有 (・天然木化粧加工 ・塗装加工)	・適用する () ・適用しない

・JAS 0701 以外の造作用単板積層材 ㊦

施工箇所	寸法 (mm)	表面の品質	含水率	防虫処理
		・無 () ・有 (・天然木化粧加工 ・塗装加工)	※14%以下 ・	・適用する () ・適用しない
		・無 () ・有 (・天然木化粧加工 ・塗装加工)	※14%以下 ・	・適用する () ・適用しない

○合板等

[6. 5. 2]

・JAS 3079 に基づく直交集成板 ㊦

施工箇所	品名	樹種名	強度 等級 (曲げ 性能)	種別	接着 性能 (使用 環境)	寸法 (mm)
	・異等級構成 直交集成板 ・同一等級構成 直交集成板			・A種 構成 ・B種 構成	・A ・B ・C	

○JAS 0233 に基づく普通合板 ㊦

施工箇所	厚さ (mm)	接着 の 程度	板面の品質	単板の 樹種名	防虫処理
壁下地	⊗5. 5 ○ 3 ○ 4 ○ 12 ・	※1類 ・2類	広葉樹 ※2等以上 ・ 針葉樹 ※C-D以上 ・		・適用する () ・適用しない
	※5. 5 ・	※1類 ・2類	広葉樹 ※2等以上 ・ 針葉樹 ※C-D以上 ・		・適用する () ・適用しない

・JAS 0233 に基づく構造用合板 ㊦

施工箇所	厚さ (mm)	接着 の 程度	等級	板面の 品質	曲げ 強度 (強度 等級)	防虫 処理	単板の 樹種名
	※12 ・	※1類 ・特類	・1級 ※2級 以上 ・	※C-D 以上 ・		・適用 する ・適用 しない	
	※12 ・	※1類 ・特類	・1級 ※2級 以上 ・	※C-D 以上 ・		・適用 する ・適用 しない	

屋外又は常時湿潤状態となる場所に使用する場合は、接着の程度を特類とする。
・JAS 0233 に基づく化粧ばり構造用合板 ㊦

施工箇所	厚さ (mm)	単板の樹種名	接着 の 程度	防虫処理
			・特類 ・1類	・適用する () ・適用しない
			・特類 ・1類	・適用する () ・適用しない

屋外又は常時湿潤状態となる場所に使用する場合は、接着の程度を特類とする。
・JAS 0233 に基づく天然木化粧合板 ㊦

施工箇所	厚さ (mm)	接着の程度	化粧板に使用する 単板の樹種名	防虫処理
		・1類 ・2類		・適用する () ・適用しない
		・1類 ・2類		・適用する () ・適用しない

○接合具等

[6. 5. 3]

造作材の化粧面の釘打ち
※隠し釘打ち
・釘頭埋め木
・つぶし頭釘打ち
・釘頭現し
諸金物の形状、寸法及び材質
かすがい
※改修標準仕様書 表6. 5. 3に示す程度の市販品
・
座金
※改修標準仕様書 表6. 5. 4に示す程度の市販品
・
箱金物及び短冊金物
※改修標準仕様書 表6. 5. 5に示す程度の市販品
・

○接着剤

[6. 5. 3、4]

接着剤のホルムアルデヒドの放散量
※F☆☆☆☆ ・

1級建築士事務所 青森県知事登録第A1-1642号
株式会社 **イクラン** 一級建築士事務所
門前 孝治 1級建築士登録第213201号

〒036-8353
青森県弘前市下鶴師町11
TEL 0172-38-1900
FAX 0172-39-6168

承認設計担当

縮尺
A1版 —
A3版 —
設計年月日
2026. 06

工事名称
令和8年度 弘前市社会福祉センター改修工事（建築工事）（ゼロ市債）
図面名称
改修工事 特記仕様書（その8）

AB-108
NO.

6

内装改修工事

・防腐・防蟻
防虫処理等

・工場における薬剤の加圧注入等
改修標準仕様書 6.5.5(1)(a)①による加圧注入
適用部材
K2 K3 K4
K2 K3 K4
改修標準仕様書 6.5.5(1)(a)②による加圧式保存処理
保存処理の性能
インサイジング
適用する
適用しない
・薬剤の塗布等による防腐・防蟻処理
薬剤の種類
改修標準仕様書6.5.5(1)(b)①による
附属書A(規定)に基づく表面処理用木材保存剤による
適用部材 (部位)
図示による
処理方法
改修標準仕様書 6.5.5(1)(b)②による
・薬剤の接着材への混入による防腐、防蟻処理
適用部材 (部位)
図示による
・合板、集成材、単板積層材の薬剤の加圧注入等による
K3防腐・防蟻処理
適用部材 (部位)
図示による
・不燃処理木材等
不燃材料
適用部材 (部位)
図示による
準不燃材料
適用部材 (部位)
図示による
難燃材料
適用部材 (部位)
図示による

○内部間仕切軸組
及び床組み

・窓、出入口
その他

・床板張り

○壁及び天井下地

○軽量鉄骨
天井下地

・間仕切軸組に用いる木材の樹種名
(製材を用いる場合)
※杉又は松
・床組みに用いる木材の樹種名 (製材を用いる場合)
※杉又は松
・土間スラブの類の場合の土台、転ばし大引き及び
転ばし根太
※ひのき又は保存処理木材
・窓、出入口その他に用いる木材の樹種名
(製材を用いる場合)
※吊元杵、水掛りの下枠及び敷居はひのき、
その他は松又は杉
・縁甲板及び上がりかまちに用いる木材の樹種名
(製材を用いる場合)
※ひのき
・壁胴縁、野縁受棧、野縁及び吊木に用いる
木材の樹種名 (製材を用いる場合)
※杉又は松
野縁等の種類
屋外
※25形 19形
屋内
※19形 25形
屋外の形式及び寸法
野縁受、つりボルト及びインサートの間隔
図示による
周辺部の端からの間隔
図示による
野縁の間隔
図示による
既存の埋込みインサート
使用する
使用しない
あと施工アンカーの施工後の確認試験
行う
試験箇所数 ※屋内の場合、当該階において3箇所
()箇所
引張試験にて確認する強度
※吊りボルト受け等の間隔が900mm程度以下かつ
天井面構成部材等の単位面積当たりの重量が
20kg/m²以内の天井の場合は400N程度
() N
・行わない
・つりボルトの間隔が900mmを超える場合
(補強方法 ※図示による)

○軽量鉄骨壁下地

○ビニル床シート

・ビニル床タイル

○特殊機能床材

・天井のふとところが3.0mを超える場合
(補強方法 ※図示による)
・天井下地材における耐震性を考慮した補強
(補強箇所 ※図示による)
・屋外の天井における耐震性を考慮した補強
(補強箇所 ※図示による)
(補強方法 ※図示による)
スタッド、ランナの種類 [6.7.3、4][表6.7.1]
※改修標準仕様書 表6.7.1によるスタッドの高さによる
区分に応じた種類
図示による
スタッドの高さが5.0mを超える場合
※図示による
出入口及びこれに準ずる開口部の補強
※改修標準仕様書6.7.4.(5)による
種類 [6.8.2、3]
※FS(複層ビニル床シート)
無地
マーブル柄
柄物
※2.0
接合部の処理
熱溶接工法
種類 [6.8.2]
※KT(コンポジションビニル床タイル)
無地
柄物
300×300※2.0
450×450 2.5
3.0
TT(単層ビニル床タイル)
無地
柄物
300×300 2.0
450×450
FT(複層ビニル床タイル)
無地
柄物
300×300 2.0
450×450 2.5
3.0
FOA(置敷きビニル床タイル)
無地
柄物
500×500 4.0
5.0
FOB(薄型置敷きビニル床タイル)
無地
柄物
・帯電防止床シート
種類 ()
性能 ()
厚さ(mm) ()
・帯電防止床タイル
種類 ()
性能 ()
寸法(mm) (×)
厚さ(mm) ()
○視覚障害者用床タイル
視覚障害者誘導用ブロック等の突起の形状・寸法及び
その配列はJIS T 9251による。
種類 (図示)
形状 (図示)
・耐動荷重性床シート
種類 ()
厚さ(mm) ()
・防滑性床シート
種類 ()
厚さ(mm) ()
○屋内スポーツ用長尺弾性塩ビシート

○接着剤

○ビニル幅木

・ゴム床タイル

○下地の工法

・カーペット敷き

・防滑性床タイル
種類 ()
寸法(mm) (×)
厚さ(mm) ()
[6.8.2]
ビニル床シート、ビニル床タイル、ゴム床タイル用接着剤の
ホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆
施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地以外の場合
の接着剤の種類
図示による
材質の種類 [6.8.2]
○軟質 硬質
高さ(mm)
※60 75 100
厚さ(mm)
※1.5以上
種類 [6.8.2]
・単層品 積層品
色柄 ()
厚さ (mm)
寸法(mm) (×)
改修標準仕様書6.8.3(1)(7)～(9) 以外の下地の工法
○図示による
[6.8.3]
織り方 [6.9.2、3][表6.9.1]
備考
(参考価格)
・ウルトンカーペット
・フェイスツクフェイスカーペット
・アキスミスターカーペット
・カットハイル
・ルーフハイル
・カット/ルーフハイル
色柄
※模様のない無地
・パイル糸の種類等
※無地の織りじゅうたんの種別 (・A種 ・B種 ・C種)
・帯電性
・適用する 適用しない
織じゅうたんの接合方法
※ヒートボンド工法
・つづり縫い
下敷き材
※反毛フェルト (JIS L 3204) の第2種2号 呼び厚さ 8mm
・タフテッドカーベット
パイル形状
ハイル
長さ(mm)
工法
帯電性
備考
(参考価格)
・カットハイル
5～7
全面接着工法
適用
する
・ルーフハイル
4～6
グリップ工法
適用
しない
・カット、ルーフ併用
下敷き材(グリップ工法の場合)
※反毛フェルト (JIS L 3204) の第2種2号 呼び厚さ 8mm
・タフテッドカーベット用接着剤のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆

・合成樹脂塗床

・フローリング
張り

・タイルカーペット
パイル
の形状
種類
施工箇所
寸法(mm)
総厚さ
(mm)
備考
(参考価格)
※ルーフハイル
※第一種
※第二種
※500×500
※6.5
・カットハイル
・第一種
・第二種
※500×500
※6.5
・カット・ルーフ
併用
・第一種
・第二種
※500×500
※6.5
タイルカーペット用接着剤のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆
タイルカーペットの敷き方
平場
※市松敷き 模様流し
階段部分
※模様流し 市松敷き
見切り、押え金物
材質 ()
種類 ()
形状等
※図示による
[6.10.2、3]
種別
施工
箇所
工法
仕上げの種類
・厚膜型塗床材
弾性樹脂系塗床
・厚膜型塗床材
弾性樹脂系塗床
・薄膜型塗床材
塗床材のホルムルデヒド放散量
※F☆☆☆☆
[6.11.2～6]
フローリングのホルムアルデヒドの放散量等
※改修標準仕様書6.11.2(2)による
各工法に使用する接着剤のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆
・単層フローリング (フローリングボード1等)
工法
・釘留め工法 (・根太張り 直張り)
・接着工法
樹種
※なら
間伐材等の適用
・適用する 適用しない
・単層フローリング (フローリングブロック1等)
樹種
・厚さ (mm)
・大きさ
・間伐材等の適用
・適用する 適用しない
・複合フローリング
工法
・釘留め工法 (・根太張り 直張り)
・接着工法
樹種
※なら
種別
・A種 ・B種 ・C種
間伐材等の適用
・適用する 適用しない

1級建築士事務所 青森県知事登録第A1-1642号
株式会社 **イクラン** 一級建築士事務所
門前 孝治 1級建築士登録第213201号

〒036-8353
青森県弘前市下轄師町11
TEL 0172-38-1900
FAX 0172-39-6168

承認

設計

担当

縮尺

A1版 —
A3版 —
設計年月日
2026.06

工事名称

令和8年度 弘前市社会福祉センター改修工事 (建築工事) (ゼロ市債)

図面名称

改修工事 特記仕様書 (その9)

AB-109
NO.

6

内装改修工事

・ 畳敷き

○せっこうボード、
その他のボード
及び合板張り

[6. 13. 2、3]

・ 接着工法の場合の不陸緩和材
※合成樹脂発泡シート
・
・ 現場塗装仕上げ
※ウレタン樹脂ワニス塗り
・ オイルステインの上、ワックス塗り
・ 生地そのままワックス塗り

種別

[6. 12. 2]

・ A種（畳表：・ JS（特等麻糸） ・ J1（1等麻糸））
・ B種
・ C種（畳床：・ PS-C20 ・ PS-C25 ・ PS-C30）
・ D種（畳床：・ KT-I ・ KT-II ・ KT-III ・ KT-K ・ KT-N）

下地の種類

・ 標準仕様書 表12. 6. 1による床組
・ ポリスチレンフォーム床下地（ノンフロン）
・

畳表及び畳床はホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及び
ステレンを発生しないか、発生が極めて少ない材料を使用
したものとする。

衝撃緩和型畳（畳表：・ C1 ・ C2）

合板のホルムアルデヒド放散量
※改修標準仕様書6. 13. 2(3) (4) の(a)～(d)のいずれか
・

合板の防虫処理の適用
・ 行う ・ 行わない

接着剤のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆ ・

種類等	厚さ(mm)、規格等
木質系セメント板	
・ 木毛セメント板 ・ 硬質(HW) ・ 中質(MW) ・ 普通(NW)	※図示による ・ 15 ・ 20 ・ 25
・ 木片セメント板 ・ 硬質(HF) ・ 普通(NF)	※図示による ・ 12 ・ 15 ・ 18 ・ 21 ・ 30
繊維強化セメント板	
・ けい酸カルシウム板(タイプ2) 普通ボード 0. 8FK	※図示による ・ 5・6 ・ 8
火山性ガラス質複層板（VSボード）	
・ 火山性ガラス質複層板 種類 ※図示による	※図示による ・
繊維板	
・ ミディアムデンシティファイバーボード（MDF）	※図示による ・ 3 ・ 7 ・ 9 ・ 12
・ ハートボード ・ スタンダードボード（無処理） ・ 素地ハートボード ・ 未研磨板(RN) ・ 研磨板(RS) ・ 内装用化粧ハートボード（DI） ・ テンハートボード（処理） ・ 素地ハートボード ・ 未研磨板(RN) ・ 研磨板(RS) ・ 外装用化粧ハートボード（DE）	※図示による ・ 2. 5 ・ 3. 5 ・ 5 ・ 7 ・
・ インシュレーションボード ・ A級インシュレーションボード（A-IB） ・ 天井上げ材 ・ 内装仕上げ材	※図示による ・ 9 ・ 12 ・ 15 ・ 18

○壁紙張り

[6. 14. 2、3] [表6. 14. 1～表6. 14. 3]

ホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆

施工箇所	壁紙の種類						防火性能	備考 (参考価格)
	紙	繊維	塩化ビニル樹脂	プラスチック	無機質	その他		
壁	・	・	○	・	・	・	○不燃 ・ 準不燃	
	・	・	・	・	・	・	・ 不燃 ・ 準不燃	
	・	・	・	・	・	・	・ 不燃 ・ 準不燃	

○モルタル塗り

[6. 15. 3、5、6]

接着剤のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆
モルタル及びせっこうプaster一面の素地ごしらの種別
※B種 ・ A種
コンクリート面の素地ごしらの種別
※B種 ・ A種
せっこうボード面及びけい酸カルシウム板面の素地ごしらの種別
※B種 ・ A種

モルタル

[6. 15. 3、5、6]

・ 現場調合材料
・ 既調合材料

既製目地材

・ 設ける
施工箇所（ ）
形状（※図示による ・ ）
・ 設けない

床の目地

・ 設ける
目地割り
※2㎡程度（最大目地間隔3m程度）
・
目地の種類
※押し目地
・
・ 設けない
壁面の仕上げ厚又は全塗り厚が25mmを超える場合の下地処理
・ 図示による ・

○タイル張り

[6. 16. 2～4]

伸縮目地の位置

[6. 16. 2～4]

床タイル
※縦、横とも4m以内ごと
・ 図示による
・
床タイル以外
・ 図示による
・

伸縮調整目地のシーリング材、目地寸法は改修特記仕様書
3章による

見本焼き
・ 行う（施工箇所： ） ・ 行わない

試験張り
・ 行う（範囲、仕様等は図示による） ・ 行わない

・ セメントモルタルによるタイル（セラミックタイル）張り
タイルの形状、寸法等

施工箇所	種類	形状/形状 (mm)	再生材料の適用	吸水率の区分	うわぐすり	役物	色	耐凍害性	耐滑り性
風除室床		100×100	・	○	・	○	・	○	○
風除室巾木		100×100	・	○	・	○	○	○	○
			・	・	・	・	・	・	・

種類の略称

内外：内外装タイル
ユ：ユニットタイル（内装タイル以外）

備考欄：参照タイルシリーズ

標準的な曲がりの役物は一体成形とする。

既調合モルタル（品質・性能、試験方法は別表による）
モルタル下地としたタイル工事に使用する張付け用モルタルとして、セメント、細骨材、混和剤等を予め工場において所定の割合に配合した材料とする。

既調合目地材（品質・性能、試験方法は別表による）

壁タイル張りの工法
内外装タイル
・ 密着張り ・ 改良圧着張り

内装タイル以外のユニットタイル
・ マスク張り ・ モザイクタイル張り

下地モルタル塗りを行うコンクリート素地面の処理
・

・ 有機系接着剤によるタイル（セラミックタイル）張り
タイルの形状、寸法等

施工箇所	種類	形状/形状 (mm)	再生材料の適用	吸水率の区分	うわぐすり	役物	色	耐凍害性	耐滑り性
			・	・	・	・	・	・	・
			・	・	・	・	・	・	・
			・	・	・	・	・	・	・

種類の略称

外：外装タイル
内：内装タイル
ユ：ユニットタイル（内装タイル以外）

備考欄：参照タイルシリーズ

標準的な曲がりの役物は一体成形とする

内装タイル接着剤張りの接着剤のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆ ・

下地モルタル塗りを行うコンクリート素地面の処理
・

・ セラミック材塗り

塗厚（mm）
・

[6. 17. 2、3]

1級建築士事務所 青森県知事登録第A1-1642号
株式会社 **イクラン** 一級建築士事務所
青森県弘前市下鶴師町11
門前 孝治 1級建築士登録第213201号

〒036-8353
青森県弘前市下鶴師町11
TEL 0172-38-1900
FAX 0172-39-6168

承認

設計

担当

縮尺

A1版 —
A3版 —

設計年月日

2026. 06

工事名称

令和8年度 弘前市社会福祉センター改修工事（建築工事）（ゼロ市債）

図面名称

改修工事 特記仕様書（その10）

AB-110

NO.

7

塗装改修工事

○材料

屋内で使用する塗料のホルムアルデヒド放散量 [7.1.3]
※F☆☆☆☆
防火材料
※屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする。
・以下の箇所を除き防火材料とする。
(箇所：)

○下地調整

塗替えRB種の場合の既存塗膜の除去範囲 [7.2.1～7]
※劣化部分は除去し、活膜部分は残す
・図示による
・
既存錆止め塗料の鉛含有量調査
・行う (箇所)
・行わない

下地調整

下地面の種類	下地調整の種別 塗替え	ひび割れ部の補修
○木部	※不透明塗料塗りの場合はRB種 ・	
○鉄鋼面	※RB種	
○亜鉛めっき鋼面	※RB種	
○亜鉛めっき鋼面 (鋼製建具等)	※RB種	・RA種
○モルタル面及び せっこうプラスター面	※RB種	○RC種 ・行う ・行わない
コンクリート面 (DP以外)、 ALCパネル面	※RB種	・RC種 ・行う ・行わない
押出成形セメント板面	・RA種 ・RC種	・RB種 ・行わない
コンクリート面 (DP)	・RB種	・RC種 ・行う ・行わない
せっこうボード面及び その他ボード面	※RB種	・RC種

○素地ごしらえ

[7.3.2～7]

下地面等		種別
○木部	不透明塗料塗りの場合 透明塗料塗りの場合	※A種 ・ B種 ※B種 ・ A種
○鉄鋼面 (DP以外)		※C種 ・ A種 ・ B種
鉄鋼面 (DPのみ)		※B種 ・ A種 ・ C種
亜鉛めっき鋼面 (鋼製建具等以外)		・A種 ・ B種
亜鉛めっき鋼面 (鋼製建具等)		※B種
モルタル面及びせっこうプラスター面		※B種 ・ A種
コンクリート面 (DP以外) 及び ALCパネル面		※B種 ・ A種
○押出成形セメント板面及び コンクリート面 (DPのみ)		・A種 ○B種
コンクリート面 (DPのみ)		※A種 ・ B種
○せっこうボード面及びその他ボード面		※B種 ・ A種

○錆止め塗料塗り

錆止め塗料塗りの種別 [7.4.2、3]

塗装の種類		塗料 の種類	工程の種別	
鉄鋼面	SOP 錆止め塗装のまま (工程の種別は表7.4.3)	塗替え	As種 ・ ※C種 ・	
	新規見え掛り	新規見え掛り	As種 ・ ※A種 ・	
		新規見え隠れ	As種 ・ ※B種 ・	
	EP-G (工程の種別は表7.4.3)	塗替え	※Bs種 ・As種 ・ ※C種 ・	
		新規見え掛り	※Bs種 ・As種 ・ ※A種 ・	
		新規見え隠れ	※Bs種 ・As種 ・ ※B種 ・	
DP (工程の種別は表7.4.4)	塗替え	7.4.2 (1)(イ)(b)による ○B種 (下地調整RB種) ・C種 (下地調整RC種)		
	新規	7.4.2 (1)(イ)(a)による ・A種		
亜鉛めっき鋼面	SOP (工程の種別は表7.4.5)	塗替え	※Az種 ・Bz種 ・ ※C種 ・	
		新規	鋼製建具等	※Az種 ・Bz種 ・ ※A種 ・
			その他	※Bz種 ・ ※B種 ・
	EP-G (工程の種別は表7.4.5)	塗替え	Cz種 ・ ※C種 ・	
		新規	鋼製建具等	Cz種 ・ ※A種 ・
			その他	Cz種 ・ ※B種 ・
DP (工程の種別は表7.4.6)	塗替え	Bz種 ・ ・		
新規	Bz種 ・ ・			

○塗装

[7.5.2～7.13.2]

塗装の種類	塗装面	工程	
		塗替え	新規
・合成樹脂調合ペイント塗り (SOP)	木部屋外	※B種	※A種
	木部屋内	※B種	※B種
	鉄鋼面	※B種	※B種 ・ A種
	塗装の種類 ※1種 ・2種	亜鉛めっき鋼面 (鋼製建具)	※A種 ・ ※B種
・クリヤラッカー塗り (OL)	亜鉛めっき鋼面 (鋼製建具以外)	※B種 ・A種 (着色顔料の種類) ・ ※B種 (着色顔料の種類) ・	※B種 ・A種 (着色顔料の種類) ・ ※B種 (着色顔料の種類) ・
	・アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り (NAD)	※B種 ・ A種	※B種 ・ A種
○耐候性塗料塗り (DP)	鉄鋼面 上塗り等級 (2) 級	・	
	亜鉛めっき鋼面 上塗り等級 () 級	・	
	コンクリート面 押出成形セメント板面	・	・A-1種 ○B-1種 ・C-1種
	○つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り (EP-G)	コンクリート面等 屋内の木部 屋内の鉄鋼面 屋内の亜鉛めっき面	※B種 ・ ※B種 ・ ※A種 ・ ※B種 ・A種 ・A種 ・B種
○合成樹脂エマルジョンペイント塗り (EP)		※B種	※B種 ・ A種
・合成樹脂エマルジョン模様塗料塗り (EP-T)		※B種	・A種 ・ B種
・ウレタン樹脂ワニス塗り (UC)		※B種	※B種 ・ A種
・ビグメントステイン塗り			
・木材保護塗料塗り (WP)		※B種 ・ A種	※B種 ・ A種

○石綿含有建材の除去工事

環境配慮改修工事

9

つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り (コンクリート面、モルタル面、せっこうプラスター面、せっこうボード面、その他ボード面) の塗替えの場合のしき止め
※B種又はC種の場合は、改修標準仕様書 表7.9.1の工程1の下塗りをしき止めシーラーとする
・
合成樹脂エマルジョンペイント塗りの塗替えの場合のしき止め
※B種又はC種の場合は、改修標準仕様書 表7.10.1の工程1の下塗りをしき止めシーラーとする
・
・高日射反射率塗料塗り
下地調整 (改修標準仕様書 表7.2.2、3)
※RB種 ・ RA種 ・ RC種

工程	塗料その他			塗付け量 (kg/㎡)
	規格番号	規格名称	種類 等級	
塗料塗り	JIS K 5675	屋根用高日射反射率塗料	2種 ・ 1級 ・2級 ・3級	塗料製造所の仕様による

クリヤラッカー塗りA種の工程2の適用
・適用しない
・適用する
(着色剤： ・ 溶剤系着色剤 ・ 油性染料着色剤)
ウレタン樹脂ワニス塗りの工程1の着色の適用
・適用する
・適用しない

・石綿粉じん 濃度測定 [9.1.1、3～6]
測定時期、場所及び測定点

適用	測定名称	測定時期	測定場所	測定箇所数 (各施工箇所ごと)
・測定1	処理作業前	処理作業室内	・計	点
・測定2		調査対象室外部の付近	・計	点
・測定3	処理作業中	処理作業室内	・計	点
・測定4		セキュリティゾーン入口	・計	点
・測定5		集じん・排気装置の排出口 (処理作業室外の場合)	出口吹出し風速 1m/sec以下の位置 ・計	点
・測定6		処理作業室外 ・施工区画周辺 ・敷地境界	・計	点
・測定7	処理作業後 (シート養生中)	処理作業室内	・計	点
・測定8	処理作業後シート撤去後	処理作業室内	・計	点
・測定9	1週間以降	調査対象室外部の付近	・計	点

測定方法
・自動測定器による測定

測定名称	測定方法
・測定4 ・測定5	粉じん相対濃度計 (デジタル粉じん計) パーティクルカウンター、繊維状粒子自動測定器 (リアルタイムファイバーモニター) 等の粉じんを迅速に測定できる機器を用いた測定

・JIS K 3850-1に基づいた測定

測定名称	メンブレン フィルタ直径 (mm)	試料の吸引流量 (L/min)	試料の吸引時間 (min)
・測定4 ・測定5	25	5	30
・測定 ・	25	10	120
・測定 ・	47	10	240
・測定 ・			

石綿含有建材の処理
・石綿含有吹付け材 (石綿含有保温材等を切断又は破砕して除去する場合を含む) の除去
除去対象範囲
・図示による
・
除去工法
※改修標準仕様書9.1.3(2)(7)による
・
除去した石綿含有吹付け材等の飛散防止措置
※湿潤化 ・ 固形化
除去した石綿含有吹付け材等の処分
・埋立処分 (管理型最終処分場)
・中間処理 (溶融施設又は無害化処理施設)

・石綿含有保温材等 (石綿含有けい酸カルシウム板第二種含む) の除去
除去対象範囲
・図示による
・
除去工法
※手ばらし
除去した石綿含有保温材等の飛散防止
※湿潤化 ・ 固形化
除去した石綿含有保温材等の処分
・埋立処分 (管理型最終処分場)
・中間処理 (溶融施設又は無害化処理施設)

・石綿含有けい酸カルシウム板第一種の切断、破砕等による除去
除去対象範囲
・図示による
・
隔離養生 (負担不要) 方法
・図示による
・
足場
・図示による
・
除去した石綿含有けい酸カルシウム板第一種の処分
・埋立処分 (安定型最終処分場)
・中間処理 (溶融施設又は無害化処理施設)

○石綿含有成形板の除去 (石綿含有けい酸カルシウム板第一種の手ばらしによる除去を含む。)
除去対象範囲
○図示による
・
除去した石綿含有成形板の処分
○石綿含有せっこうボード
※埋立処分 (管理型最終処分場)
○石綿含有せっこうボードを除く石綿含有成形板
○埋立処分 (安定型最終処分場)
・中間処理 (溶融施設又は無害化処理施設)
・

1級建築士事務所 青森県知事登録第A1-1642号
株式会社 **イクラン** 一級建築士事務所
門前 孝治 1級建築士登録第213201号

〒036-8353
青森県弘前市下翰師町11
TEL 0172-38-1900
FAX 0172-39-6168

承認 設計 担当

縮尺 A1版 —
A3版 —
設計年月日 2026.06

工事名称 令和8年度 弘前市社会福祉センター改修工事 (建築工事) (ゼロ市債)
図面名称 改修工事 特記仕様書 (その11)

AB-111
NO.

[illegible]

8

耐震改修工事
共通事項

適用範囲

・改修標準仕様書 8章 耐震改修工事
○改修標準仕様書において 8章 耐震改修工事以外の改修工事で8章を引用している部分
・

工事内容
・現場打ち鉄筋コンクリート壁の増設工事
・鉄骨ブレースの設置工事
・柱補強工事
（溶接金網巻き工法又は溶接閉鎖フープ巻き工法）
・柱補強工事（鋼板巻き工法又は帯板巻き付け工法）
・連続繊維補強工事
・耐震スリット新設工事
・免震改修工事
・制振改修工事
・土工事及び地業工事
・

○既存部分の処理等
[8.21.2、3][8.22.2、3][8.23.2、3][8.24.4][8.25.2][8.28.2]

既存構造体の撤去
撤去範囲
○図示による（ ）
はつり出した鉄筋及び鉄骨の処置
・図示による（ ）

既存構造体コンクリート面の目荒らしの程度
・既存柱、梁面
・打継ぎ面等の15～30%程度に、平均深さ 2～5mm（最大7mm）程度の凹凸を、全体にわたってつける。
・
・既存壁
・打継ぎ面の10～15%程度に、平均深さ 2～5mm（最大7mm）程度の凹凸を、全体にわたってつける。
・

既存杭の撤去等
・撤去範囲及び撤去方法
・図示による（ ）

8-1

鉄筋工事

鉄筋

鉄筋の種類等
[8.2.1]
種類の記号呼び径 (mm)備考
○SD295D10・D13
・SD345
・
・

溶接金網

鉄線の形状等
[8.2.2]
種類種類の記号鉄線の形状、網目寸法、鉄線の径 (mm)使用部位
・溶接金網
・

鉄筋の継手

鉄筋の継手の方法等
[8.3.4][8.4.2、3]
部位継手の方法呼び径 (mm)
柱、梁の主筋・ガス圧接・機械式継手
・溶接継手・重ね継手
耐力壁の鉄筋・重ね継手
その他の鉄筋○重ね継手
（ ）

継手位置
○図示による
（構造関係共通事項（配筋詳細図）5.1.6.1、7.1、7.3、8.1）
・
柱及び梁主筋の重ね継手の長さ
・図示による
（構造関係共通事項（配筋詳細図）3.1(a)(2)及び表3.1）
・
耐力壁の重ね継手の長さ
・図示による
（構造関係共通事項（配筋標準図）3.1(a)(2)及び表3.1）
・

鉄筋の定着

鉄筋の定着長さ
[8.3.4]
○図示による（構造関係共通事項（配筋標準図）3.1(b））
・

機械式定着工法

・適用する
適用箇所
・図示による（ ）
種類
・摩擦圧接接合・螺合グラウト固定
・嵌合グラウト固定
工法
※第三者機関の評定等を取得している工法とする
必要定着長さ
※評定等の評価内容による
補強筋形状
※評定等の評価内容による
かぶり厚さ
※評定等の評価内容による
品質確認
※評定等の評価内容による
検査
※評定等の評価内容による

最小かぶり厚さ
[8.3.5]
○図示による（構造関係共通事項（配筋標準図）4.1表4.1）
・
軽量コンクリートを適用する場合
・あり 適用箇所（ ）
・最小かぶり厚さに加える厚さ（ ）mm
・
耐久性上不利な箇所がある場合
（塩害等を受けるおそれのある部分等）
・あり 適用箇所（ ）
・最小かぶり厚さに加える厚さ（ ）mm
・

鉄筋のかぶり厚さ及び間隔
（溶接金網を含む）

圧接完了後の試験
[8.3.8]
※行う（全圧接部）

機械式継手
[8.4.2]
適用箇所
・図示による（ ）
・
H12建告第1463号に適合する性能
・A級
種類
・ねじ節鉄筋継手
充填方式
・無機グラウト方式・有機グラウト方式
・
・端部ねじ加工継手
・モルタル充填継手
・
工法
※第三者機関の評定等を取得している工法
鉄筋相互のあき
※評定等の評価内容による
品質の確認
※評定等の評価内容による
検査
※評定等の評価内容による
施工完了後の継手部の試験
・外観試験
試験対象
※全数
試験項目及び合否判定
※改修標準仕様書 表8.4.1～表8.4.3による
・
・
不合格となった場合の措置
※改修標準仕様書 8.4.2(5)(7)(a)～(c)
・図示による（ ）
・
・超音波測定試験
試験対象
・抜き取り
ロット
・1組の作業班が1日に行った継手箇所で、最大200箇所程度とする。
・
試験の箇所数
1ロットに対して（ ）箇所
・全数
試験項目
※挿入長さ
不合格となった場合の措置
・図示による（ ）

溶接継手

割裂補強筋

コンクリートの種類

コンクリートの種類

骨材

適用箇所
[8.4.3]
・図示による（ ）
・
H12建告第1463号に適合する性能
・A級
溶接継手の工法
・図示による（ ）
鉄筋相互のあき
・改修標準仕様書8.3.5(4)による
・評定等の評価内容による
・図示による（ ）
施工完了後の溶接部の試験
・外観試験
試験対象
※全数
試験項目
・評定等の評価内容による
・
試験方法
・評定等の評価内容による
・
・超音波探傷試験
試験対象
※全数

形状
[8.21.6][8.22.7]
・スパイラル筋
種類の記号
・SR235またはSWM-P
呼び径、曲げ直径、ピッチ
・図示による

コンクリートの類別
[8.1.3]
※Ⅰ類（JIS A 5308への適合を認証されたコンクリート）
・Ⅱ類（Ⅰ類以外でJIS A 5308に適合したコンクリート）
[8.1.3][8.1.4][8.2.5][8.9.2]
・普通コンクリート
設計基準強度 (N/mm²)スランブ (cm)気乾単位容積質量 (t/mm³)適用箇所
○21○18○2.3程度
・
・
・
構造体強度補正值 ※改修標準仕様書 表8.2.4による
・軽量コンクリート
設計基準強度 (N/mm²)スランブ (cm)気乾単位容積質量 (t/mm³)種類適用箇所
・※21・
・
構造体強度補正值 ※改修標準仕様書 表8.2.4による
種類
[8.2.5]
※普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又はフライアッシュセメントA種（普通ポルトランドセメントの品質は、JIS R 5210に示された規定の他、水和熱が7日目で352J/g以下、かつ28日目で402J/g以下のものとする）
適用箇所（ ）
・高炉セメントB種
適用箇所（ ）
・フライアッシュセメントB種
適用箇所（ ）

アルカリシリカ反応性による区分
[8.2.5]
※A・B

○混和材料

構造体用モルタル

暑中コンクリート

マスコンクリート

無筋コンクリート

流動化コンクリート

高流動コンクリート

・混和剤
[8.2.5]
混和剤の種類
※改修標準仕様書8.2.5(4)(a)による
・
・混和材
混和材の種類
※改修標準仕様書8.2.5(4)(b)による
・

[8.2.6]
構造体用モルタル
圧縮強度（ ）
フロー値（ ）

[8.10.2]
スランブ
※21m
・
構造体強度補正值
※改修標準仕様書 表8.10.1による

(6.13.1)(6.13.2)
適用箇所
・図示による（ ）
・
セメントの種類
・普通ポルトランドセメント
・中熱ポルトランドセメント
・低熱ポルトランドセメント
・高炉セメントB種
・フライアッシュセメントB種
・シリカセメント
・
混和材料
・混和剤
混和剤の種類
※標準仕様書6.13.2(2)(7)による
・
・混和材
混和材の種類
※標準仕様書6.13.2(2)(i)による
・
スランブ
※15cm
構造体強度補正值
※標準仕様書 表6.13.1による
・

[8.11.1]
コンクリートの種類
※普通コンクリート
設計基準強度
※18N/mm²
・
スランブ
※15cm又は18cm
・
セメントの種類
※普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又はフライアッシュセメントA種
・高炉セメントB種
・フライアッシュセメントB種
適用箇所
○図示による（ ）
・

(6.15.1)
適用箇所
・図示による（ ）
空気量
※4.5%
・

(6.16.1)
適用箇所
・図示による（ ）
材料及び調合
スランブフロー
・図示による
空気量
※4.5%
・
単位粗骨材かさ容積
※0.500mm³/mm³以上
・

1級建築士事務所 青森県知事登録第A1-1642号
株式会社 **イクラン** 一級建築士事務所
門前 孝治 1級建築士登録第213201号

〒036-8353
青森県弘前市下翰師町11
TEL 0172-38-1900
FAX 0172-39-6168

承認設計担当

縮尺
A1版 —
A3版 —
設計年月日
2026.06

工事名称
令和8年度 弘前市社会福祉センター改修工事（建築工事）（ゼロ市債）
図面名称
改修工事 特記仕様書（その13）

AB-113
NO.

[illegible]

工事区分表（他工事との取合い等）																													
項 目						A	E	M	EV	備 考		項 目						A	E	M	EV	備 考							
躯体関係												仕上げ関係																	
1. RC造 （梁・壁・床）の 貫 通 孔 開口部	貫通孔のスリーブ材及び取付け	○	○	○	○		1. 軽量鉄骨 天井下地 ・壁下地	補強を要するボードの切り込み及び下地の補強	○					11. その他 （続き）	排煙口等の天井仕上材の取付け	○					排煙口はM								
	補強を要する型枠材及び取付け	○						補強を要しないボードの切り込み		○	○				消火器ボックス設置工事	○													
	補強を要しない型枠材及び取付け	○	○	○	○			開口部の墨出し			○	○				誘導標識（誘導灯を除く）		○											
	貫通孔・開口部の墨出し	○	○	○	○										煙突底部排水目皿・排水管	○													
	貫通孔・開口部の補強	○					2. 可動間仕切り	切込み及び補強	○					くつつきマット・玄関マット・自動扉マット部 床排水金物（目皿共）・排水管	○														
	スリーブ・型枠の穴埋め	○	○	○	○	防火区画、防煙区画		位置ボックス	○					くつつ洗い流し部排水金物・排水管			○												
2. S・SRC造の 梁貫通孔	S・SRC造貫通鋼管スリーブ・補強	○					3. つりボルト 及び インサート	設備機器・器具・配管・配線・ダクト用			○	○		ルーフトレン	○														
	使用されたスリーブの穴埋め	○	○	○	○	防火区画、防煙区画								雨水流入配管				○											
	予備スリーブの穴埋め	○	○	○	○	防火区画、防煙区画								雨水利用設備集水管				○		電動遮断弁以降はM									
3. 設備機器 の基礎	屋内の基礎（建築設計図に記入のあるもの）	○				4. 外壁まわり	外壁ガラリ及びダクト接続用フランジ	○					屋外排水設備・外構	屋上緑化	○					屋上緑化用灌水装置 までの配管はM									
	屋内の基礎（設備設計図に記入のあるもの）		○	○			ウエザーカバー、ペントキャップ（シール共）			○					ポンプ及びポンプアップ配管				○										
	屋外・屋上の基礎	○					換気扇（取付枠共）			○																			
	屋上基礎で押さえコンにアンカーしない軽微なもの			○	○		サッシパネル開口	○																					
	機器取付け用アンカー・架台			○	○																								
	屋内受水タンク用の基礎	○				5. 湯沸室まわり	流し台・つり戸棚・水切り棚・コンロ台	○					1. 雨水	屋外雨水排水設備				○											
太陽電池アレイ用架台（支持金物）	○	○			AとEの区分は図示		フード（標準詳細図のもの、シール共）			○				樹及び樹ふた				○											
4. 昇降機関連	機械室・昇降路の躯体	○				6. 浴室まわり	浴室ユニット、複合浴室ユニット、シャワーユニット				○		2. 雑排水・汚水 電力・通信	マンホールの化粧上ふたの表面仕上げ				○											
	機械室の床開口	○					既製浴槽（ふたを含む）				○				雨水公設樹	○					公共下水道が分流式 の場合								
	機械室の上げ床コンクリート打設・仕上	○					浴室及び便所の床排水金物				○																		
	機械室・昇降路内換気設備			○																									
	巻上機周囲のチェッカープレート敷				○	7. 便所まわり	洗面カウンター	○					洗面器はM	3. 植栽	植栽及び客土	○													
	昇降路内ビット防水・集水樹	○					鏡（規格寸法のみ）				○				規格外はA														
	点検用タラップ				○		衛生器具ユニット					○																	
	各階出入口穴あけ・同補強	○					手すり、背もたれ					○																	
	三方枠取付・枠廻り埋戻し・同補修				○	8. 事務室まわり								4. ユニット形 浄化槽	タンク室の躯体	○													
	昇降路がS造の時の出入口扉・三方枠及び幕板の固定用鋼材	○					ファンコイルカバー	○								タンク室の砂充てん				○									
	出入口扉・三方枠及び幕板				○		家具組み込みの洗面器				○				切り込みはA	上記以外のユニット形浄化槽本体・配管及び据付等				○									
	出入口扉・三方枠及び幕板の各補強鉄骨	○																											
	昇降路の中間ビーム、ブラケット、レールブラケット支持柱、 他昇降路内の鋼製部材一式				○	9. フリーアクセスフロア	コンセント				○			5. 屋外オイル タンク	タンク室の躯体	○													
	昇降路がS造の時の中間ビーム及びブラケットの受けベース	○														タンク室の砂充てん				○									
	機械室大梁又は昇降路内にフックの取付（フックを含む）	○						床パネルの切り込み加工	○							上記以外のオイルタンク本体・配管及び据付等				○									
	ホール押釦・インジケーター・鋼索などの壁開口	○														配管トレンチ及び蓋	○												
	点検用コンセント・煙感知器		○			10. 自動扉 電動シャッター まわり	防火戸の自動開閉装置				○			6. その他															
	EV制御盤までの動力・照明用電源、アース、火災時管制運転信号、 非常用発電時管制運転信号、拡声設備（館内放送用）配管・配線工事		○				上部電動シャッター本体・制御盤・手動開閉装置・ヒューズ装置	○							駐車場ガソリントラップ（RC造）	○													
	EV警報盤又はEV監視盤からエレベーター内監視カメラ及び インターホンまでの配管・配線工事				○		排煙窓本体・自動開閉装置	○							屋外キュービクルフェンス（扉・錠共）	○													
	監視カメラ用の監視装置からEV警報盤又はEV監視装置までの 配管・配線工事		○				防煙たれ壁本体・駆動装置	○																					
EV警報盤又はEV監視盤までの保守遠隔監視用（電話回線）の 配管工事		○			上部電動シャッター、排煙窓及び防煙たれ壁連動制御装置の感知器		○																						
EV警報盤又はEV監視盤までの緊急地震速報受信用の配管工事		○			自動扉の本体・駆動装置・検出装置（センサー）		○																						
EV制御盤からEV監視盤又は警報盤までの制御、監視カメラ及び インターホンの配管・配線工事		○			自動扉の手元電源スイッチ					○																			
動力計測用電力計から自動制御盤までの配管・配線工事		○			電気錠の本体、扉内配線		○																						
5. その他	トラフ・ビット類（湧水・汚水）・RC造各種水槽	○					11. その他	電気錠の扉までの配管及び配線				○																	
	同上用防水・ふた・マンホール・タラップ等	○						自動閉鎖装置を取りつける防火戸の切り込み補強 及びドアクローザー、フロアヒンジ	○																				
	雷保護設備・同接地工事			○				自動扉・電動シャッターからセンサー（附属スイッチ）への 配管・配線工事	○																				
	ALC板の壁開口・補強	○						自動扉・電動シャッター本体までの配管・配線	○																				
	厨房排水溝	○																											
	厨房グリース阻集器				○			2重ビット及びトレンチのマンホールふた	○																				
	オイルサービスタンクの防油堤	○						機器搬入用フック、ビーム	○						EV用フック含む														
	フリーアクセスフロア内の防水堤	○						チェーンブロック				○	○																
既設埋設配管配線調査（X線探査含む）	○	○	○			化粧マンホール上ふたの表面仕上げ	○																						
						点検口（天井・床下）	○																						
凡 例	A：建築工事 E：電気設備工事 M：機械設備工事 EV：エレベーター設備工事 ※区分は○印のついたものを適用する。 ※複数に○印がある場合は、それぞれ必要とする工事で実施するものとする。					この工事区分表は、建築工事（A）、電気設備工事（E）、機械設備工事（M）、エレベーター設備工事（EV）といった施工上密接に関連する各工事において、材料や作業がどの工事に含まれているかを明確にするために共通事項として添付しているものである。よって、本工事の設計図書に記載されていない、工事範囲外の項目も含んでおり、本工事の具体的な工事内容を示すものではないことに留意すること。																							

1級建築士事務所 青森県知事登録第A1-1642号
 株式会社 Eクラブ 1級建築士事務所
門前 孝治 1 級建築士登録第213201号

〒036-8353
青森県弘前市下翰師町11
TEL 0172-38-1900
FAX 0172-39-6168

承認	設計	担当	

縮尺	A1版 — A3版 —
設計年月日	2026. 06

工事名称	令和8年度 弘前市社会福祉センター改修工事（建築工事）（ゼロ市債）
図面名称	工事区分表

AB-117
NO.

■ 外部仕上表 体育館 ※赤字は、改修内容を表す。

部 位			仕 上
屋根 (体育館)	改修前	改修後	t0.4 長尺カラー鉄板瓦棒葺き（ @315通し吊子）＋ アスファルトルーフィング22kg ＋t35テクタムボード（タテ方向 H型ジョイナー） 軒先R部:t0.5オリエントタルメタルスチールライト板横葺＋ アスファルトルーフィング22kg ＋t12ラワン合板（T1）張り 棟包み:t0.4カラー鉄板包み（210×24）
	改修後		既存屋根軒先部 W=600・ケラバ部 W=300程度撤去後、アスファルトルーフィング940＋t35硬質ウレタンボード（カット品） ＋t0.4ガルバリウム鋼板瓦棒葺きカバー工法（働き巾315）、雪止め付き【新設】 棟包み:既存撤去後、t0.4ガルバリウム鋼板包み（木下地210×24）【新設】 軒先R部:既存軒先R部屋根材撤去後、アスファルトルーフィング940＋t0.4ガルバリウム鋼板2段式横葺き（働き巾340）【新設】 唐草:t0.4ガルバリウム鋼板【新設】
屋根 (所要室)	改修前	改修後	t0.4 長尺カラー鉄板瓦棒葺き（ @315通し吊子）＋ アスファルトルーフィング22kg ＋ t25木毛セメント板 、雪止め 軒先部R:t0.5オリエントタルメタルスチールライト板横葺＋ アスファルトルーフィング22kg ＋t12ラワン合板（T1）張り 棟包み:t0.4カラー鉄板包み（210×24） 壁取合い:t0.4カラー鉄板
	改修後		既存屋根軒先部 W=600・ケラバ部 W=300程度、雪止め撤去後、アスファルトルーフィング940＋t35硬質ウレタンボード（カット品） ＋t0.4ガルバリウム鋼板瓦棒葺きカバー工法（働き巾315）、雪止め付き【新設】 棟包み:既存撤去後、t0.4ガルバリウム鋼板包み（木下地210×24）【新設】 軒先R部:既存軒先R部屋根材撤去後、アスファルトルーフィング940＋t0.4ガルバリウム鋼板2段式横葺き（働き巾340）【新設】 唐草:t0.4ガルバリウム鋼板【新設】 壁取合い水切:既存撤去後、t0.4ガルバリウム鋼板包み（木下地150×24）【新設】
軒天	改修前	改修後	LGS25＋ t5石綿セメント板 目透し張り EPリシン吹付け、一部有孔板張りEP
	改修後		既存セメント板撤去後、t5ケイ酸カルシウム板目透し張り DP、一部有孔板 DP【新設】
外壁	改修前	改修後	t0.4カラー鉄板成形張り（接合部 板金用テープ押入）＋t4（T1）ラワン合板張り 水切・見切:t1.0ボンデ鋼板加工 MP 鉄骨柱現し:MP タラップ:手摺 L-65×65×6 足掛:L-40×40×5@300 MP
	改修後		既存外壁板撤去後、透湿防風シート＋金属胴縁@455＋t16金属系サイディング縦張り【新設】 一部 下張りt4ラワン合板張替え（腐朽部分:全体の50%程度） 水切・オーバーハング見切:既存撤去後、アルミ製既製品【新設】 見切:外壁専用品【新設】 鉄骨柱型:下地調整（RB種）の上、DP塗替え、柱脚部腐食部1ヶ所:ケレン＋補強PL-9溶接＋DP タラップ:既存撤去の上、SUS タラップ W400 既製品、安全ガード L=4000【新設】
基礎立上り	改修前	改修後	基礎廻り・柱脚廻り（天端共）:モルタル金ゴテ
	改修後		基礎廻り・柱脚廻り（天端共）:既存モルタル撤去後、ひび割れ防止用グラスファイバー張り＋t25モルタル金ゴテ【新設】
外部建具	改修前	改修後	アルミ製サッシ、外部三方額縁:t1.0ボンデ鋼板 MP、水切:アルミ製
	改修後		アルミ製サッシ:既存障子撤去後、カバー工法【新設】 外部三方額縁:既存撤去後、アルミ額縁【新設】 水切:既存撤去後、アルミ額縁【新設】
シーリング	改修前	改修後	柱脚取合い:シーリング サッシ廻り・取合い:シーリング
	改修後		柱脚取合い:既存撤去後、MS-2 変成シリコーン 15×10【新設】 サッシ廻り・取合い部:既存撤去後、MS-2 変成シリコーン 15×10【新設】 サッシカバー工法廻り:外部 MS-2 変成シリコーン 15×10、内部 5×5【新設】

部 位			仕 上
屋外付帯 ポーチ	改修前	改修後	床:コンクリート刷毛引き仕上げ 靴洗い:人造大理石研出し、グレーチング付、ライニング:t100 CB積みモルタル塗り刷毛引き 吹付けタイル 甲板・堅枠:t1.0ボンデ鋼板 MP 車いす洗槽:人造石研出し 落下防止 φ34 GP MP L=1,000 点字ブロック 2-300×300
	改修後		床:コンクリート直押え下地塗床【新設】 靴洗い:【既存のまま】 ライニング:下地調整（RC種）の上、DP塗替え、甲板・堅枠:下地調整（RB種）の上、DP塗替え 既存車いす洗槽:人造石研出し 落下防止 φ34 GP MP L=1,000【撤去】 既存点字ブロック 2-300×300【撤去】 誘導ブロックタイル【新設】 2段手摺:ステンレス SUS304 HL φ38×2.0【新設】
屋外付帯 スロープ	改修前	改修後	床:コンクリート刷毛引き仕上げ 点字ブロック 2-300×300 W240用グレーチング蓋 受材 L-40×40×5 埋込足付
	改修後		床:コンクリート直押え下地塗床、収縮目地 W10×40【新設】 既存点字ブロック 2-300×300【撤去】 誘導ブロックタイル【新設】 既存 W240用グレーチング蓋 受材 L-40×40×5 埋込足付【撤去】 グレーチング蓋 W350用 h=25:スチール製（細目ノンスリップタイプ、T-2）【新設】 2段手摺:ステンレス SUS304 HL φ38×2.0【新設】
屋外付帯 犬走り 側溝 機器架台基礎	改修前	改修後	犬走り:コンクリート金ゴテ目地切 側溝取合い部:t25エラストイト挿入 表面アスファルトビッチ流し 側溝:U-240、埋設 HP φ150、溜枳:450×H500 コンクリート蓋付、一部鉄板蓋2ヶ所
	改修後		犬走り（南側）:床【既存のまま】側溝取合い部:t25エラストイト【撤去】の上、t25エラストイト目地【新設】 犬走り（北側）:t50砂利敷（25mm以下）＋路盤 t100切込碎石（C-20）＋除草シート張り【新設】 犬走り（西側）:土間コンクリート金ゴテ、収縮目地 W10×40、取合い部 伸縮調整目地 W10×40＋目地板【新設】 既存側溝:U-240、埋設 HP φ150、溜枳:450×H500 コンクリート蓋付、一部鉄板蓋2ヶ所、フェンス基礎150角【撤去】 側溝:U-240、溜枳450×H600 t50コンクリート蓋付【新設】 機器架台基礎:コンクリート金ゴテ【新設】
断熱材	改修前	改修後	床:土間下t20スタイロフォーム 外壁（所要室）:t100グラスウール 天井（所要室）:t100グラスウール
	改修後		床:体育館・所要室一部:既存撤去の上、t30押出法ポリスチレンフォーム3種b【新設】 外壁（所要室）:t100グラスウール【既存のまま】 天井（所要室）:既存撤去の上、t100高性能グラスウール（16kg品）【新設】

■ 外部仕上表 渡り廊下B

部 位			仕 上
屋根	改修前	改修後	t0.4 長尺カラー鉄板瓦棒葺き（ @315通し吊子）＋ アスファルトルーフィング22kg ＋ t25木毛セメント板 、雪止め 棟包み:t0.4カラー鉄板包み（200×25）、鼻隠し:t0.4カラー鉄板包み（30×280）
	改修後		既存屋根＋アスファルトルーフィング、雪止め撤去後、アスファルトルーフィング940＋t0.4ガルバリウム鋼板立平葺き（防水テープ入れ）【新設】 雪止めアングル（L-50×50×4.5 亜鉛メッキ）【新設】 棟包み:既存撤去後、t0.4ガルバリウム鋼板包み（木下地210×24）、鼻隠し:既存撤去後（木下地残し）、t0.4カラーガルバリウム鋼板包み【新設】 唐草:t0.4ガルバリウム鋼板【新設】 壁取合い水切:既存撤去後、t0.4ガルバリウム鋼板包み（木下地150×24）【新設】
軒天	改修前	改修後	木組＋ t5石綿セメント板 目透し張り EPリシン吹付け
	改修後		既存セメント板撤去後、t5ケイ酸カルシウム板目透し張り DP
外壁	改修前	改修後	t0.4カラー鉄板成形張り（接合部 板金用テープ押入）＋ アスファルトフェルト17kg
	改修後		既存外壁板＋アスファルトフェルト撤去後、透湿防風シート＋金属胴縁@455＋t16金属系サイディング縦張り【新設】
基礎立上り	改修前	改修後	モルタル金ゴテ
	改修後		既存モルタル撤去後、ひび割れ防止用グラスファイバー張り＋t25モルタル金ゴテ【新設】 一部開口部コンクリート詰め

部 位			仕 上
外部建具	改修前	改修後	アルミ製サッシ、外部三方額縁:t1.0ボンデ鋼板 MP、水切:アルミ製
	改修後		アルミ製サッシ:既存障子撤去後、カバー工法【新設】 外部三方額縁:既存撤去後、アルミ額縁【新設】 水切:既存撤去後、アルミ額縁【新設】
シーリング	改修前	改修後	サッシ廻り・取合い:シーリング
	改修後		サッシ廻り・取合い部:既存撤去後、MS-2 変成シリコーン 15×10【新設】
金物	改修前	改修後	アルミ製EXP. Jカバー:屋根・軒天・外壁
	改修後		アルミ製EXP. Jカバー:屋根・軒天・外壁【取外し再取付】
断熱材	改修前	改修後	外壁:t100グラスウール 天井:t100グラスウール
	改修後		床:t30押出法ポリスチレンフォーム3種b【新設】 外壁:t100グラスウール【既存のまま】 天井:既存撤去の上、t100高性能グラスウール（16kg品）【新設】

※ - 石綿含有建材を示す。 - 石綿含有みなし材を示す。 - 石綿含有建材除去（下地材共除去する部分も含む）を示す。: 除去部分凡例表記については、仕上表のみとし、他の図面は仕上表参照の事。

■ 凡例

- t0.4ガルバリウム鋼板

t16金属系サイディング

t5ケイ酸カルシウム板

t4ラワン合板

塗床

誘導ブロックタイル
- 耐摩カラーSGL鋼板 同等品以上

はる・一番 シンプルシリーズH スマートスパンH（実形状Dタイプ）横ジョイント無し 熱伝導率1.43 ケイミュー㈱ 同等品以上

不燃材 NM-3522 同等品

1類

水性型無機系遮熱床塗料 ストリートカラーNS遮熱タイプ 同等品以上

t9+5 磁器質タイル300角、誘導表示型、位置表示型

■ 塗装凡例

- DP（ケイ酸カルシウム板面）

DP（モルタル面）

DP（鉄部）
- 建築用耐候用性上塗り塗料 2級

建築用耐候用性上塗り塗料 2級

鋼構造物用耐候性 A種上塗り塗料 2級

■ 内部仕上表 1 ※ 赤文字は改修部分を表す。 ※壁方向A・B・C・Dは、平面詳細図展開キープランによる。

階	室 名			床		巾 木	壁		天 井		廻り縁	天井高	備 考	
				下 地	仕 上		方向	下 地	仕 上	下 地	仕 上			
1	改修前	1	風除室	均しモルタル	100角磁器質タイル張り	100角磁器質タイル張り H=100	A						1	下足箱（30人+25人）【撤去】 木製スノコ：1800×550×60×2ヶ所【撤去】 点字ブロック：300×300×2 【撤去】
							B	SW+Kラス下地モルタル刷毛引	吹付タイル	LGS19	t9化粧PB	塩ビ製		
							C							
							D	SW+Kラス下地モルタル刷毛引	吹付タイル					
	2		女子更衣室	モルタル金ゴテ	t2長尺塩ビシート張り	木製 H=200 SOP	A	LGS100+ t9PB	ビニールクロス張り	LGS19+ t9PB 目透し	EP	塩ビ製	2. 400	
							B	SW+ t9PB	ビニールクロス張り					
							C	LGS100+ t9PB	ビニールクロス張り					
							D	LGS100+ t9PB	ビニールクロス張り					
	3		シャワー室	コンクリート金ゴテ	t5ユーフロア塗		A			LGS19	バスリブ張り	アルミ製	2. 450	ステンレス手摺φ38 【撤去】
							B	SW+Kラス下地モルタル金ゴテ	セラスキン吹付					
							C	SW+Kラス下地モルタル金ゴテ	セラスキン吹付					
							D	LGS100+Kラス下地モルタル金ゴテ	セラスキン吹付					
	4		女子便所	モルタル金ゴテ	t2長尺塩ビシート張り	木製 H=200 SOP	A	LGS100+ t3合板+t5石綿セメント板	セラスキン吹付	LGS19+ t9PB 目透し	EP	塩ビ製	2. 400	ステンレス手摺φ38 【撤去】 ライニング 【撤去】
							B	LGS100+ t3合板+t5石綿セメント板	セラスキン吹付					
							C	木組+ t3合板+t5石綿セメント板	セラスキン吹付					
							D	木組+ t3合板+t5石綿セメント板	セラスキン吹付					
	5		風除室	既存下地撤去後、 モルタル塗【新設】	既存仕上撤去後、 100角磁器質タイル張り【新設】	既存仕上撤去後、 100角磁器質タイル張り【新設】	A	【既存のまま】	下地調整(RC等)の上、 内装塗材E【新設】	既存下地撤去後、 LGS19【新設】	既存仕上撤去後、 t9. 5化粧PB【新設】	既存撤去後、 塩ビ製【新設】	2. 700 ～2. 725	誘導ブロックタイル【新設】
							B	【既存のまま】	下地調整(RC等)の上、 内装塗材E【新設】					
							C		下地調整(RC等)の上、 内装塗材E【新設】					
							D	【既存下地撤去】	【既存仕上撤去】					
	6		下足室	既存下地撤去後、 モルタル金ゴテ【新設】	既存仕上撤去後、 t2ビニル床シート張り【新設】	既存仕上撤去後、 ソフト巾木 H=60【新設】	A	既存下地撤去後、LGS100+t12. 5PB【新設】	内装薄塗材E【新設】	既存下地撤去後、 LGS19【新設】	既存仕上撤去後、 t9. 5化粧PB【新設】	既存撤去後、 塩ビ製【新設】	2. 700	2段手摺：樹脂製φ34【新設】
							B							
							C	既存下地撤去後、LGS65+t12. 5PB【新設】	内装薄塗材E【新設】					
							D	既存下地撤去後、LGS65+t12. 5PB【新設】	内装薄塗材E【新設】					
	7		倉庫D	既存下地撤去後、 一部段差t25モルタル調整 モルタル金ゴテ【新設】	既存仕上撤去後、 t2ビニル床シート張り【新設】	既存仕上撤去後、 集成材 H=100 EP-G【新設】	A	・既存下地撤去後、LGS100+t9. 5PB【新設】	・t12ラワン合板張り【新設】	既存下地撤去後、 LGS19【新設】	既存仕上撤去後、 t9. 5化粧PB【新設】	既存撤去後、 塩ビ製【新設】	2. 700	
							B	・既存下地撤去後、LGS65+t9. 5PB【新設】	・t12ラワン合板張り【新設】					
							C	・既存下地撤去後、木組+t9. 5PB【新設】	・t12ラワン合板張り【新設】					
							D	・既存下地撤去(木組残し)後、t9. 5PB【新設】	・t12ラワン合板張り【新設】					
	8	改修前	廊下	モルタル金ゴテ	t2長尺塩ビシート張り	木製 H=200 SOP	A	LGS100+ t9PB	ビニールクロス張り	LGS19	t9化粧PB	塩ビ製	2. 700	集成材手摺φ40 CL【撤去】 掲示板1800×900【撤去】 水飲み流し：ステンレス製【撤去】 ステンレス手摺φ38【撤去】 各室出入口点字ブロック：300×300×2【撤去】
							B	LGS100+ t9PB	セラスキン吹付					
							C	LGS100+ t9PB	ビニールクロス張り					
							D	木組+ t9PB	ビニールクロス張り					
	9	改修後	廊下	既存下地撤去後、 モルタル金ゴテ【新設】 一部既存土間撤去	既存仕上撤去後、 t2ビニル床シート張り【新設】	既存仕上撤去後、 ガード巾木 H=300【新設】	A	既存下地撤去後、LGS100+t12. 5PB【新設】	クロス張り【新設】	既存下地撤去後、 LGS19【新設】	既存仕上撤去後、 t9. 5化粧PB【新設】	既存撤去後、 塩ビ製【新設】	2. 700 一部2. 400	2段手摺：樹脂製φ34【新設】 誘導ブロックシート【新設】
							B							
							C	既存下地撤去後、LGS100+t12. 5PB【新設】	クロス張り【新設】					
							D	既存下地(木組残し)撤去後、t12. 5PB【新設】	クロス張り【新設】					
	10		男子更衣室	モルタル金ゴテ	t2長尺塩ビシート張り	木製 H=200 SOP	A	LGS100+ t9PB	ビニールクロス張り	LGS19+ t9PB 目透し	EP	塩ビ製	2. 400	タオル掛け【撤去】
							B	木組+ t9PB	ビニールクロス張り					
							C	LGS100+ t9PB	ビニールクロス張り					
							D	LGS100+ t9PB	ビニールクロス張り					
	11	改修前	シャワー室	コンクリート金ゴテ	t5ユーフロア塗		A	SW+Kラス下地モルタル金ゴテ	セラスキン吹付	LGS19	バスリブ張り	アルミ製	2. 450	ステンレス手摺φ38 【撤去】
							B	SW+Kラス下地モルタル金ゴテ	セラスキン吹付					
							C							
							D	LGS100+Kラス下地モルタル金ゴテ	セラスキン吹付					
	12		男子便所	モルタル金ゴテ	t2長尺塩ビシート張り	木製 H=200 SOP	A	木組+ t3合板+t5石綿セメント板	セラスキン吹付	LGS19+ t9PB 目透し	EP	塩ビ製	2. 400	ライニング 【撤去】
							B	LGS100+ t3合板+t5石綿セメント板	セラスキン吹付					
							C	LGS100+ t3合板+t5石綿セメント板	セラスキン吹付					
							D	木組+ t3合板+t5石綿セメント板	セラスキン吹付					
	13		器具庫		モルタル金ゴテ 目地切	木製 H=200 SOP	A	木組+ t9PB目透し	SOP	LGS19+ t9PB 目透し	OP	塩ビ製	2. 600	
							B	LGS100+ t9PB目透し	SOP					
							C	LGS100+ t9PB目透し	SOP					
							D	木組+ t9PB目透し	SOP					
	14		男子更衣室	既存土間・下地撤去後、 コンクリート土間+ モルタル金ゴテ【新設】	既存仕上撤去後、 t2ビニル床シート張り【新設】	既存仕上撤去後、 ソフト巾木 H=60【新設】	A	LGS65+t12. 5PB【新設】	クロス張り【新設】	既存下地撤去後、 LGS19【新設】	既存仕上撤去後、 t9. 5化粧PB【新設】	既存撤去後、 塩ビ製【新設】	2. 400	
							B	既存下地(木組残し)撤去後、t12. 5PB【新設】	クロス張り【新設】					
							C	既存下地撤去後、LGS100+t12. 5PB【新設】	クロス張り【新設】					
							D	LGS65+t12. 5PB【新設】	クロス張り【新設】					
	15	改修後	女子更衣室	既存土間・下地撤去後、 コンクリート土間+ モルタル金ゴテ【新設】	既存仕上撤去後、 t2ビニル床シート張り【新設】	既存仕上撤去後、 ソフト巾木 H=60【新設】	A	LGS65+t12. 5PB【新設】	クロス張り【新設】	既存下地撤去後、 LGS19【新設】	既存仕上撤去後、 t9. 5化粧PB【新設】	既存撤去後、 塩ビ製【新設】	2. 400	
							B	LGS65+t12. 5PB【新設】	クロス張り【新設】					
							C	既存下地撤去後、LGS100+t12. 5PB【新設】	クロス張り【新設】					
							D	既存下地(木組残し)撤去後、t12. 5PB【新設】	クロス張り【新設】					
	16		多目的WC	既存土間・下地撤去後、 コンクリート土間+ モルタル金ゴテ【新設】	既存仕上撤去後、 t2ビニル床シート張り 熱溶接工法【新設】	既存仕上撤去後、 ガード巾木 H=300【新設】	A	LGS65+t12. 5PB【新設】	クロス張り【新設】	既存下地撤去後、 LGS19【新設】	既存仕上撤去後、 t9. 5化粧PB【新設】	既存撤去後、 塩ビ製【新設】	2. 400	フィッティングボード【新設】 ベビーチェア【新設】 ベビーシート【新設】
							B	LGS65+t12. 5PB【新設】	クロス張り【新設】					
							C	既存下地撤去後、LGS100+t12. 5PB【新設】	クロス張り【新設】					
							D	LGS65+t12. 5PB【新設】	クロス張り【新設】					

※ - 石綿含有建材を示す。 - 石綿含有みなし材を示す。 - 石綿含有建材除去（下地材共除去する部分も含む）を示す。：除去部分凡例表記については、仕上表のみとし、他の図面は仕上表参照の事。

■ 内部仕上表 2 ※ 赤文字は改修部分を表す。 ※壁方向A・B・C・Dは、平面詳細図展開キープランによる。

階	室 名			床		巾 木	壁			天 井		廻り縁	天井高	備 考	
				下 地	仕 上		方向	下 地	仕 上	下 地	仕 上				
1	17	改修後	男子WC	既存土間・下地撤去後、 土間コンクリート＋ モルタル金ゴテ【新設】	既存仕上撤去後、 t2ビニル床シート張り 熱溶接工法【新設】 一部汚垂タイルD=600	既存仕上撤去後、 ソフト巾木 H=60【新設】	A B C D	・既存下地(木組残し)撤去後、t12.5PB【新設】 ・腰 H455:木組撤去後、木組補修 t12.5PB【新設】 ・既存下地撤去後、木組+t12.5PB【新設】 LGS65+t12.5PB【新設】	・クロス張り【新設】 ・クロス張り【新設】 クロス張り【新設】 クロス張り【新設】	既存下地撤去後、 LGS19【新設】	既存仕上撤去後、 t9.5化粧PB【新設】	既存撤去後、 塩ビ製【新設】	2.400		17
	18		女子WC	既存土間・下地撤去後、 土間コンクリート＋ モルタル金ゴテ【新設】	既存仕上撤去後、 t2ビニル床シート張り 熱溶接工法【新設】	既存仕上撤去後、 ソフト巾木 H=60【新設】	A B C D	・既存下地(木組残し)撤去後、t12.5PB【新設】 ・腰 H455:木組撤去後、木組補修 t12.5PB【新設】 ・既存下地撤去後、LGS65+t12.5PB【新設】 LGS65+t12.5PB【新設】 ・既存下地(木組残し)撤去後、t12.5PB【新設】 開口塞ぎ 木組+t12.5PB【新設】、腰H455木組補修	・クロス張り【新設】 クロス張り【新設】 クロス張り【新設】 クロス張り【新設】	既存下地撤去後、 LGS19【新設】	既存仕上撤去後、 t9.5化粧PB【新設】	既存撤去後、 塩ビ製【新設】	2.400		18
	19	改修前	体育館	コンクリート金ゴテ	t15ラザコート塗 周囲 W500:t10ウレタン塗	木製 H=200 SOP	A B C D	・腰:木組+t3合板+t5.5(T1) ㍻㍻合板 目透し ・上部:木組+t5.5(T1) ㍻㍻合板 目透し ・一部鉄骨柱現し	・SOP ・SOP ・SOP	・鉄骨梁・母屋現し	・野地板 テクタムボード現し タテ方向のみHジョイナー使用 ・SOP			支柱座金具、バスケット台、暗幕【撤去】 カーテンBOX【既存のまま】防球面格子【取外し】 バトン L=4.0、6.0【撤去】 点字ブロック:300×300×2【撤去】	19
	20	改修後	体育館	既存土間・下地撤去後、 土間コンクリート＋ モルタル金ゴテ【新設】	既存仕上撤去後、 t10.5屋内スポーツ用長尺弾性 塩ビシート張り【新設】	既存仕上撤去後、 集成材 H=200 EP-G【新設】	A B C D	・腰、上部、鉄骨柱:【既存のまま】 ・腰 H455:既存下地仕上撤去後、木組補修 +t3ラワン合板+t5.5ラワン合板 目透し ・一部開口塞ぎ 木組 +t3ラワン合板+t5.5ラワン合板 目透し	・木部面:下地調整(RB種)の上、EP塗替え 鉄部:下地調整(RB種)の上、EP-G塗替え ・EP【新設】 ・EP【新設】	・【既存のまま】	・下地調整(RB種)の上、EP吹付塗替え ・下地調整(RB種)の上、EP-G塗替え			床金具:バレー用、バドミントン用【新設】 コートライン:バレーボール、バドミントン、 ポッチャ【新設】誘導ブロックシート【新設】 暗幕【新設】防球面格子【再取付】 昇降バトン【新設】防球面格子、カーテンBOX 下地調整(RB種)の上、EP-G塗替え	20
	21	改修前	渡り廊下B	モルタル金ゴテ	t2長尺塩ビシート張り	木製 H=200 SOP	A B C D	木組+ t9PB 木組+ t9PB	ビニールクロス張り ビニールクロス張り	LGS19	t9化粧PB	塩ビ製	2.500	集成材手摺φ45【撤去】 防煙垂れ壁【取外し】 EXP.Jカバー:アルミ製 床用・内壁用・天井用 【取外し】	21
	22	改修後	渡り廊下B	既存土間・下地撤去後、 土間コンクリート＋ モルタル金ゴテ【新設】	既存仕上撤去後、 t2ビニル床シート張り【新設】	既存仕上撤去後、 ガード巾木 H=300【新設】	A B C D	・既存下地(木組残し)撤去後、t12.5PB【新設】 ・LGS65+t12.5PB【新設】	・クロス張り【新設】 ・クロス張り【新設】	【既存のまま】	既存仕上撤去後、 t9.5化粧PB【新設】	既存撤去後、 塩ビ製【新設】	2.500	2段手摺:樹脂製φ34【新設】 防煙垂れ壁【再取付】 EXP.Jカバー:アルミ製 床用・内壁用・天井用 【再取付】	22
	23														23
	24														24

※ - 石綿含有建材を示す。 - 石綿含有みなし材を示す。 - 石綿含有建材除去（下地材共除去する部分も含む）を示す。: 除去部分凡例表記については、仕上表のみとし、他の図面は仕上表参照の事。

■ 石綿含有建材・石綿含有みなし材除去 リスト ※ 吹付タイル・セラスキン吹付→下地調整材、塩ビシート→接着剤に石綿含有。

部位	石綿含有建材・石綿含有みなし材	除去方法
屋根	アスファルトルーフィング22kg	粉塵飛散抑制剤吹付、アスファルトルーフィング除去、廃棄物袋詰め、清掃
外壁	アスファルトフェルト17kg	
軒天	t5石綿セメント板	粉塵飛散抑制剤吹付、石綿セメント板除去、廃棄物袋詰め、清掃
床	t2長尺塩ビシート（接着剤）	床材除去、接着剤:集じん装置付き高圧水併用ディスクグラインダーケレン工法で除去、 吸水性凝固樹脂処理後2重密封、清掃
壁	Kラス下地モルタル+吹付タイル(下地調整材)	粉塵飛散抑制剤吹付、ラスモルタル毎除去、廃棄物袋詰め、清掃
	Kラス下地モルタル+セラスキン吹付(下地調整材)	
	t5石綿セメント板+セラスキン吹付(下地調整材)	粉塵飛散抑制剤吹付、石綿セメント板毎除去、廃棄物袋詰め、清掃
	t9PB+セラスキン吹付(下地調整材)	粉塵飛散抑制剤吹付、PB板除去、廃棄物袋詰め、清掃

■ 特記

・石綿含有みなし材（アスファルトルーフィング・フェルト）撤去に先立ち、石綿含有分析調査を行うこと。

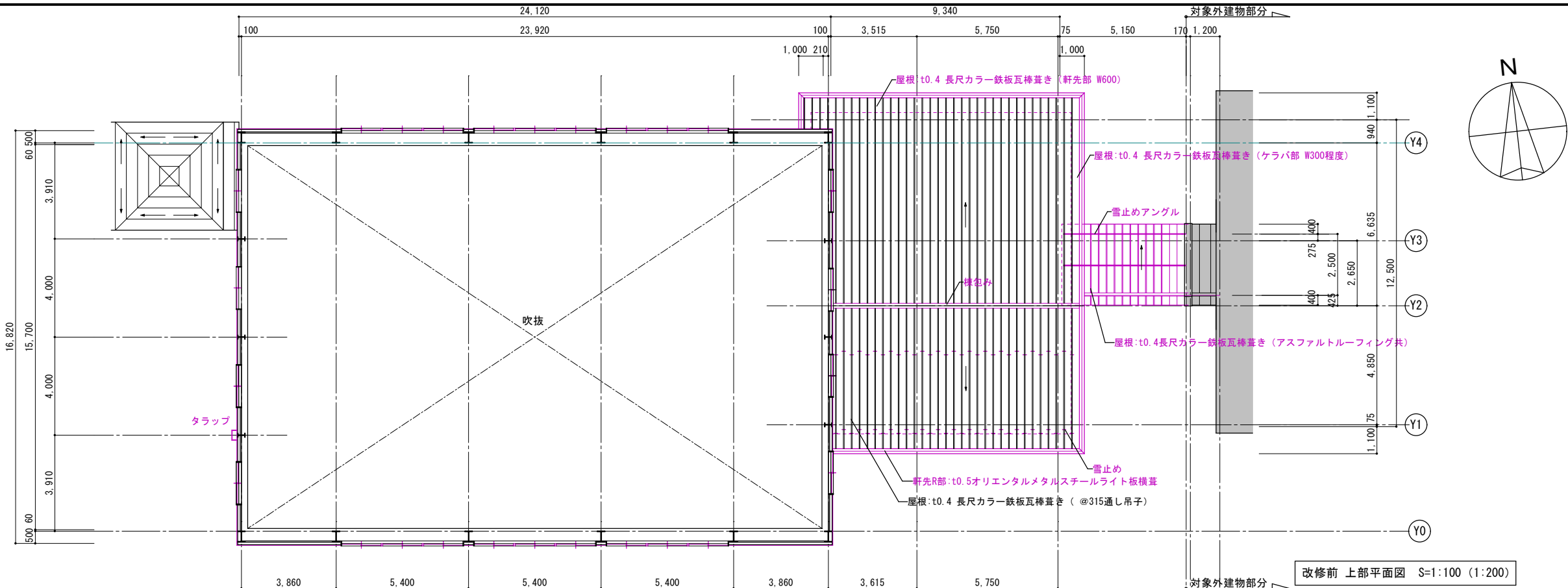
なお、調査の結果、石綿が含有されていなかった場合は監督職員及び発注者と協議を行う。

■ 凡例

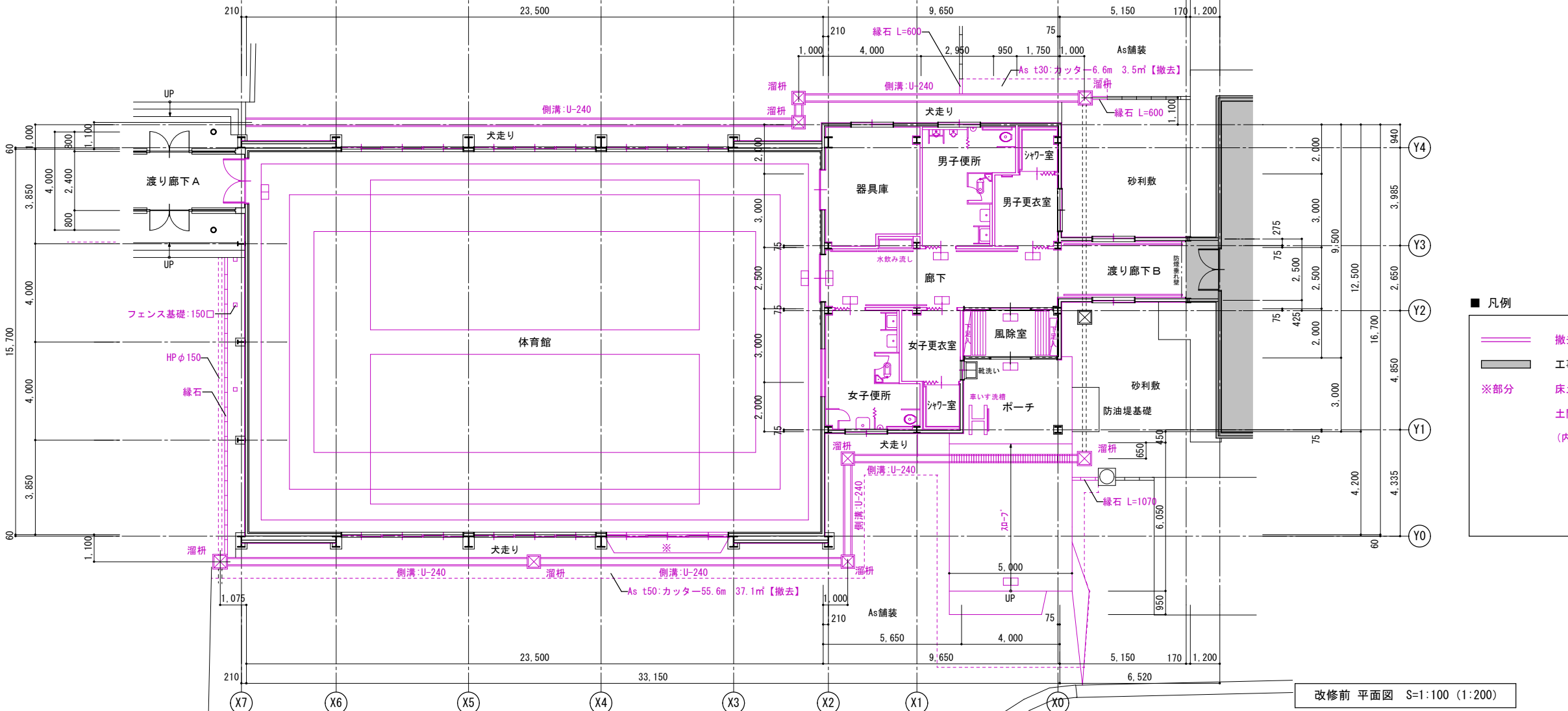
- | | |
|-------------------|---|
| ・t9.5PB | - 準不燃 QM-9828 |
| ・t12.5PB | - 不燃 NM-8619 |
| ・t9.5化粧石膏ボード | - 準不燃 QM-0524 |
| ・t6化粧ケイカル板 | - 不燃 NM-4227 同等品 |
| ・内装薄塗材E | - 不燃 NM-1442 |
| ・t3・t5.5・t12ラワン合板 | - 1類 |
| ・クロス | - 不燃 NM-3992 同等品 |
| ・集成材巾木 | - スプルス積層材 |
| ・木組 | - 縦45×45@455、横24×45@303、松、開口塞ぎ：間柱90×45@455、胴縁24×45@303、松
木組補修：下端（パッキン材）105×36@910、壁胴縁45×45@455、H455、松、 |
| ・誘導ブロックタイル | - t9+5 磁器質タイル300角、誘導表示型、位置表示型 |
| ・誘導ブロックシート | - t2+5 樹脂製300角、誘導表示型、位置表示型 |

■ 塗装凡例

- | | | | |
|-------|--------------------------------|--------------|---------------|
| ・EP | - 合成樹脂エマルションペイント1種 B種 | ： 不燃 NM-8585 | ： 準不燃 QM-9816 |
| ・EP-G | - つや有合成樹脂エマルションペイント A種（塗替え B種） | ： 不燃 NM-8585 | ： 準不燃 QM-9816 |



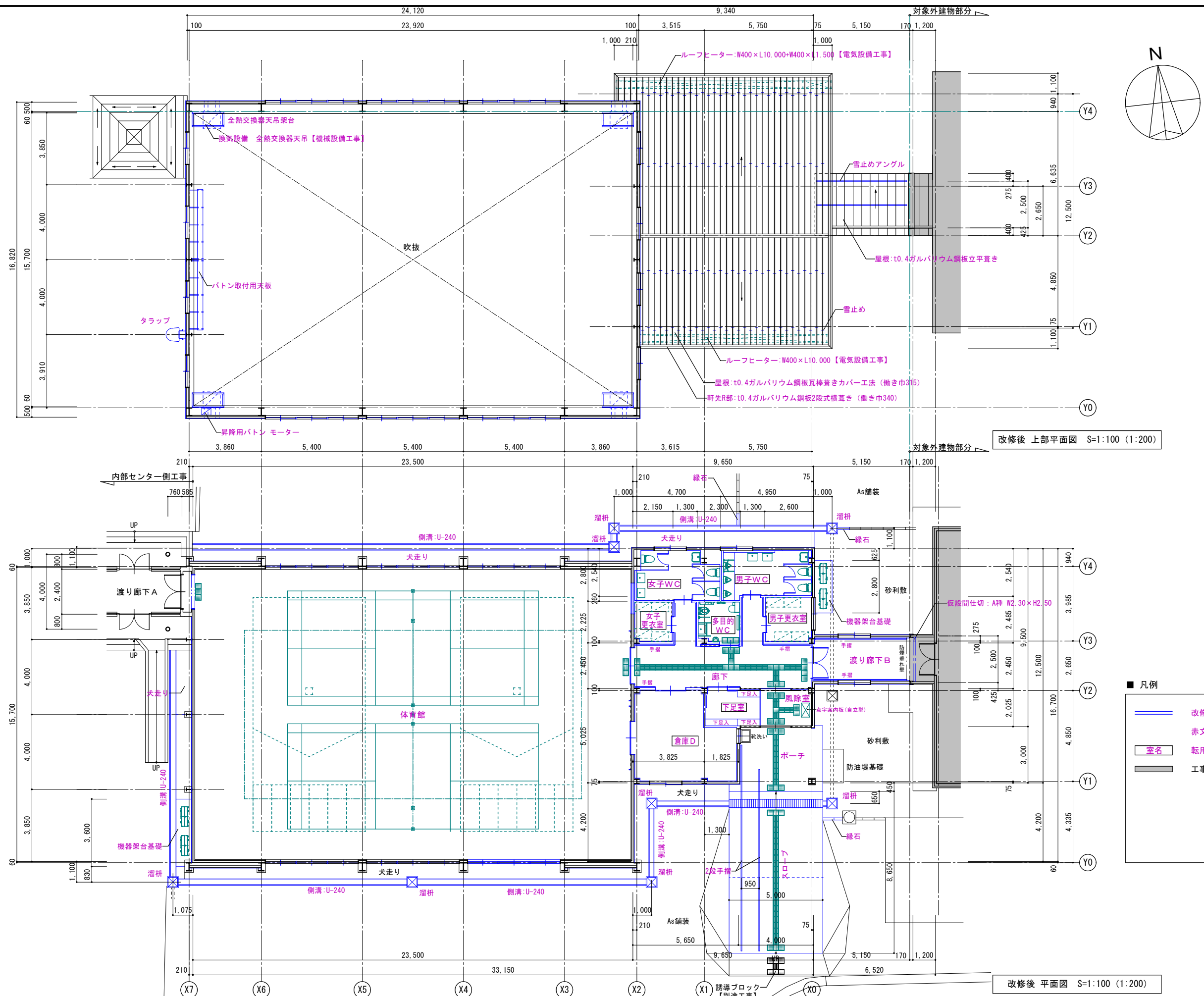
改修前 上部平面図 S=1:100 (1:200)



改修前 平面図 S=1:100 (1:200)

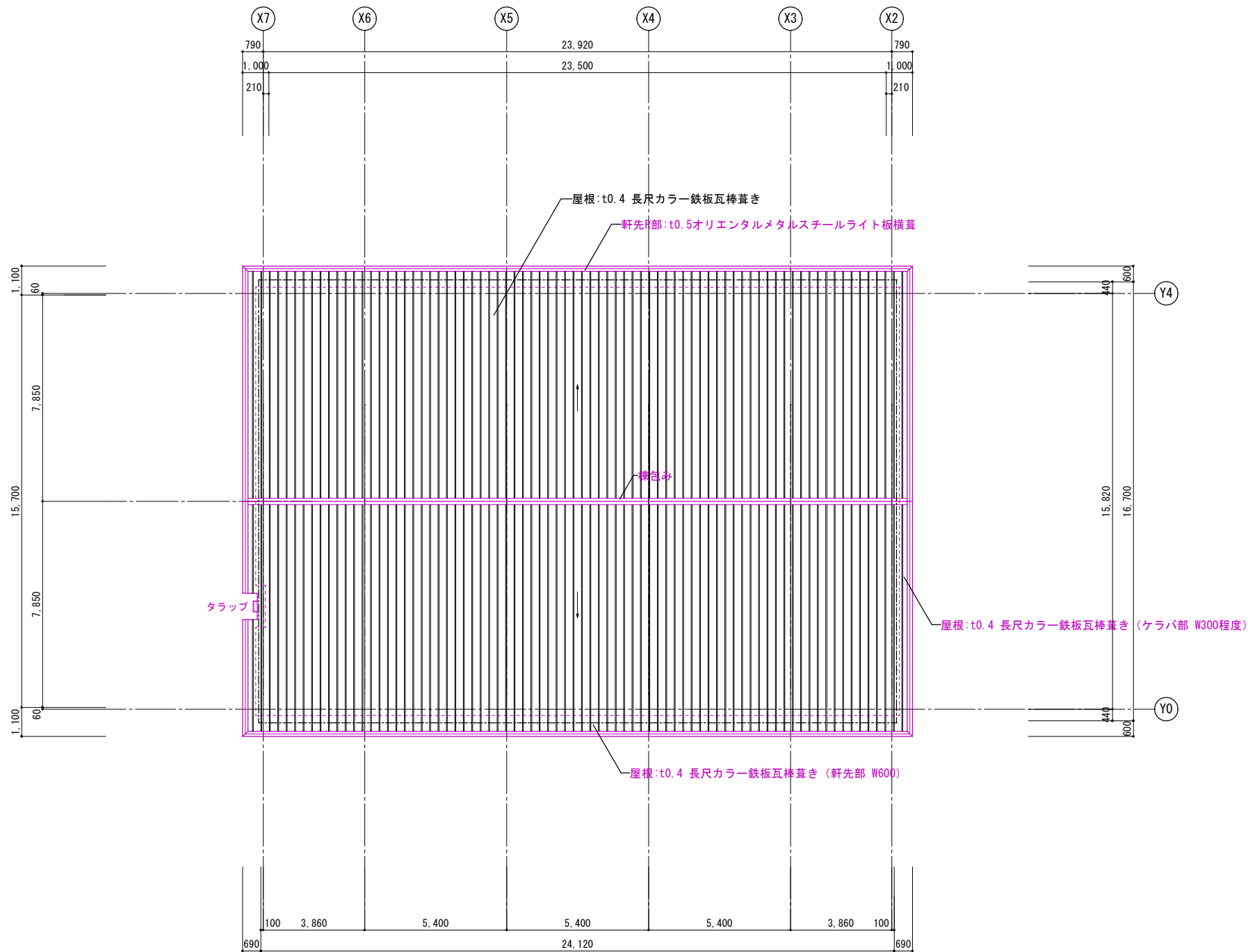
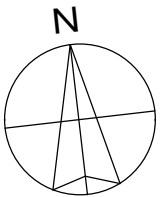
■ 凡例

- 撤去部分 (文字表記共)
- 工事対象外部分
- ※部分 床土間解体撤去の為、一時外壁取外し、土間工事完了後復旧の事。(内外装、アルミ製サッシ撤去、鉄骨筋緣取外し、再取付)



■ 凡例

- 改修部分
- 赤文字表記は、改修部分を表す。
- 室名
- 転用室を表す。
- 工事対象外部分



■ 凡例

撤去部分 (文字表記共)

改修前 屋根伏図 S=1:100 (1:200)

1級建築士事務所 青森県知事登録第A1-1642号

株式会社 **イクラン** 一級建築士事務所
門前 孝治 1級建築士登録第213201号

〒036-8353
青森県弘前市下輪師町11
TEL 0172-38-1900
FAX 0172-39-6168

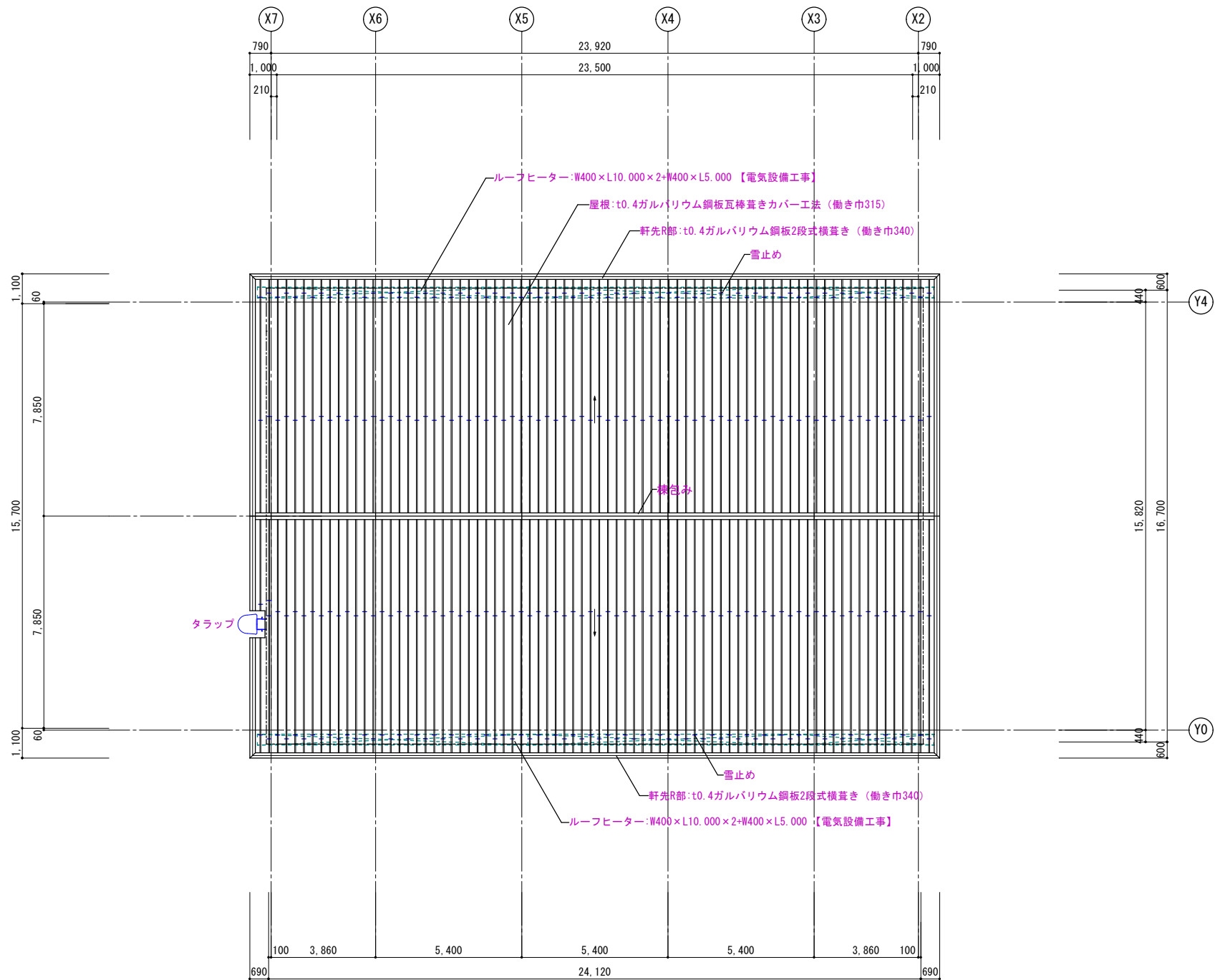
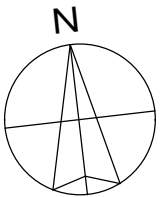
承認	設計	担当

縮尺	A1版 1:100 A3版 1:200
設計年月日	2026.06

工事名称	令和8年度 弘前市社会福祉センター改修工事 (建築工事) (ゼロ市債)
図面名称	改修前 屋根伏図

AB-303

NO.



■ 凡例

- 改修部分
- 赤文字表記は、改修部分を表す。

改修後 屋根伏図 S=1:100 (1:200)

1級建築士事務所 青森県知事登録第A1-1642号

株式会社 **イクラン** 一級建築士事務所
門前 孝治 1級建築士登録第213201号

〒036-8353

青森県弘前市下輪師町11
TEL 0172-38-1900
FAX 0172-39-6168

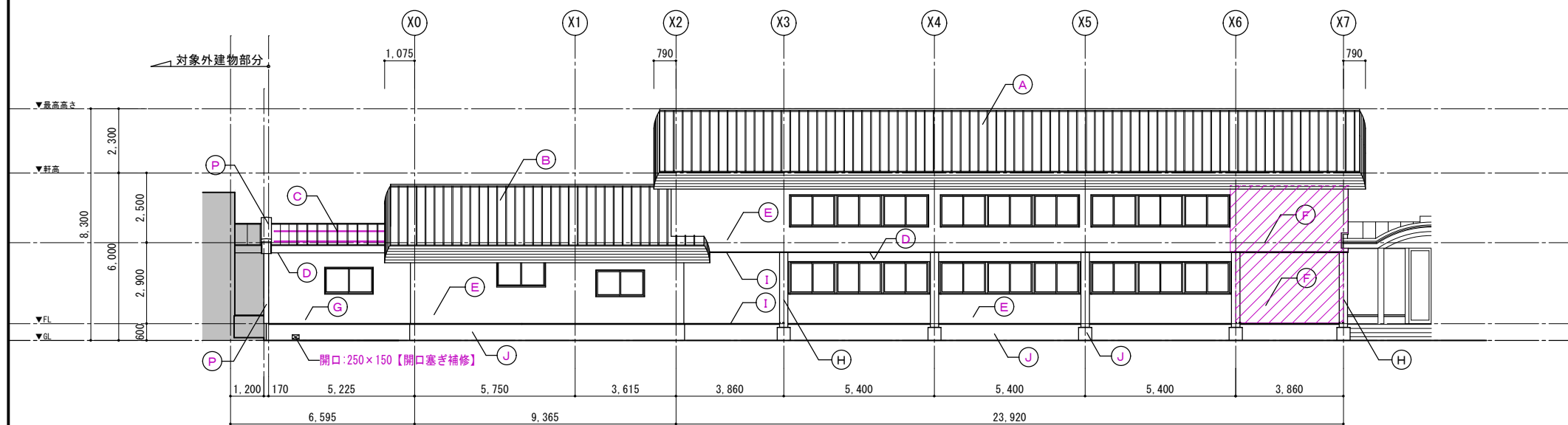
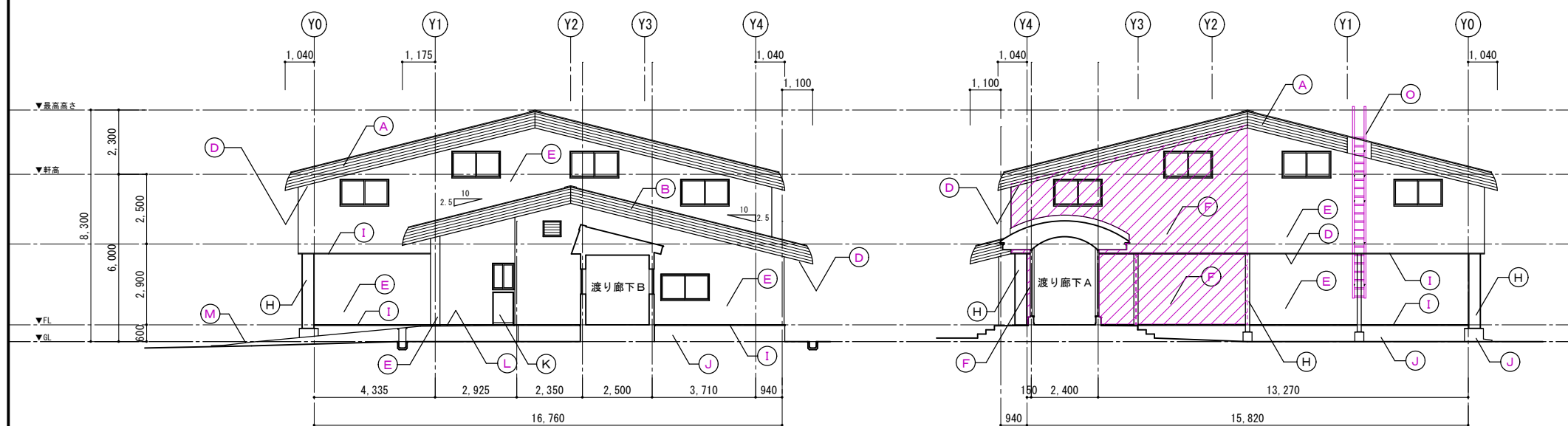
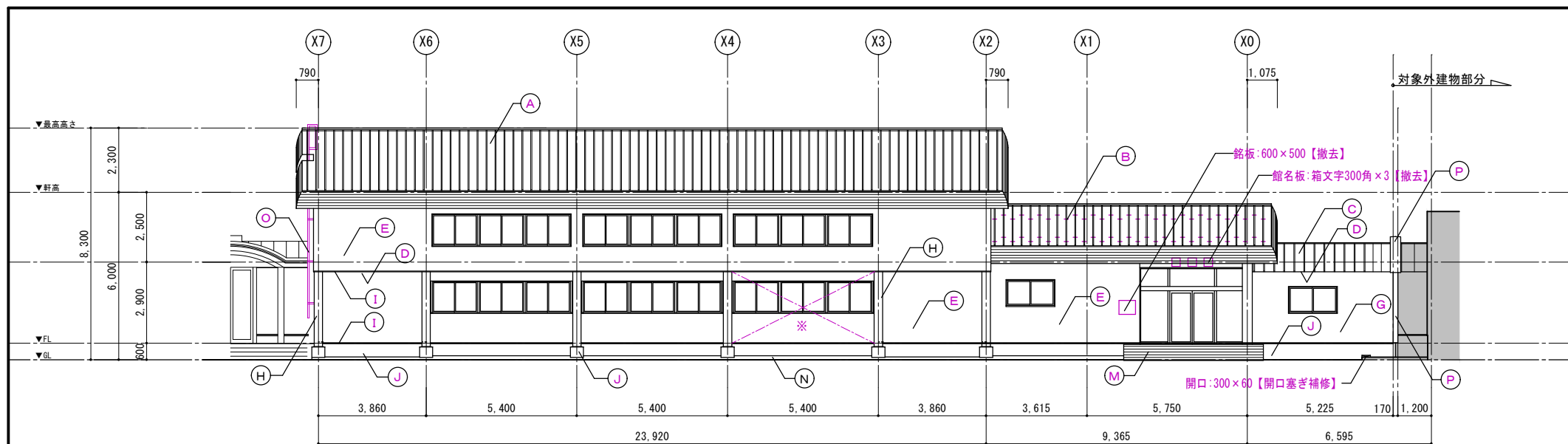
承認	設計	担当

縮尺	A1版 1:100 A3版 1:200
設計年月日	2026.06

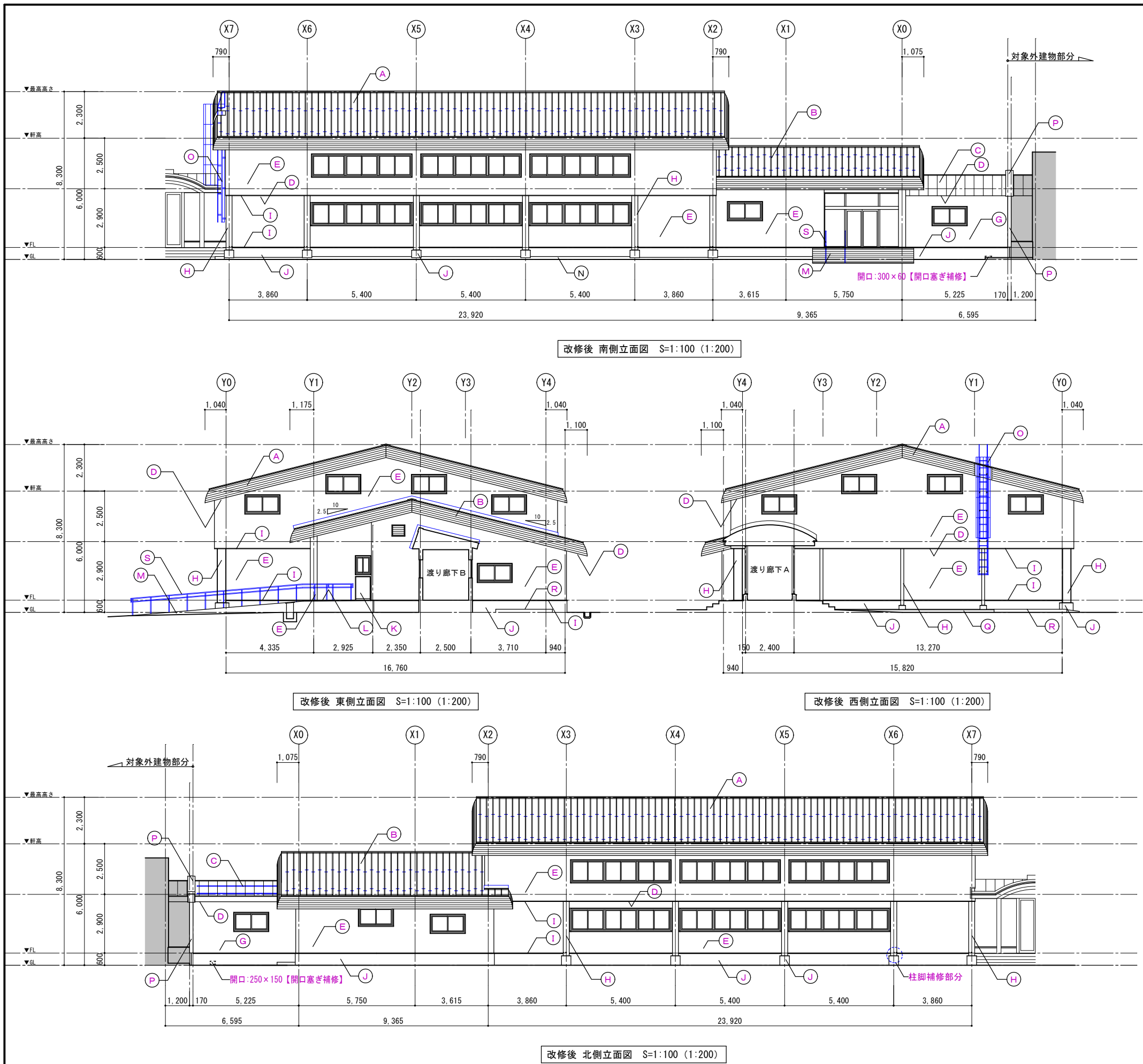
工事名称	令和8年度 弘前市社会福祉センター改修工事（建築工事）（ゼロ市債）
図面名称	改修後 屋根伏図

AB-304

NO.

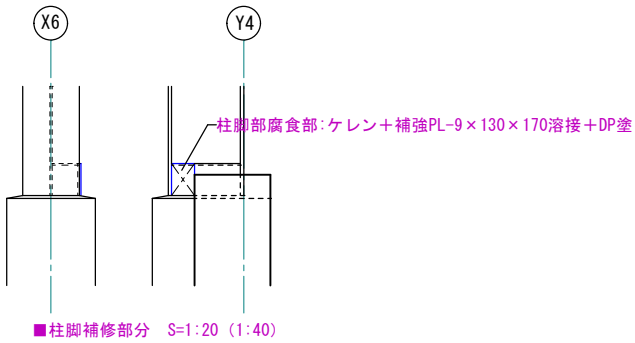
[illegible]

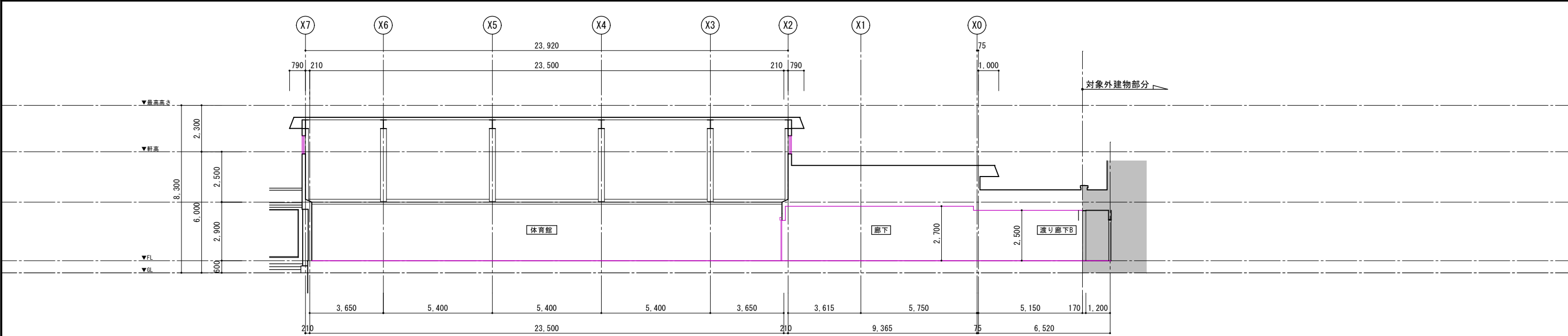
※部分 床土間解体撤去の為、一時外壁取外し、土間工事完了後復旧の事。
(内外装、アルミ製サッシ撤去、鉄骨胴縁取外し、再取付)



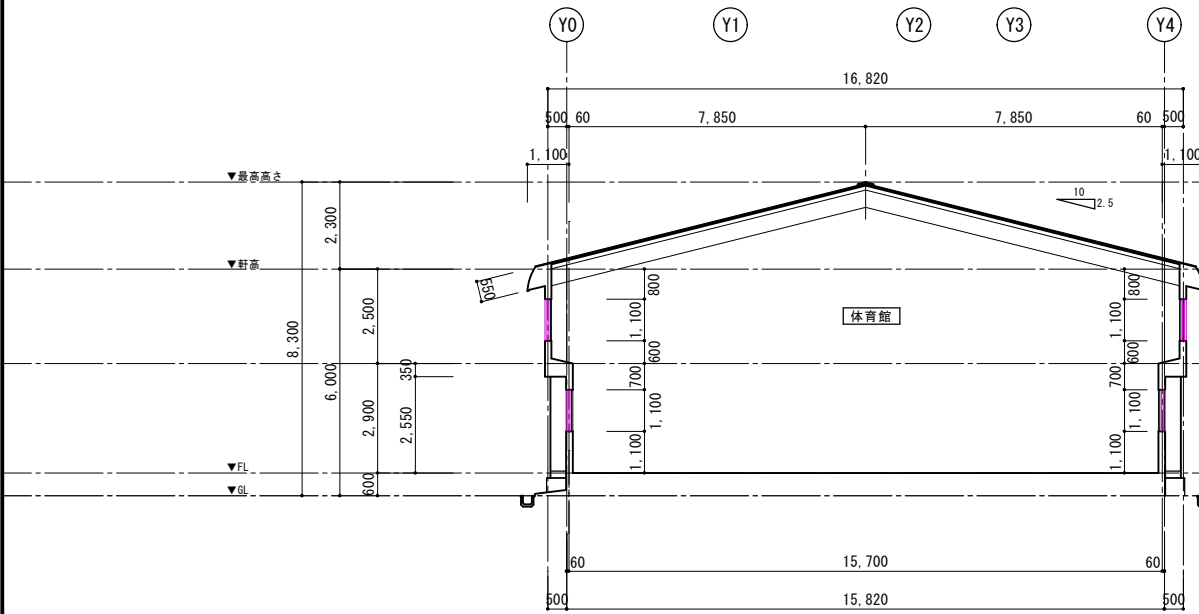
凡例	
符号	下地・仕上
A	屋根:アスファルトルーフィング940+t35硬質ウレタンボード (カット品) +t0.4ガルバリウム鋼板瓦葺きカバー工法 (働き巾315)、雪止め付き【新設】
	軒先R部:アスファルトルーフィング940+t0.4ガルバリウム鋼板2段式横葺き (働き巾340)【新設】
	棟包み:t0.4ガルバリウム鋼板包み (木下地210×24)【新設】
	唐草:t0.4ガルバリウム鋼板【新設】
B	屋根:アスファルトルーフィング940+t35硬質ウレタンボード (カット品) +t0.4ガルバリウム鋼板瓦葺きカバー工法 (働き巾315)、雪止め付き【新設】
	軒先R部:アスファルトルーフィング940+t0.4ガルバリウム鋼板2段式横葺き (働き巾340)【新設】
	棟包み:t0.4ガルバリウム鋼板包み (木下地210×24)【新設】
	唐草:t0.4ガルバリウム鋼板【新設】
C	屋根:アスファルトルーフィング940+t0.4ガルバリウム鋼板立平葺き (防水テープ入れ)【新設】 雪止めアングル付き【新設】
	棟包み:t0.4ガルバリウム鋼板包み (木下地210×24)、鼻隠し:t0.4カラーガルバリウム鋼板包み【新設】
	唐草:t0.4ガルバリウム鋼板【新設】
	壁取合い水切:t0.4ガルバリウム鋼板包み (木下地150×24)【新設】
D	軒天:t5ケイ酸カルシウム板目透し張り DP、一部有孔板 DP【新設】
E	外壁:透湿防風シート+金属胴縁@455+t15金属系サイディング縦張り【新設】 一部 下張りt4ラワン合板張替え (腐朽部分:全体の50%程度)
G	外壁:透湿防風シート+金属胴縁@455+t15金属系サイディング縦張り【新設】
H	鉄骨外部柱型:下地調整 (RB種)の上、DP塗替え
I	水切・オーバーハング見切:アルミ製既製品【新設】
J	基礎廻り・柱脚廻り (天端共):ひび割れ防止用ガラスファイバー張り+t25モルタル金ゴテ【新設】
K	靴洗い:ライニング:下地調整 (RC種)の上、DP塗替え、甲板・竖枠:下地調整 (RB種)の上、DP塗替え
L	ポーチ床:コンクリート直押え下地塗床【新設】
M	スロープ床:コンクリート直押え下地塗床【新設】
N	犬走り:コンクリート金ゴテ目地切【既存のまま】
O	タラップ:ステンレス製既製品W400、安全ガード付き【新設】
P	アルミ製EXP.Jカバー:屋根・軒天・外壁【再取付】
Q	犬走り:土間コンクリート金ゴテ【新設】
R	機器架台基礎:コンクリート金ゴテ【新設】
S	2段手摺:ステンレス製SUS304 HL φ38×2.0【新設】

※開口塞ぎ補修 巾150コンクリート打ち

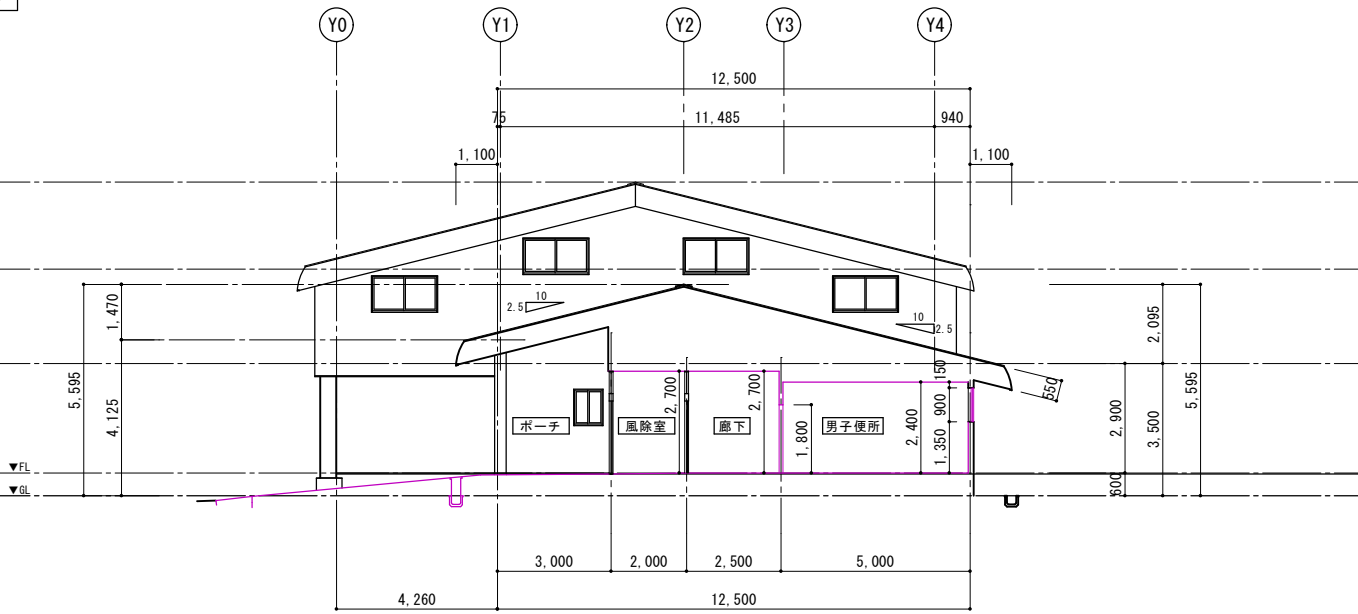




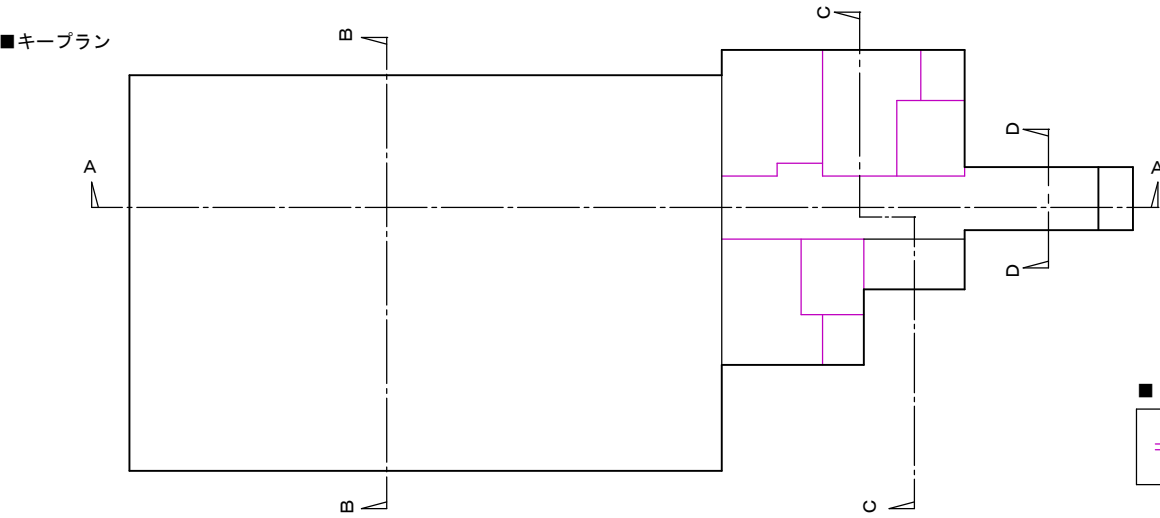
A-A改修前断面図 S=1:100 (S=1:200)



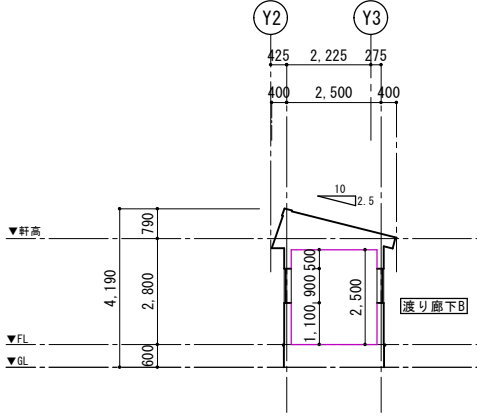
B-B改修前断面図 S=1:100 (S=1:200)



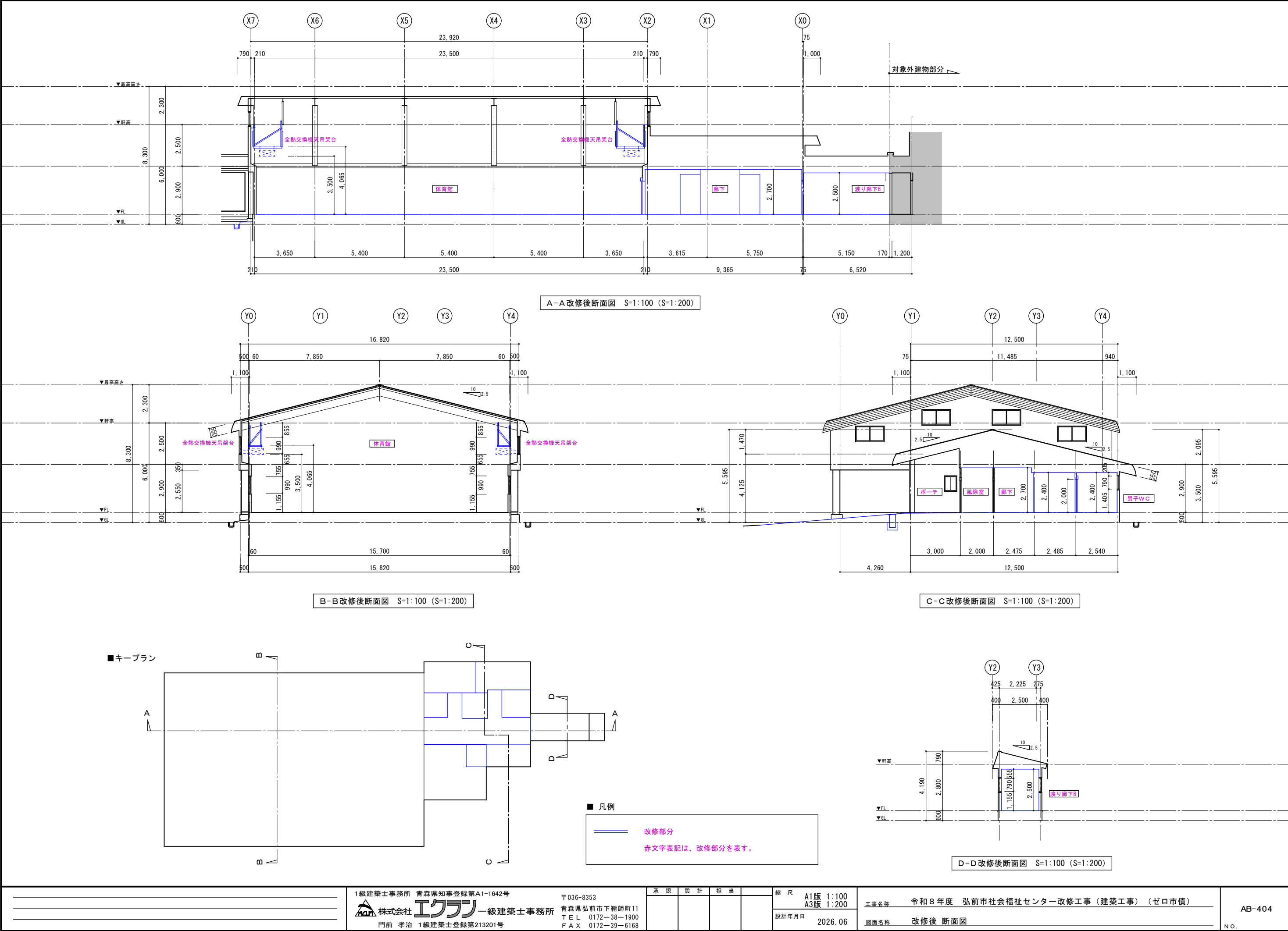
C-C改修前断面図 S=1:100 (S=1:200)



■ 凡例
撤去部分 (文字表記共)



D-D改修前断面図 S=1:100 (S=1:200)



1級建築士事務所 青森県知事登録第A1-1642号

株式会社 **イクラン** 一級建築士事務所
門前 孝治 1級建築士登録第213201号

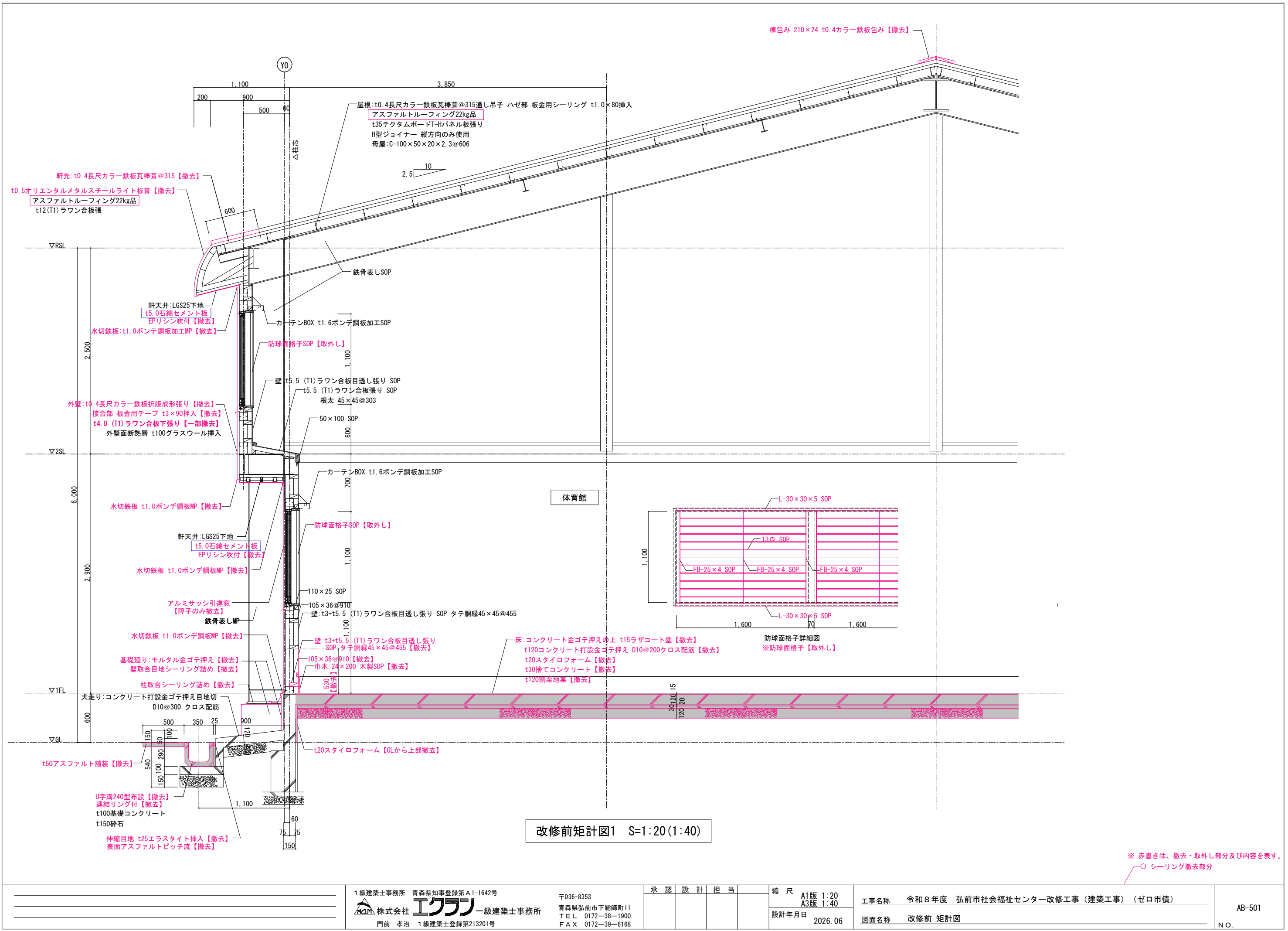
〒036-8353
青森県弘前市下輪師町11
TEL 0172-38-1900
FAX 0172-39-6168

承認	設計	担当

縮尺 A1版 1:100
A3版 1:200
設計年月日 2026.06

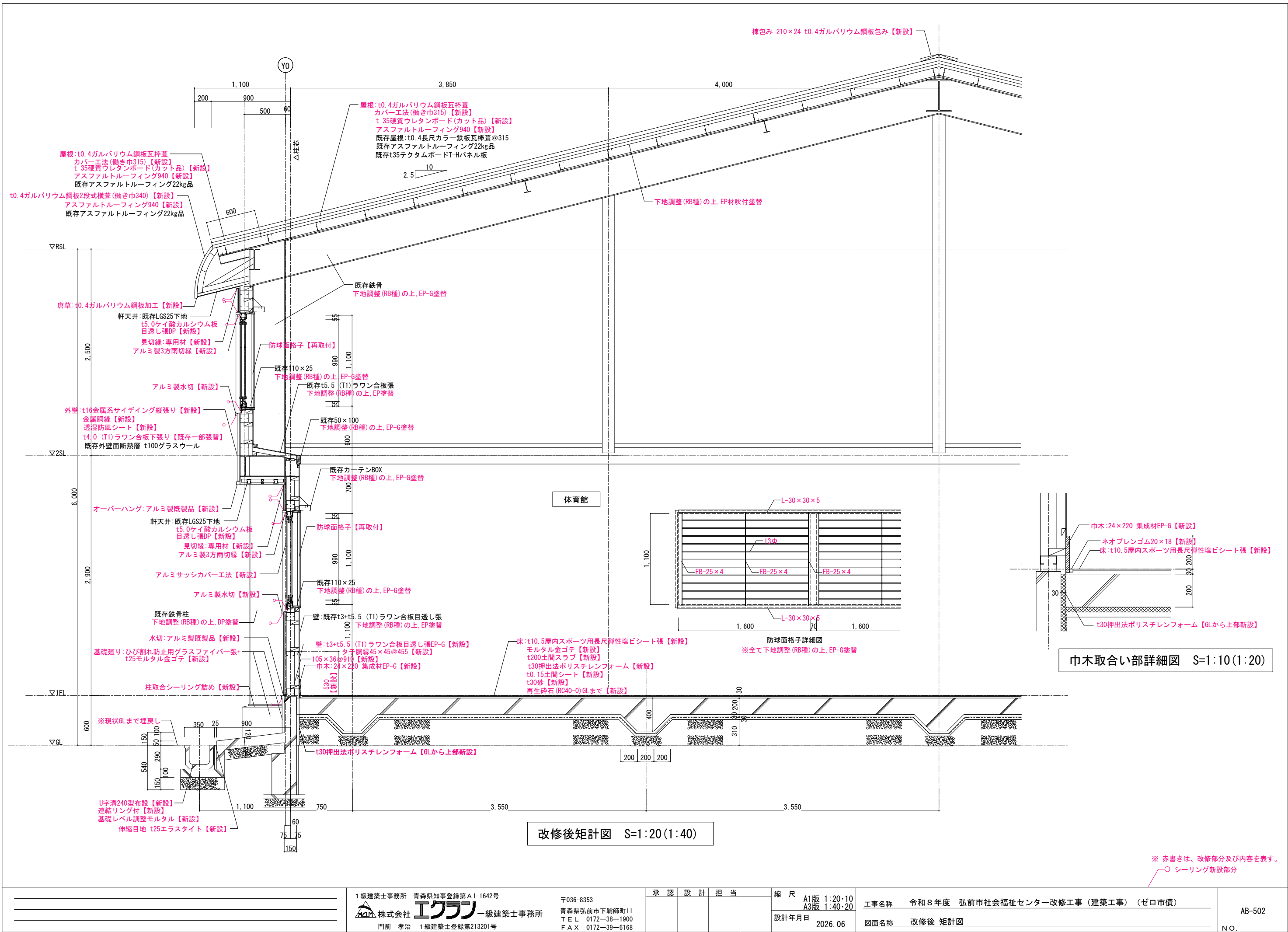
工事名称 令和8年度 弘前市社会福祉センター改修工事（建築工事）（ゼロ市債）
図面名称 改修後 断面図

AB-404
NO.



※ 赤書きは、撤去・取外し部分及び内容を表す。
○ シーリング撤去部分

1級建築士事務所 青森県知事登録第A1-1642号 株式会社 イクラン 一級建築士事務所 門前 孝治 1級建築士登録第213201号			〒036-8353 青森県弘前市下郷師町11 TEL 0172-38-1900 FAX 0172-39-6168			承認 設計 担当	縮尺 A1版 1:20 A3版 1:40 設計年月日 2026.06	工事名称 令和8年度 弘前市社会福祉センター改修工事（建築工事）（ゼロ市債） 図面名称 改修前 矩計図	AB-501 NO.
---	--	--	---	--	--	----------------	--	--	---------------



1級建築士事務所 青森県知事登録第A1-1642号
株式会社 **イクラン** 一級建築士事務所
門前 孝治 1級建築士登録第213201号

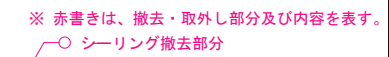
〒036-8353
青森県弘前市下郷師町11
TEL 0172-38-1900
FAX 0172-39-6168

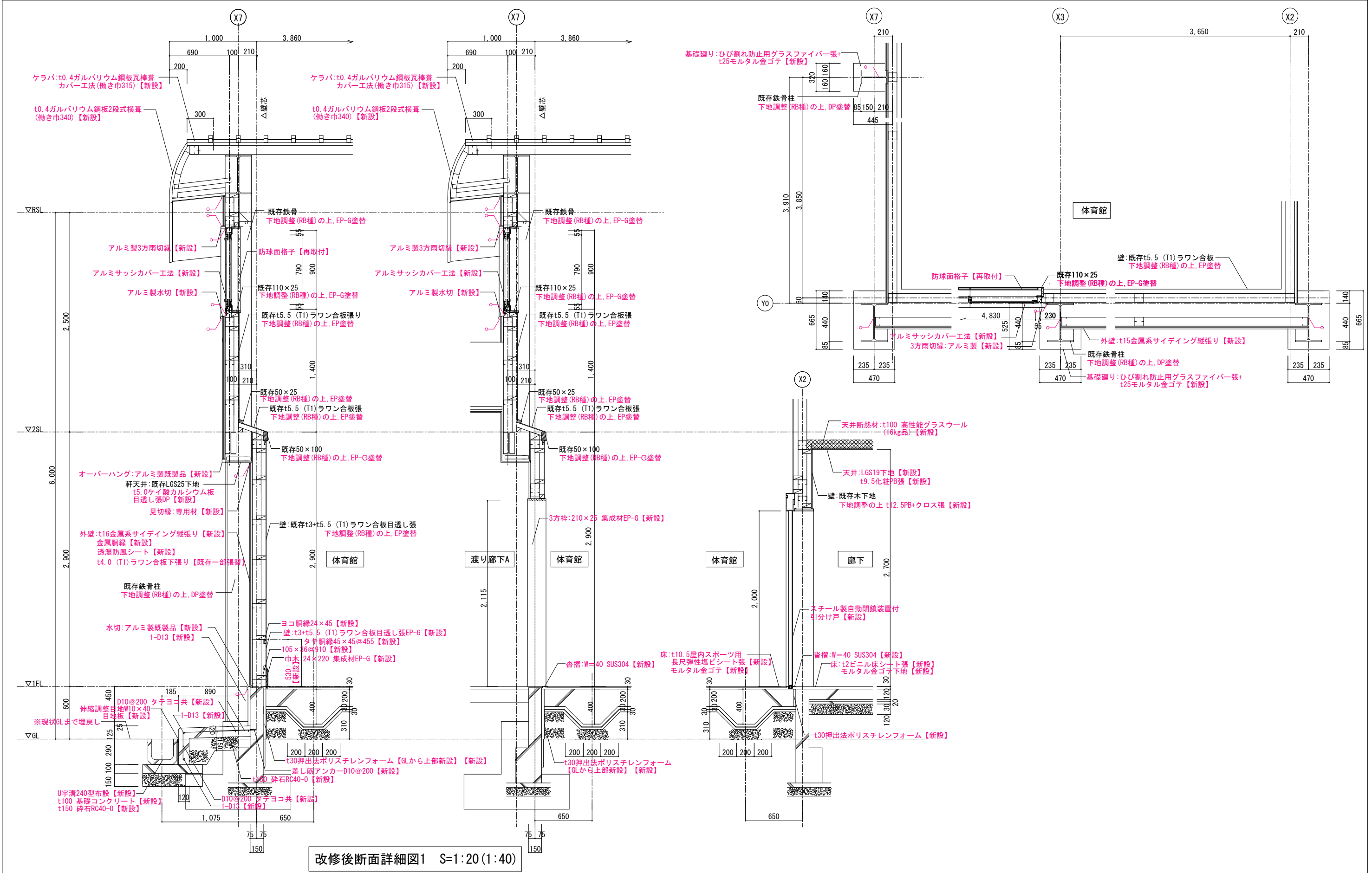
承認 設計 担当

縮尺 A1版 1:20・10
A3版 1:40・20
設計年月日 2026.06

工事名称 令和8年度 弘前市社会福祉センター改修工事(建築工事)(ゼロ市債)
図面名称 改修後 矩計図

AB-502
NO.

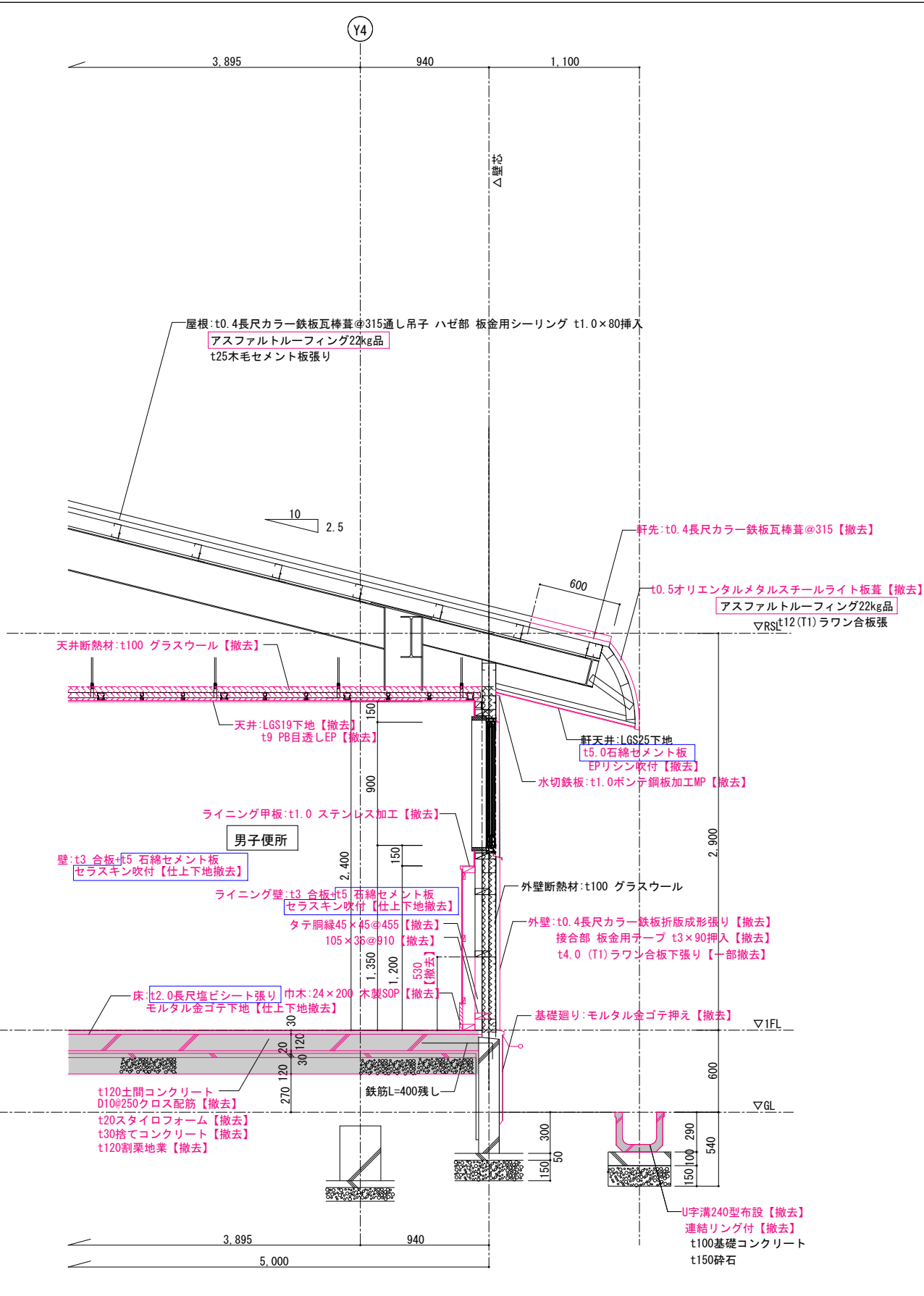
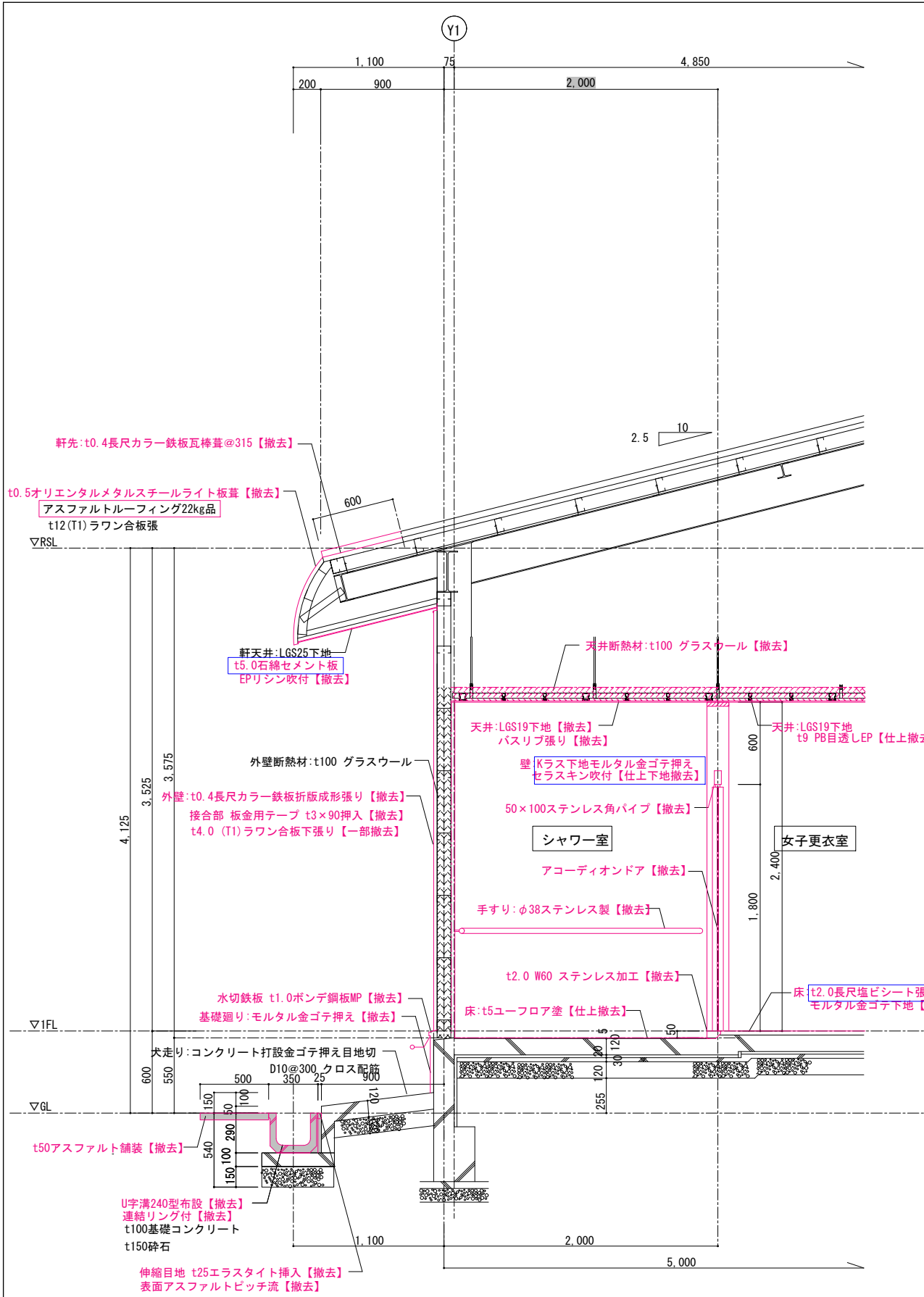




改修後断面詳細図1 S=1:20(1:40)

※ 赤書きは、改修部分及び内容を表す。
○ シーリング新設部分

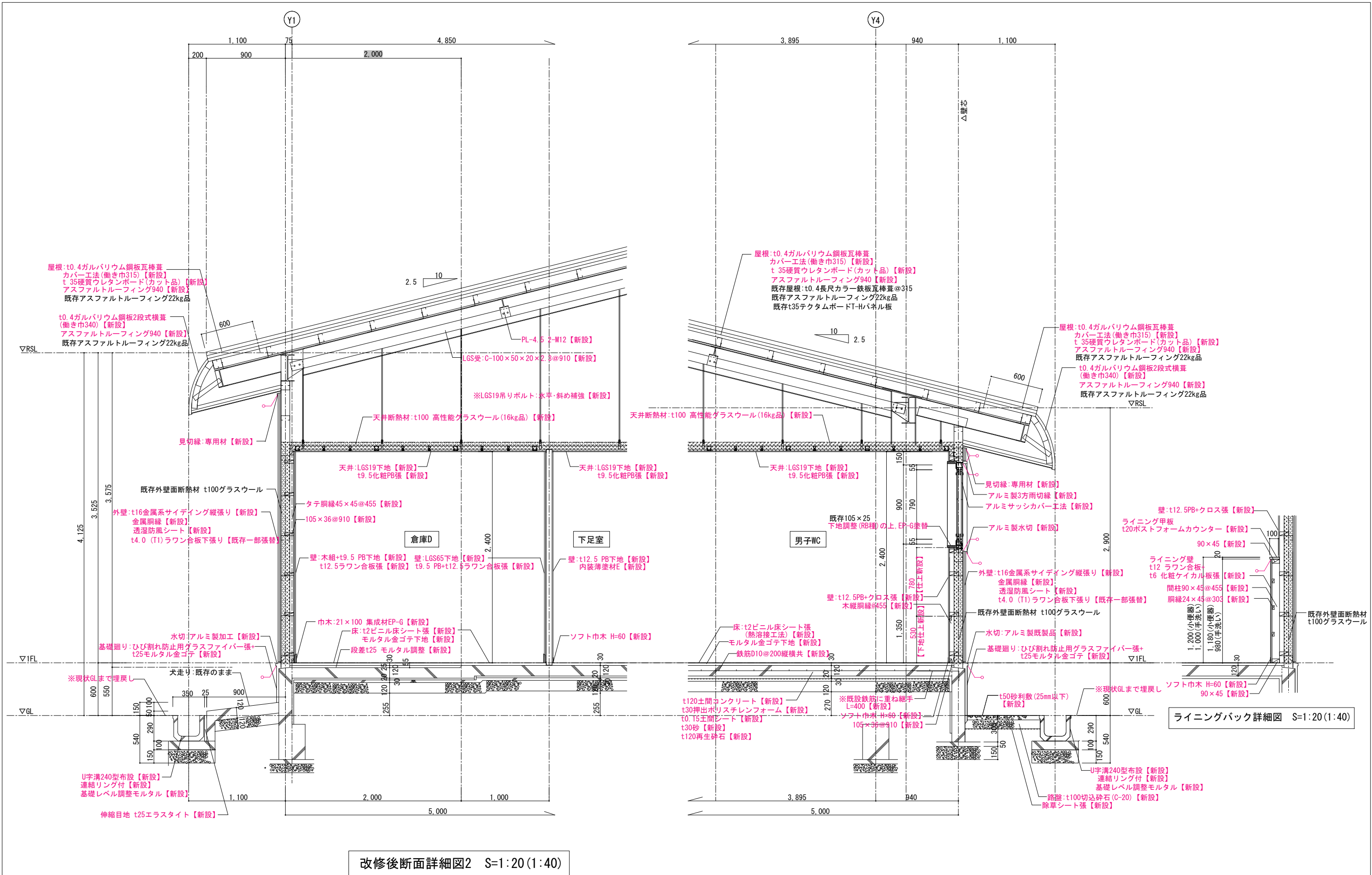
1級建築士事務所 青森県知事登録第A1-1642号  株式会社 イクラン 一級建築士事務所 門前 孝治 1級建築士登録第213201号		〒036-8353 青森県弘前市下郷町11 T E L 0172-38-1900 F A X 0172-39-6168		承認 設計 担当		縮 尺 A1版 1:20 A3版 1:40		工事名称 令和8年度 弘前市社会福祉センター改修工事（建築工事）（ゼロ市債）		AB-504	
						設計年月日 2026.06					
						図面名称 改修後 断面詳細図1		NO.			



改修前断面詳細図2 S=1:20(1:40)

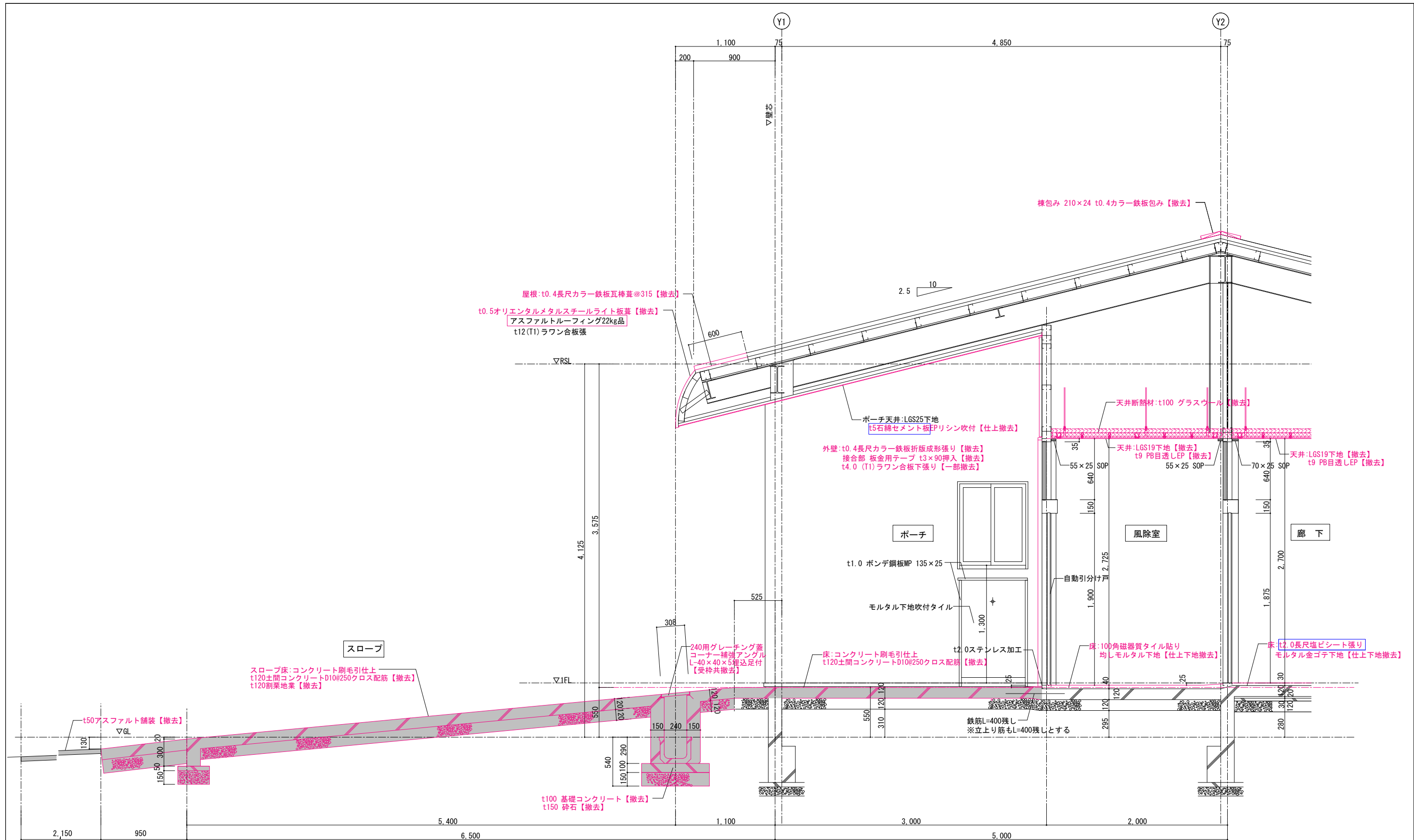
※ 赤書きは、撤去・取外し部分及び内容を表す。
○ シーリング撤去部分

1 級建築士事務所 青森県知事登録第A1-1642号  株式会社 イクラン 一級建築士事務所 門前 孝治 1 級建築士登録第213201号			〒036-8353 青森県弘前市下郷師町11 TEL 0172—38—1900 FAX 0172—39—6168			承認 設 計 担 当		縮 尺 A1版 1:20 A3版 1:40 設計年月日 2026. 06		工事名称 令和 8 年度 弘前市社会福祉センター改修工事（建築工事）（ゼロ市債） 図面名称 改修前 断面詳細図2		AB-505 NO.	



※ 赤書きは、改修部分及び内容を表す。
○ シーリング新設部分

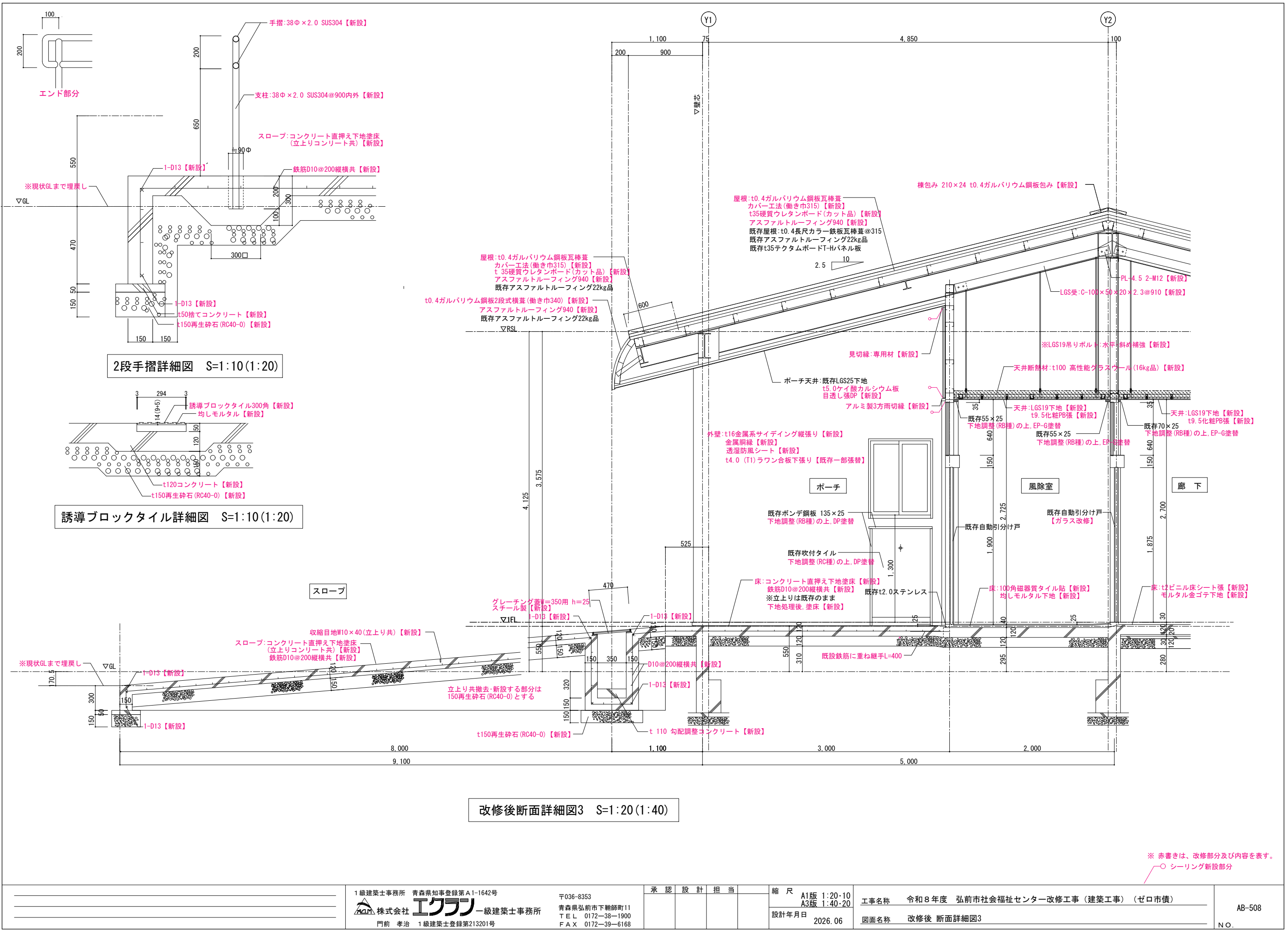
1級建築士事務所 青森県知事登録第A1-1642号			〒036-8353		承認	設計	担当		縮尺	A1版 1:20		工事名称	令和8年度 弘前市社会福祉センター改修工事（建築工事）（ゼロ市債）	AB-506
青森県弘前市下郷師町11			青森県弘前市下郷師町11							A3版 1:40				
TEL 0172-38-1900			TEL 0172-38-1900											
FAX 0172-39-6168			FAX 0172-39-6168											



改修前断面詳細図3 S=1:20(1:40)

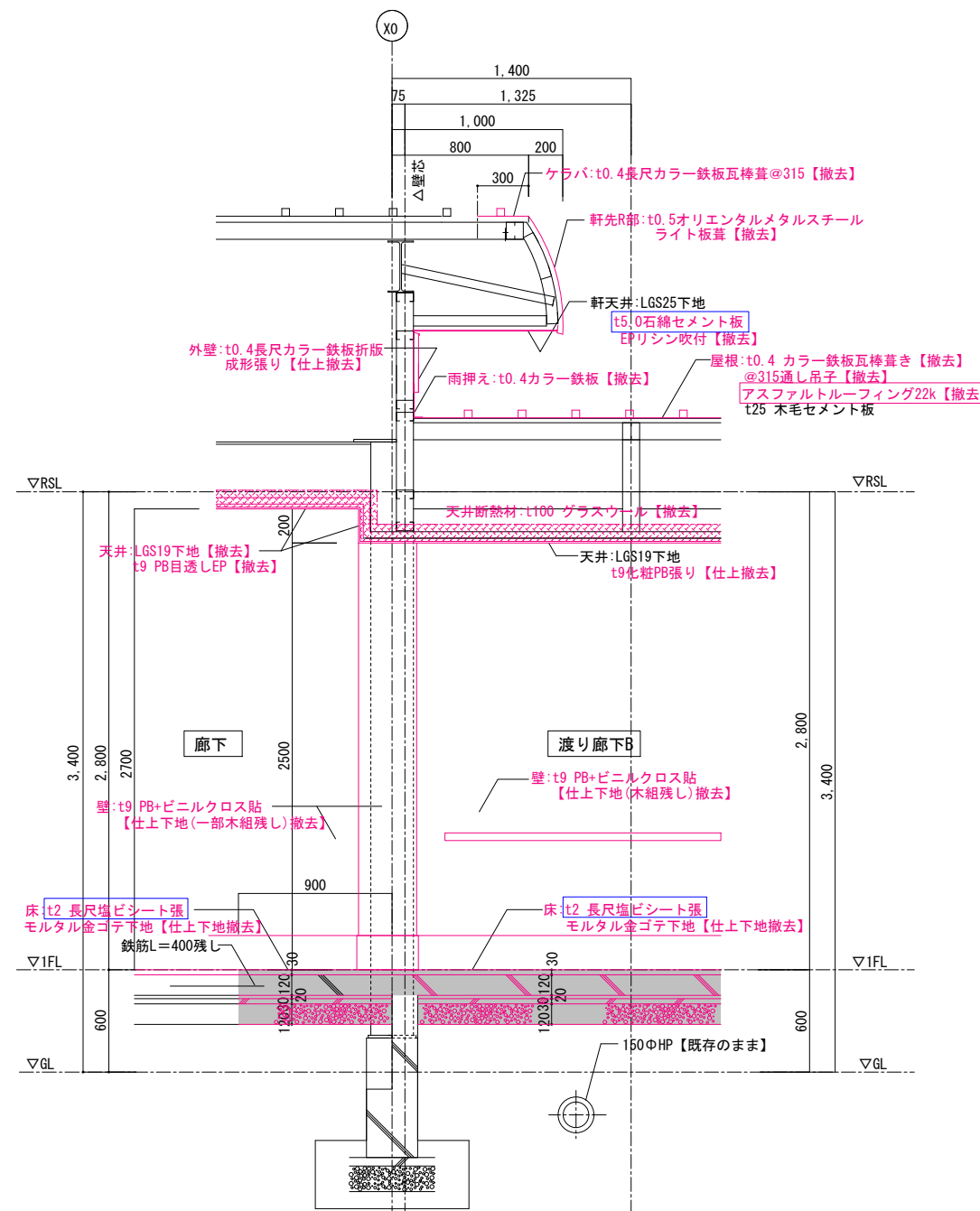
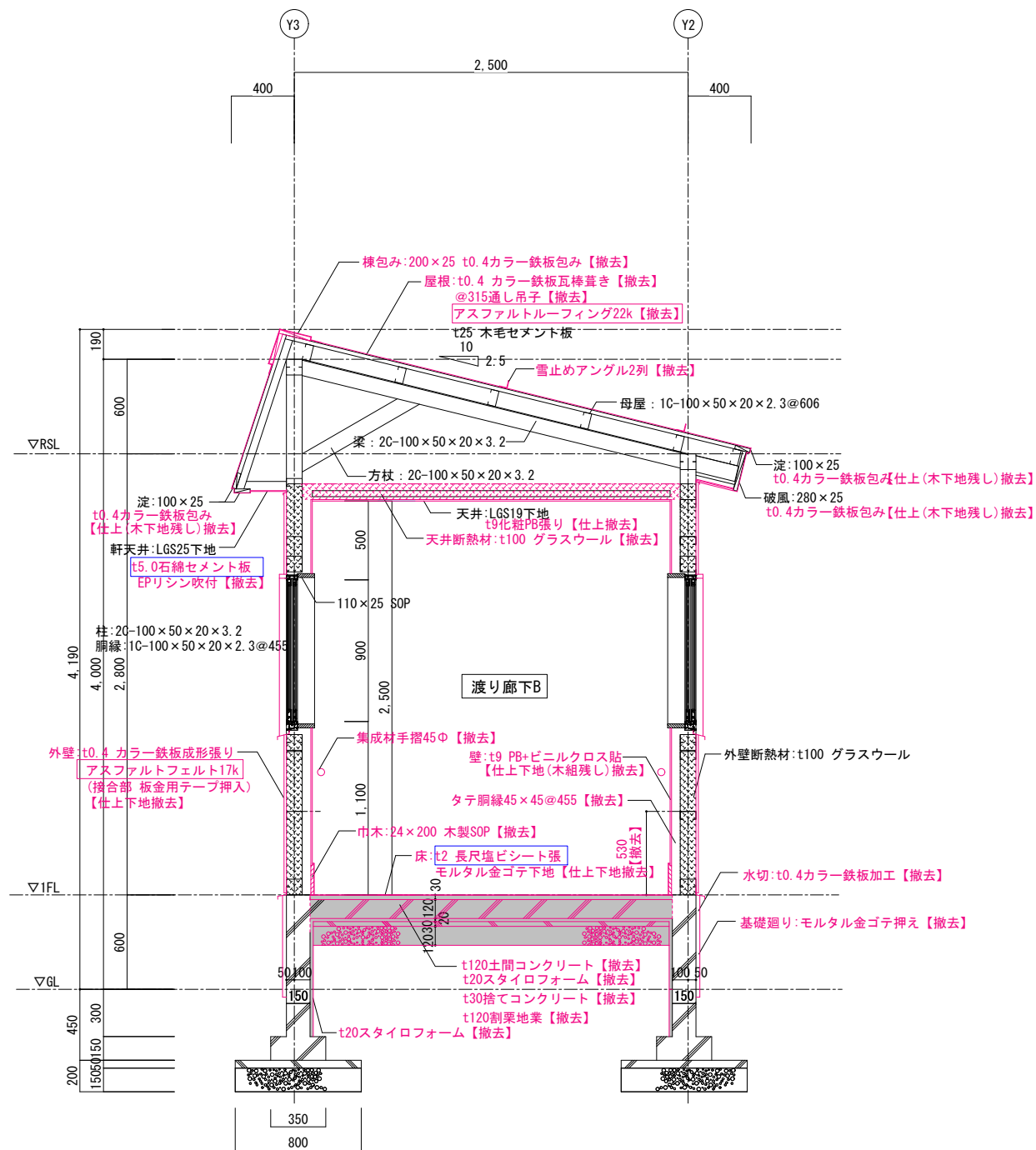
※ 赤書きは、撤去・取外し部分及び内容を表す。
○ シーリング撤去部分

			1級建築士事務所 青森県知事登録第A1-1642号		〒036-8353		承認 設計 担当		縮 尺 A1版 1:20 A3版 1:40		工事名称 令和8年度 弘前市社会福祉センター改修工事（建築工事）（ゼロ市債）		AB-507	
			 株式会社 イクラン 一級建築士事務所		青森県弘前市下郷師町11 TEL 0172-38-1900 FAX 0172-39-6168				設計年月日 2026.06		図面名称 改修前 断面詳細図3		NO.	
			門前 孝治 1級建築士登録第213201号											



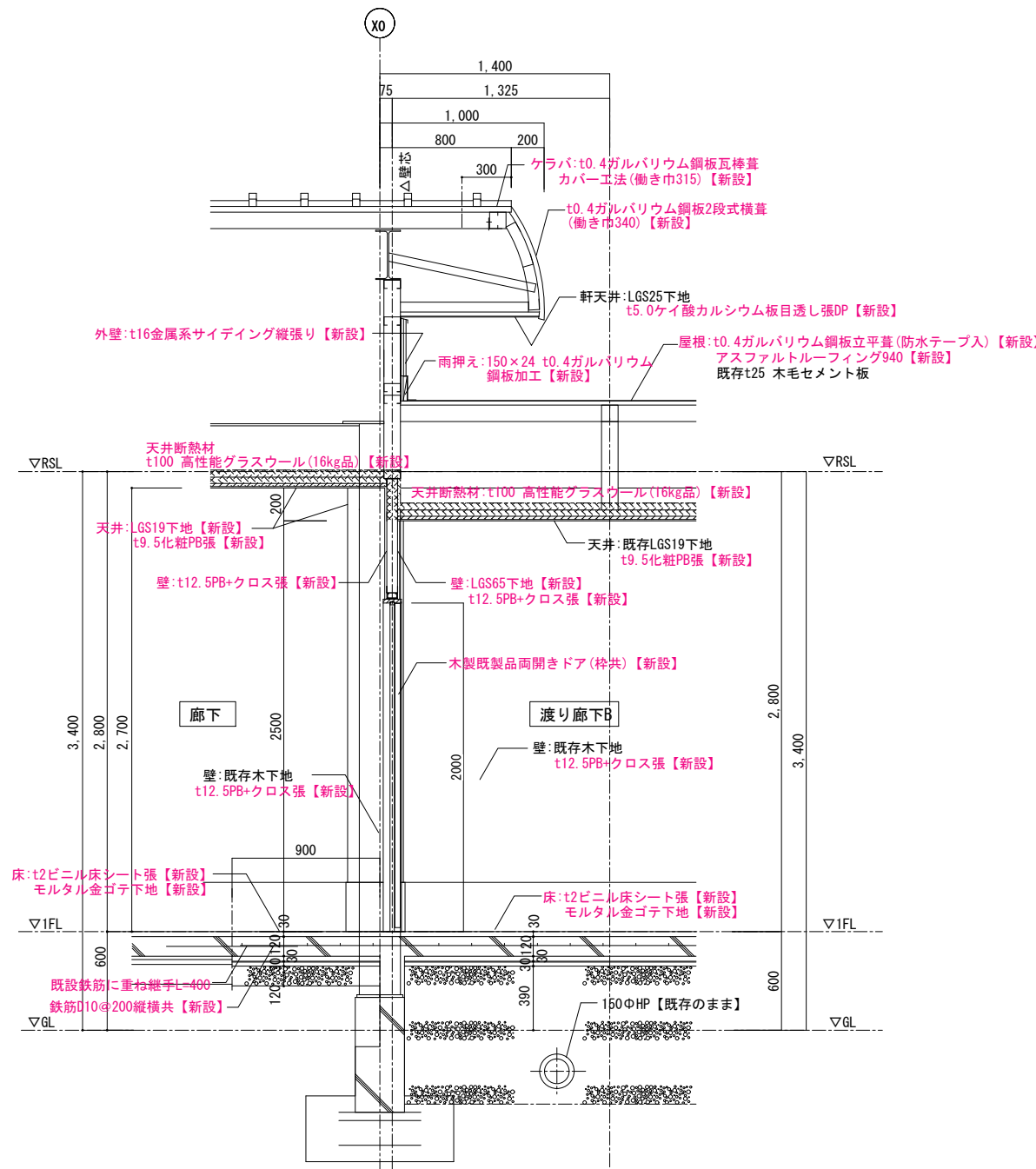
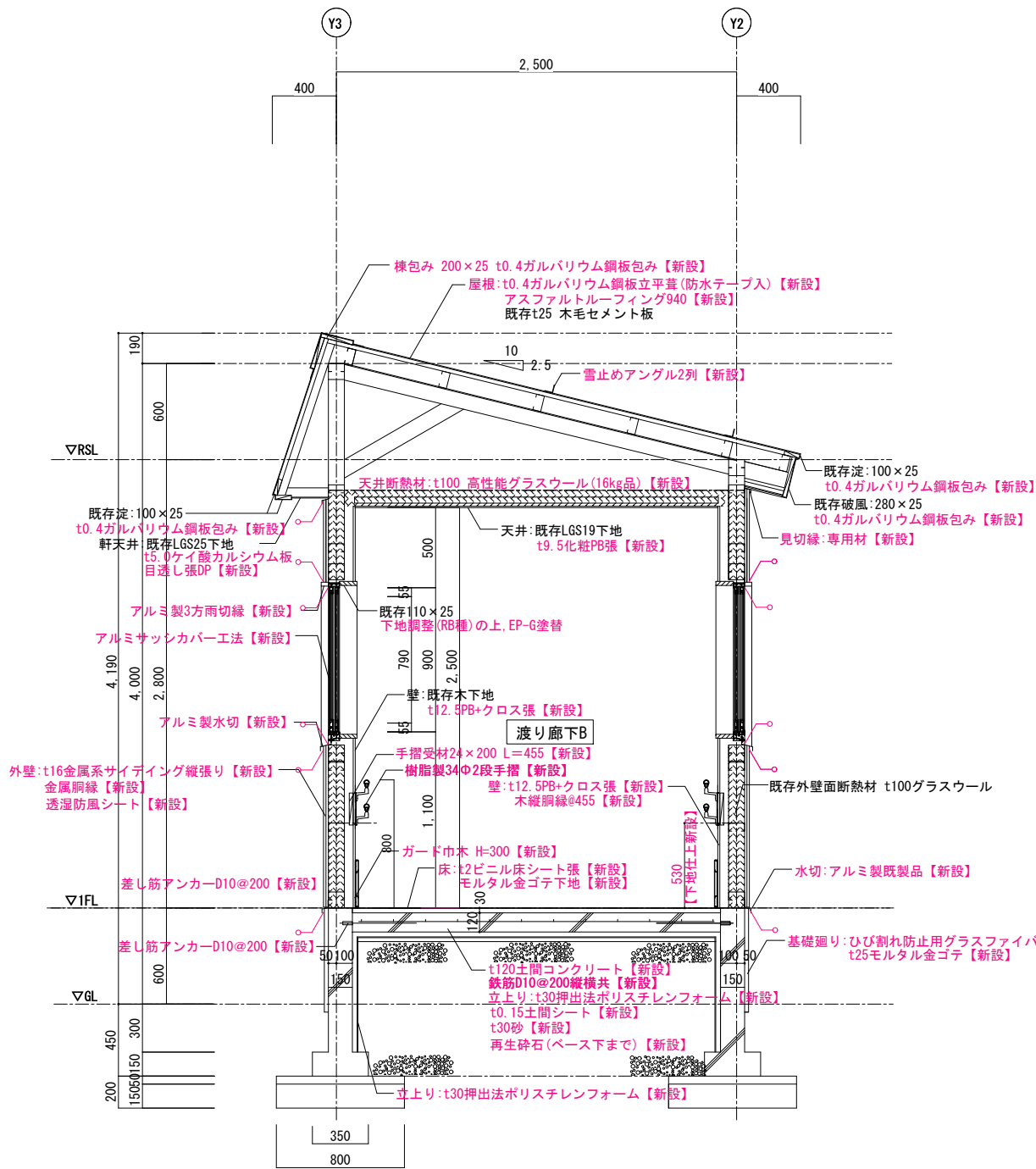
※ 赤書きは、改修部分及び内容を表す。
○ シーリング新設部分

			1級建築士事務所 青森県知事登録第A1-1642号			〒036-8353			縮 尺		A1版 1:20・10 A3版 1:40・20		工事名称 令和8年度 弘前市社会福祉センター改修工事（建築工事）（ゼロ市債）		AB-508	
			 株式会社 イクラン 一級建築士事務所			青森県弘前市下郷師町11 T E L 0172-38-1900 F A X 0172-39-6168					設計年月日 2026.06		図面名称 改修後 断面詳細図3			
			門前 孝治 1級建築士登録第213201号												NO.	



改修前渡り廊下B断面詳細図 S=1:20(1:40)

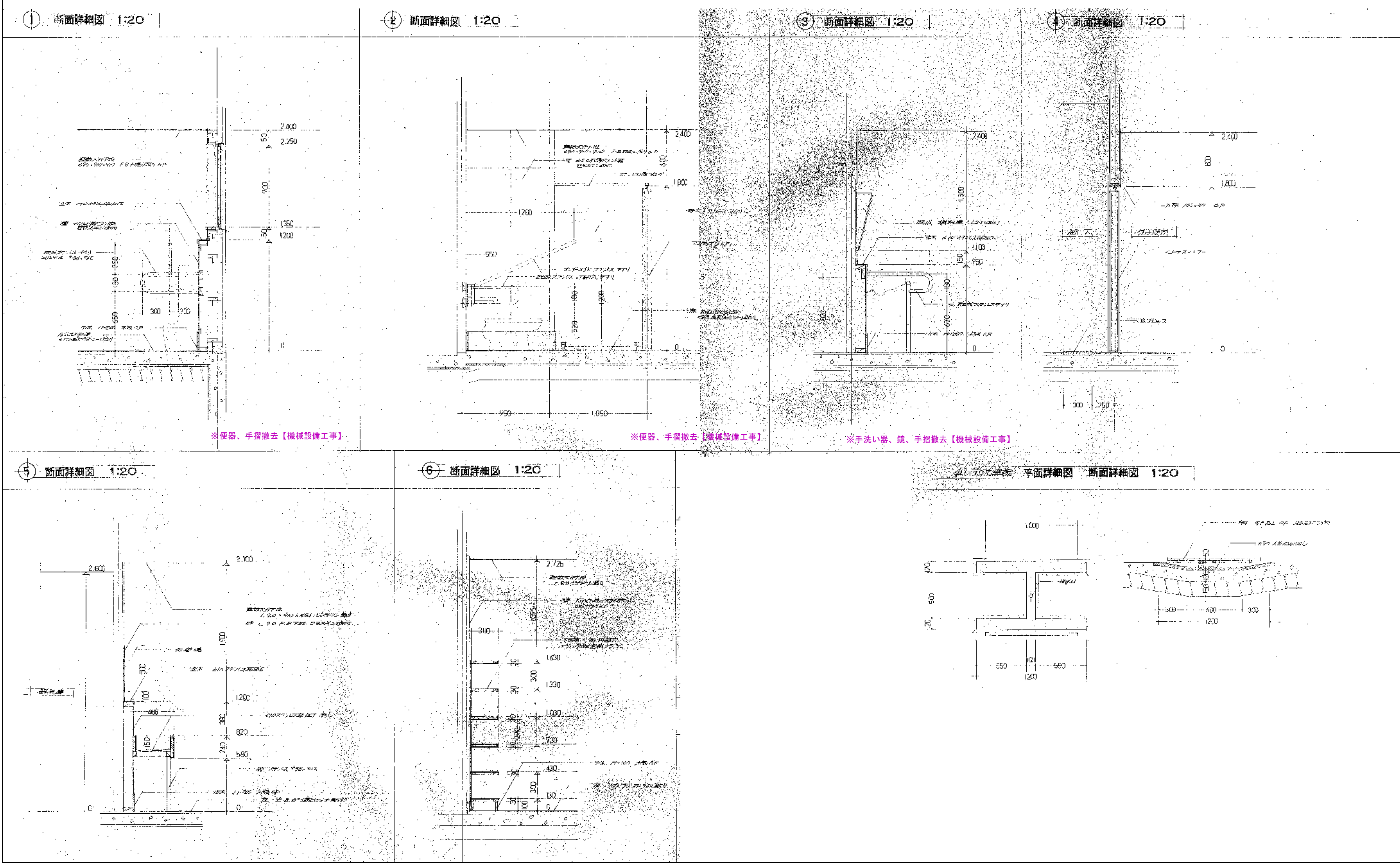
※ 赤書きは、撤去・取外し部分及び内容を表す。
 〽 シーリング撤去部分

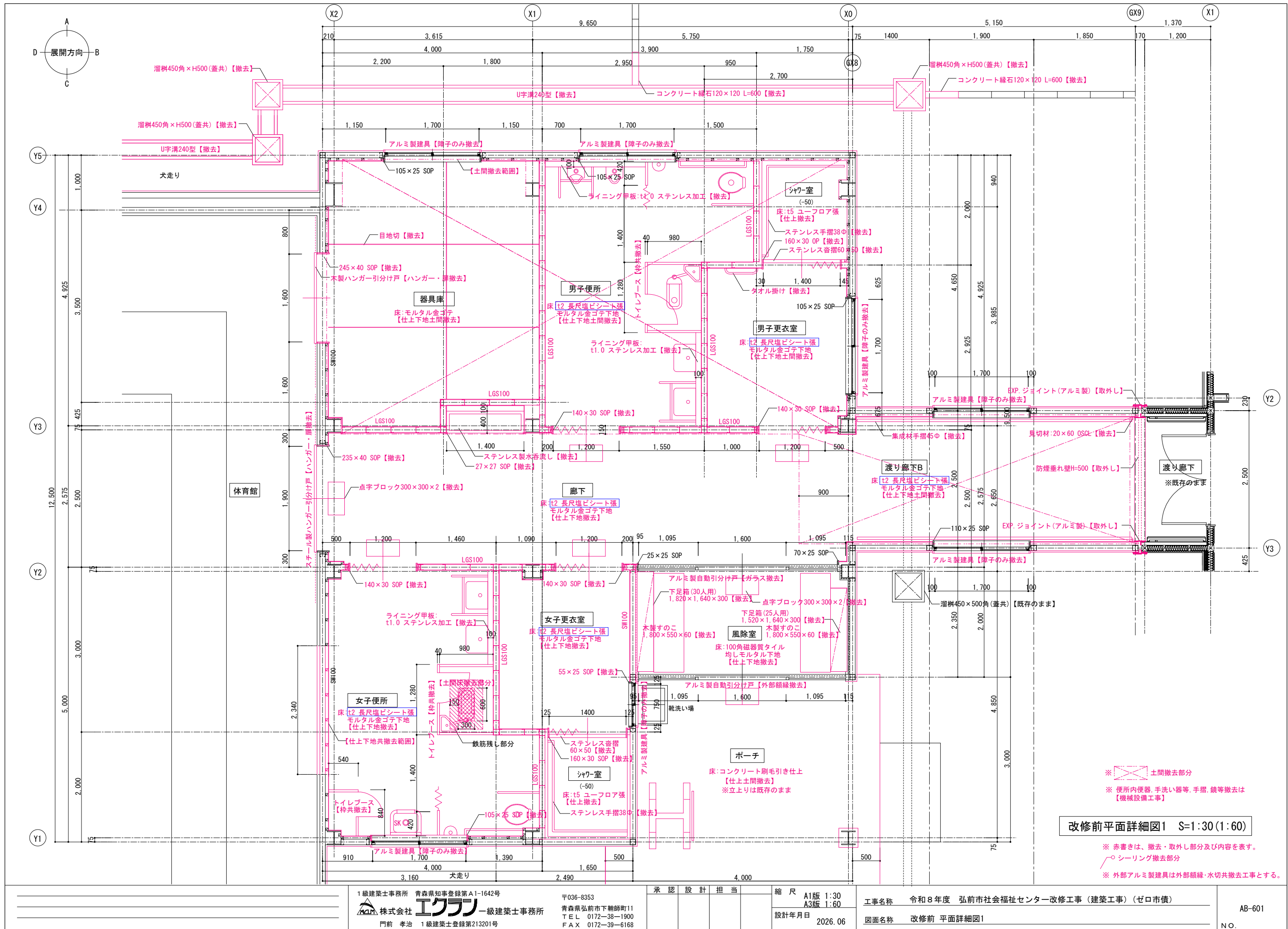


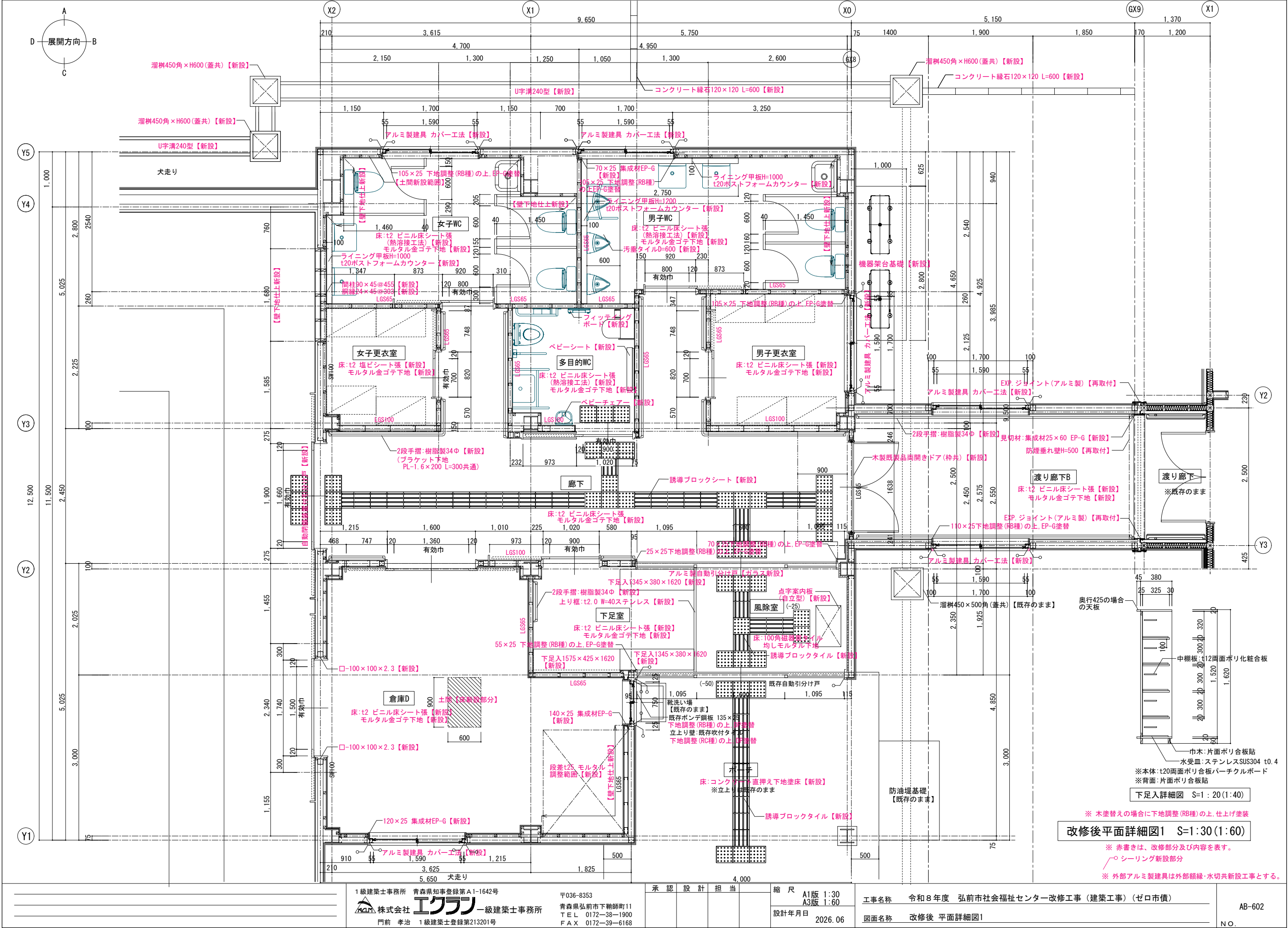
改修後渡り廊下B断面詳細図 S=1:20(1:40)

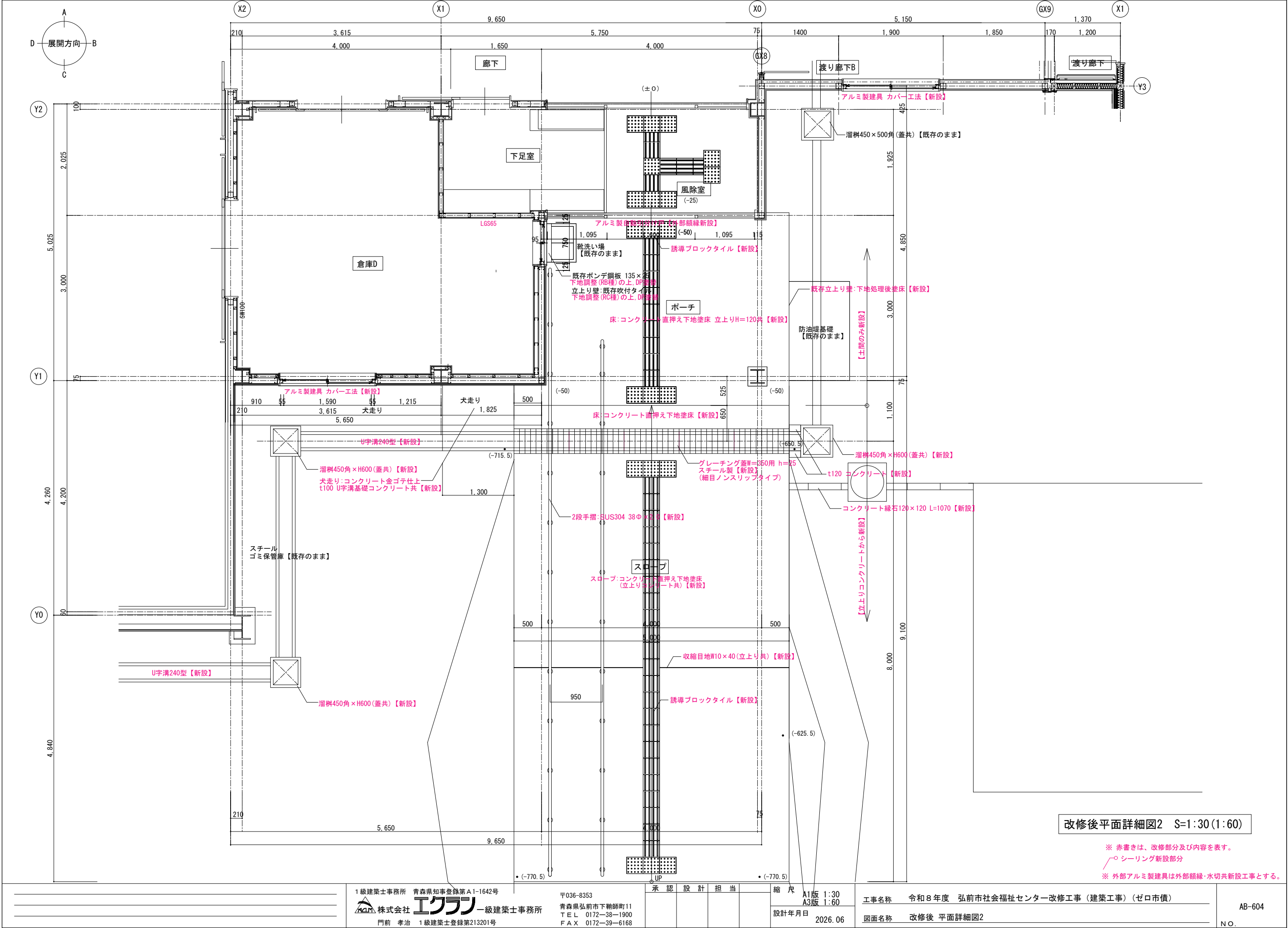
※ 赤書きは、改修部分及び内容を表す。
○ シーリング新設部分

1級建築士事務所 青森県知事登録第A1-1642号		承認	設計	担当		縮 尺 A1版 1:20 A3版 1:40	工事名称 令和8年度 弘前市社会福祉センター改修工事（建築工事）（ゼロ市債）	図面名称 改修後 渡り廊下B断面詳細図	AB-510 NO.
〒036-8353 青森県弘前市下郷師町11 TEL 0172-38-1900 FAX 0172-39-6168									
株式会社 イクラン 一級建築士事務所 門前 孝治 1級建築士登録第213201号									









改修後平面詳細図2 S=1:30(1:60)

※ 赤書きは、改修部分及び内容を表す。
○ シーリング新設部分
※ 外部アルミ製建具は外部額縁・水切共新設工事とする。

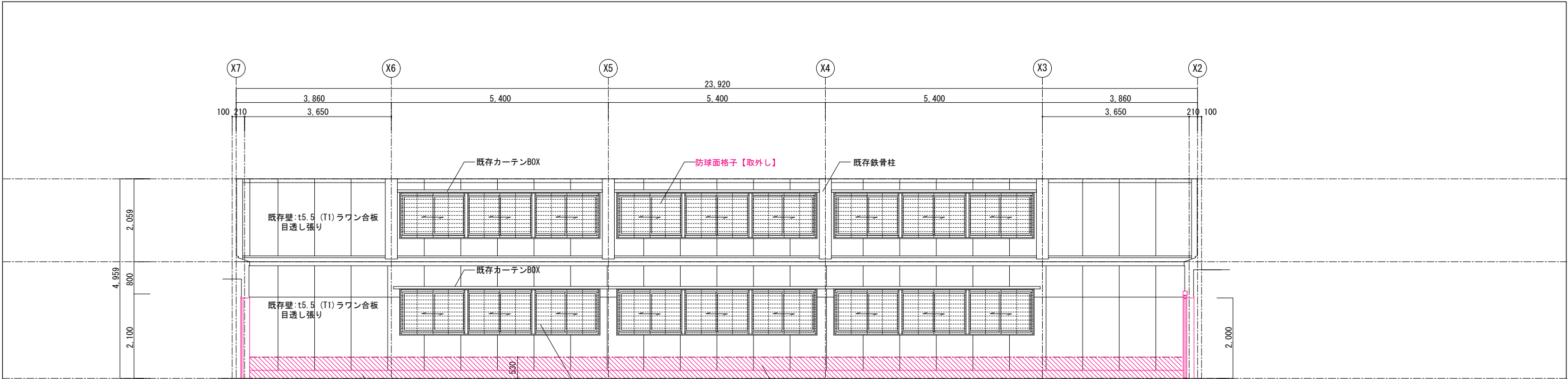
1級建築士事務所 青森県知事登録第A1-1642号
株式会社 **イクラン** 一級建築士事務所
門前 孝治 1級建築士登録第213201号

〒036-8353
青森県弘前市下瀬師町11
TEL 0172-38-1900
FAX 0172-39-6168

承認 設計 担当
縮尺 A1版 1:30
A3版 1:60
設計年月日 2026.06

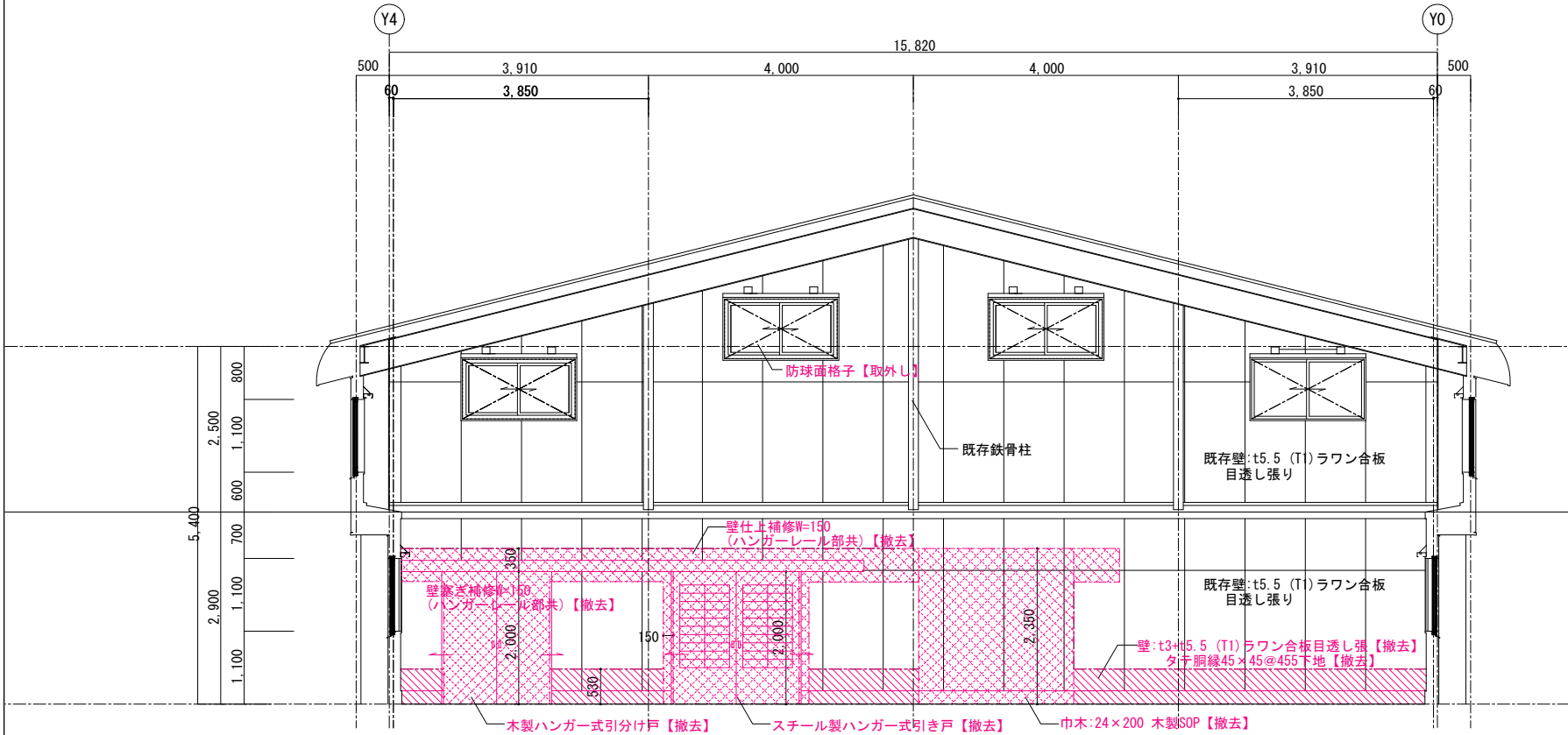
工事名称 令和8年度 弘前市社会福祉センター改修工事（建築工事）（ゼロ市債）
図面名称 改修後 平面詳細図2

AB-604
NO.



体育館

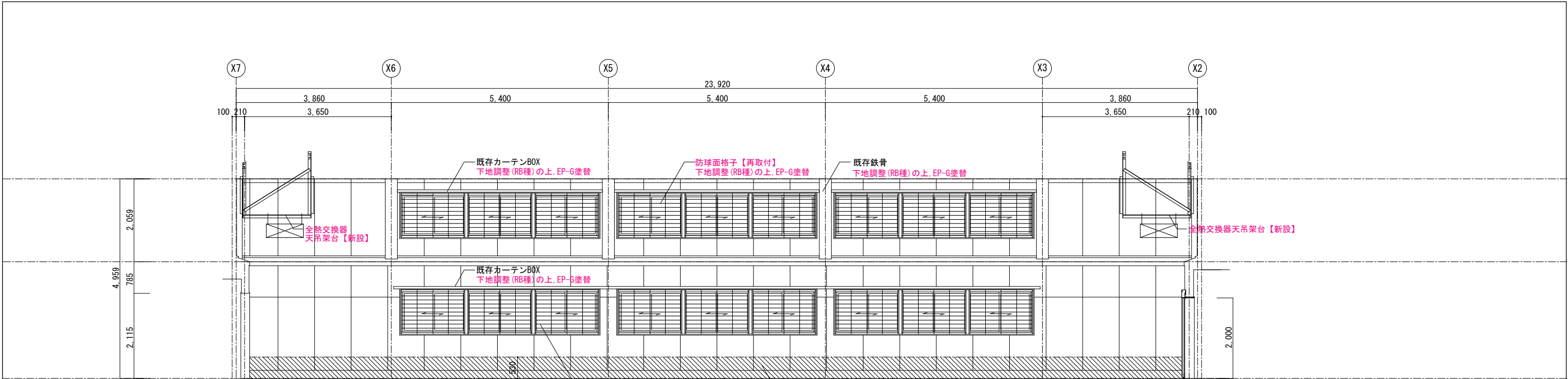
A面展開図



B面展開図

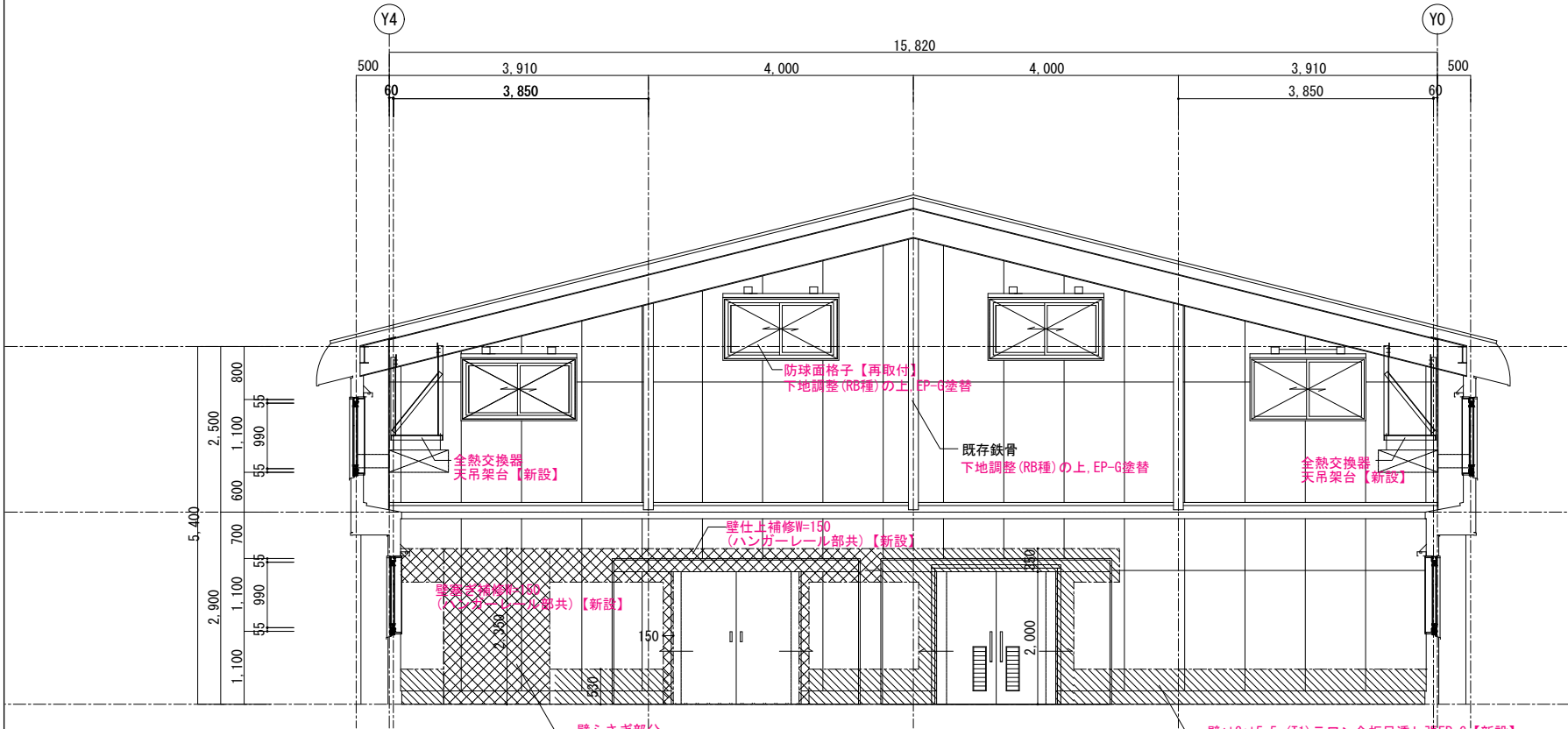
体育館		CH=
床	コンクリート金ゴテ押えの上 t15ラザコート塗【撤去】	
巾木	巾木:24×200 木製SOP【撤去】	
壁	A面	既存t5.5 (T1) ラワン合板張 t3+t5.5 (T1) ラワン合板目透し張EP-G【撤去】タテ胴縁45×45@455下地【撤去】
	B面	既存t5.5 (T1) ラワン合板張 t3+t5.5 (T1) ラワン合板目透し張EP-G【撤去】タテ胴縁45×45@455下地【撤去】
	C面	既存t5.5 (T1) ラワン合板張 t3+t5.5 (T1) ラワン合板目透し張EP-G【撤去】タテ胴縁45×45@455下地【撤去】
	D面	既存t5.5 (T1) ラワン合板張 t3+t5.5 (T1) ラワン合板目透し張EP-G【撤去】タテ胴縁45×45@455下地【撤去】
	共通	既存鉄骨
天井	既存t35テクタムボードT-Hパネル板 既存鉄骨	
備考	支柱座金具・バスケット台・暗幕・点字ブロック300×300×2【撤去】 防球面格子【取外し】 バトンL=6.0, L=4.0【撤去】 カーテンBOX【既存のまま】	

※ 赤文字は、撤去・取外し部分を表す。
□ - 石綿含有みなし材を示す。



体育館

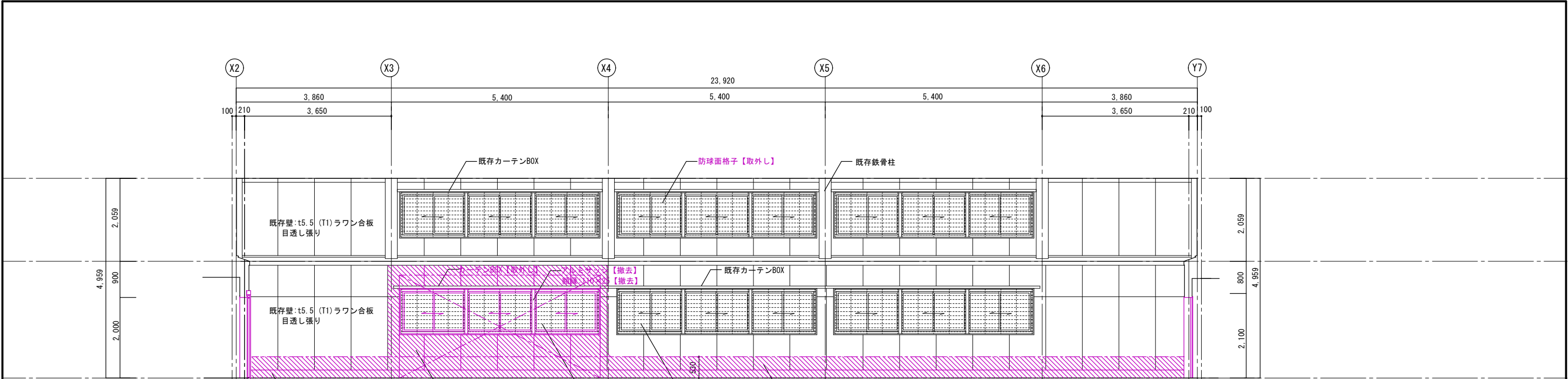
A面展開図



B面展開図

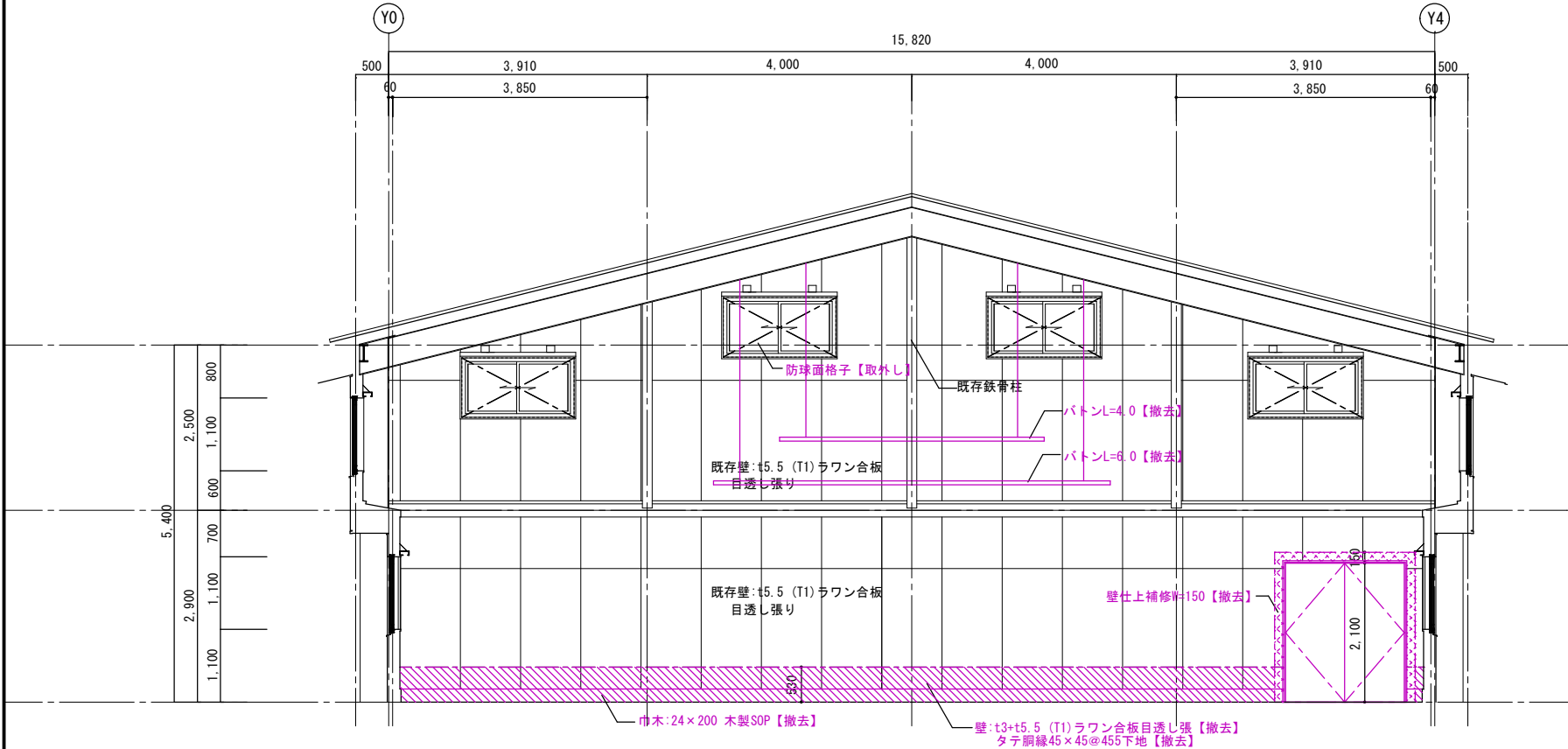
体育館		CH=
床	t10.5屋内スポーツ用長尺弾性塩ビシート張【新設】 モルタル金ゴテ下地【新設】	
巾木		
壁	A面	既存t5.5 (T1) ラワン合板張 下地調整 (RB種) の上, EP塗替 t3+t5.5 (T1) ラワン合板目透し張EP-G【新設】タテ胴縁45×45@455下地【新設】
	B面	既存t5.5 (T1) ラワン合板張 下地調整 (RB種) の上, EP塗替 t3+t5.5 (T1) ラワン合板目透し張EP-G【新設】タテ胴縁45×45@455下地【新設】
	C面	既存t5.5 (T1) ラワン合板張 下地調整 (RB種) の上, EP塗替 t3+t5.5 (T1) ラワン合板目透し張EP-G【新設】タテ胴縁45×45@455下地【新設】
	D面	既存t5.5 (T1) ラワン合板張 下地調整 (RB種) の上, EP塗替 t3+t5.5 (T1) ラワン合板目透し張EP-G【新設】タテ胴縁45×45@455下地【新設】
	共通	既存鉄骨 下地調整 (RB種) の上, EP-G塗替
天井	既存t35テクタムボードT-Hパネル板 下地調整 (RB種) の上, EP材吹付塗替 既存鉄骨 下地調整 (RB種) の上, EP-G塗替	
備考	コートライン:ミニバスケットボール, バレーボール, バドミントン, ボッチャ【新設】 床金具:バレー用, バドミントン用, 暗幕【新設】 防球面格子【再取付】 全熱交換器天吊架台【新設】 昇降ボタン【新設】※AB-902図による	

※ 赤字は、改修部分を表す。



体育館

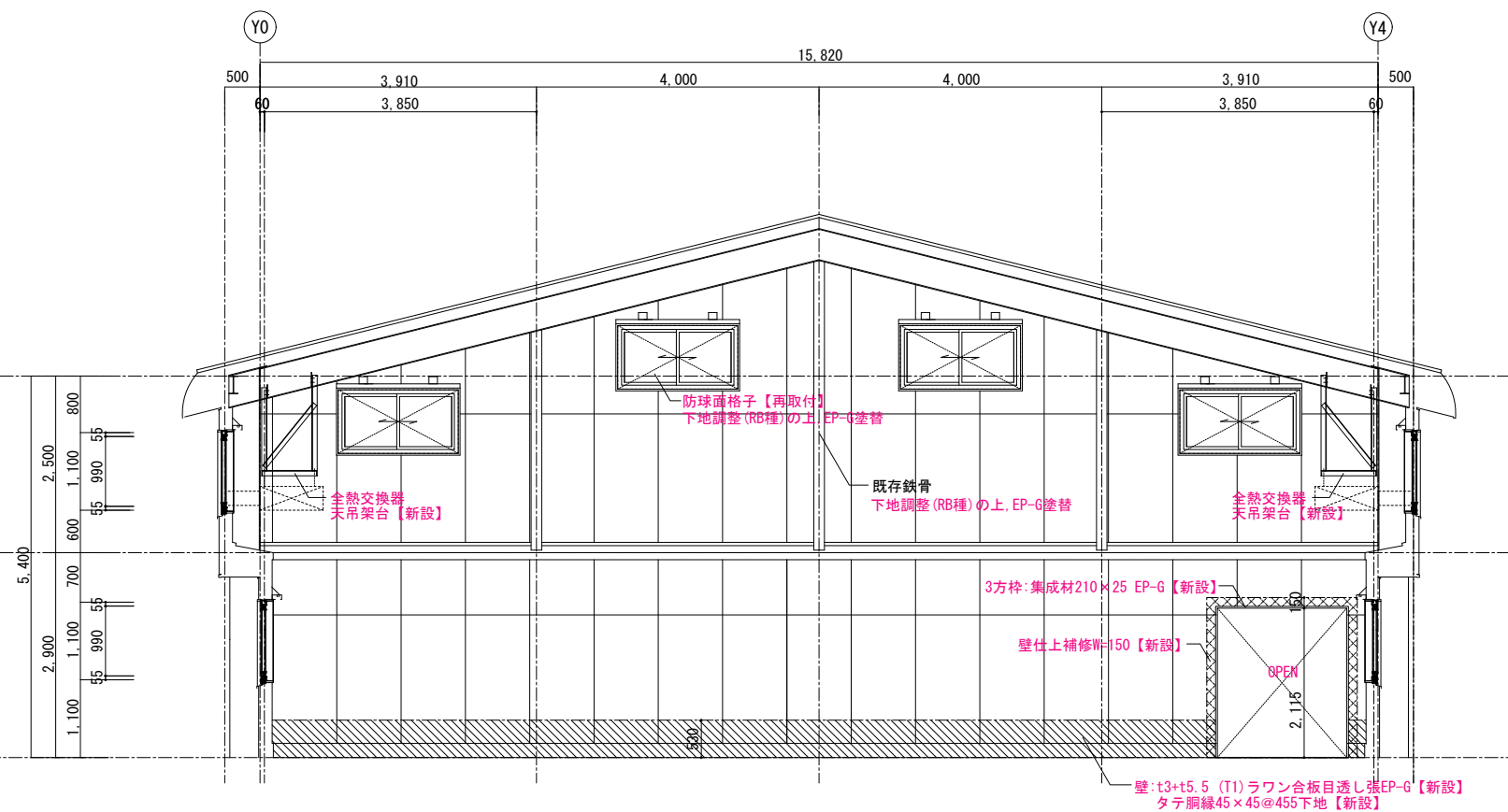
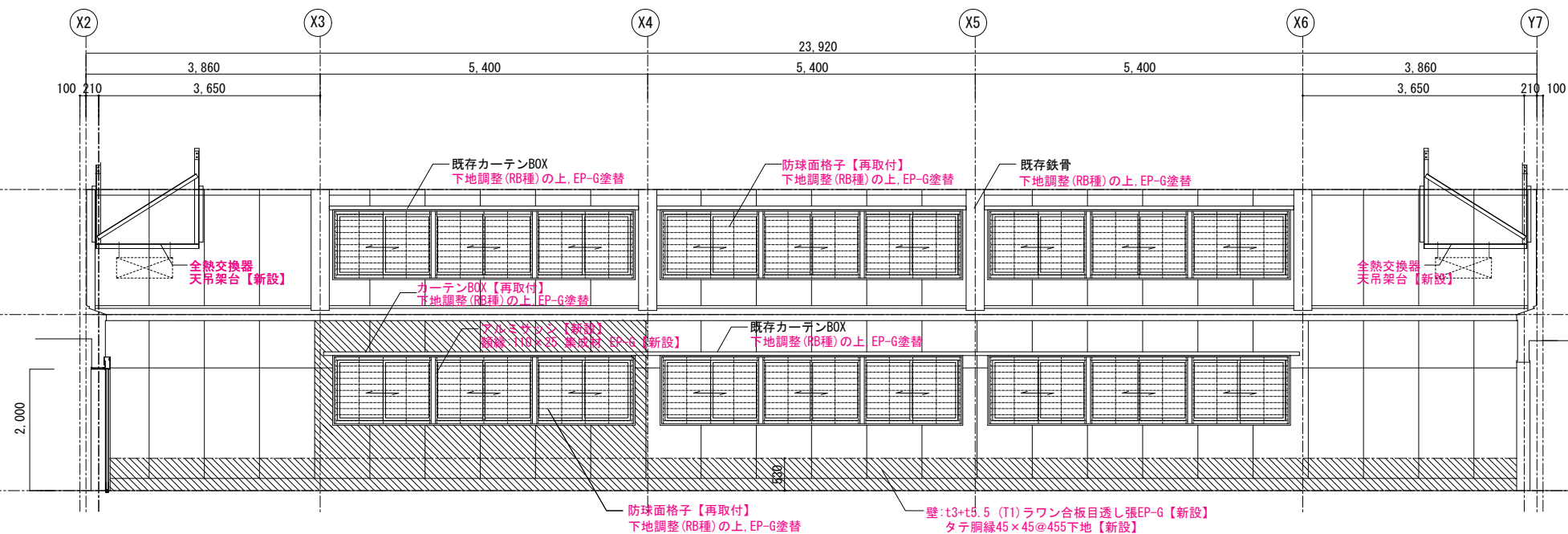
C面展開図



D面展開図

体育館		CH=
床	コンクリート金ゴテ押えの上 t15ラザコート塗【撤去】	
巾木	巾木: 24 x 200 木製SOP【撤去】	
壁	A面	既存t5.5 (T1) ラワン合板張 t3+t5.5 (T1) ラワン合板目透し張EP-G【撤去】 タテ胴縁45 x 45@455下地【撤去】
	B面	既存t5.5 (T1) ラワン合板張 t3+t5.5 (T1) ラワン合板目透し張EP-G【撤去】 タテ胴縁45 x 45@455下地【撤去】
	C面	既存t5.5 (T1) ラワン合板張 t3+t5.5 (T1) ラワン合板目透し張EP-G【撤去】 タテ胴縁45 x 45@455下地【撤去】
	D面	既存t5.5 (T1) ラワン合板張 t3+t5.5 (T1) ラワン合板目透し張EP-G【撤去】 タテ胴縁45 x 45@455下地【撤去】
	共通	既存鉄骨
天井	既存t35テクタムボードT-Hパネル板 既存鉄骨	
備考	支柱座金具・バスケット台・暗幕・点字ブロック300 x 300 x 2【撤去】 防球面格子【取外し】 バトンL=6.0, L=4.0【撤去】 カーテンBOX【既存のまま】	

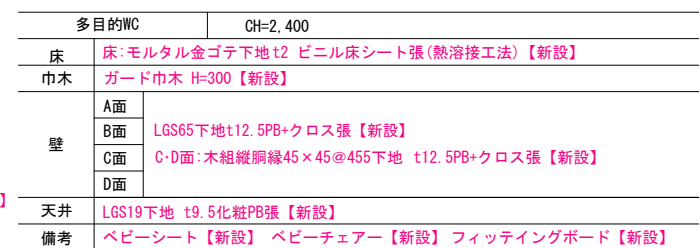
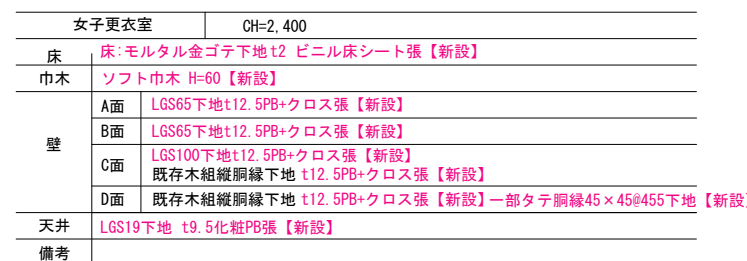
※ 赤字は、撤去・取外し部分を表す。
□ - 石綿含有みなし材を示す。



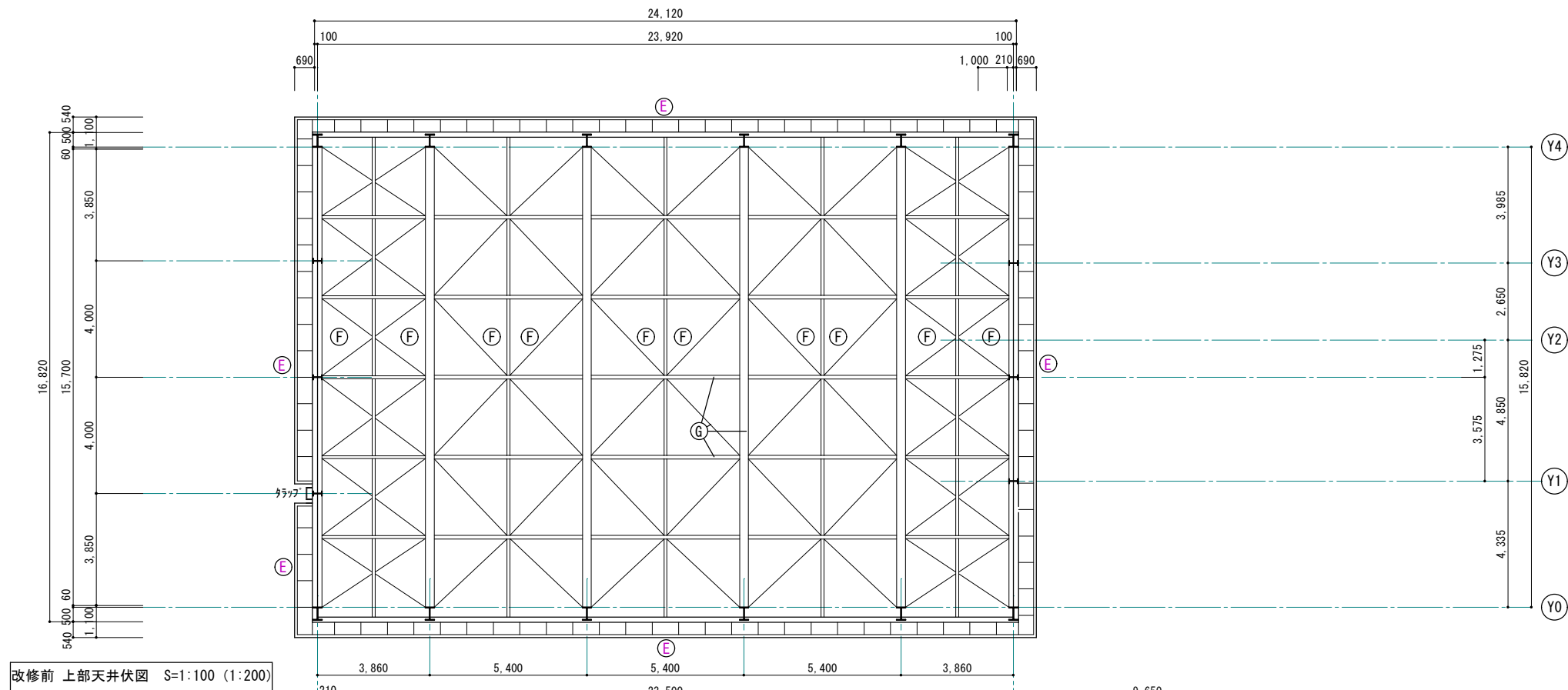
体育館		CH=
床	t10.5屋内スポーツ用長尺弾性塩ビシート張【新設】 モルタル金ゴテ下地【新設】	
巾木		
壁	A面	既存t5.5 (T1) ラワン合板張 下地調整 (RB種) の上、EP塗替 t3+t5.5 (T1) ラワン合板目透し張EP-G【新設】タテ胴縁45×45@455下地【新設】
	B面	既存t5.5 (T1) ラワン合板張 下地調整 (RB種) の上、EP塗替 t3+t5.5 (T1) ラワン合板目透し張EP-G【新設】タテ胴縁45×45@455下地【新設】
	C面	既存t5.5 (T1) ラワン合板張 下地調整 (RB種) の上、EP塗替 t3+t5.5 (T1) ラワン合板目透し張EP-G【新設】タテ胴縁45×45@455下地【新設】
	D面	既存t5.5 (T1) ラワン合板張 下地調整 (RB種) の上、EP塗替 t3+t5.5 (T1) ラワン合板目透し張EP-G【新設】タテ胴縁45×45@455下地【新設】
	共通	既存鉄骨 下地調整 (RB種) の上、EP-G塗替
天井	既存t35テクトラムボード-T-Hパネル板 下地調整 (RB種) の上、EP材吹付塗替 既存鉄骨 下地調整 (RB種) の上、EP-G塗替	
備考	コートライン:ミニバスケットボール、バレーボール、バドミントン、ポッチャ【新設】 床金具:バレー用、バドミントン用、暗幕【新設】 防球面格子【再取付】 全熱交換器天吊架台【新設】 昇降パタン【新設】※AB-902図による	

※ 赤文字は、改修部分を表す。

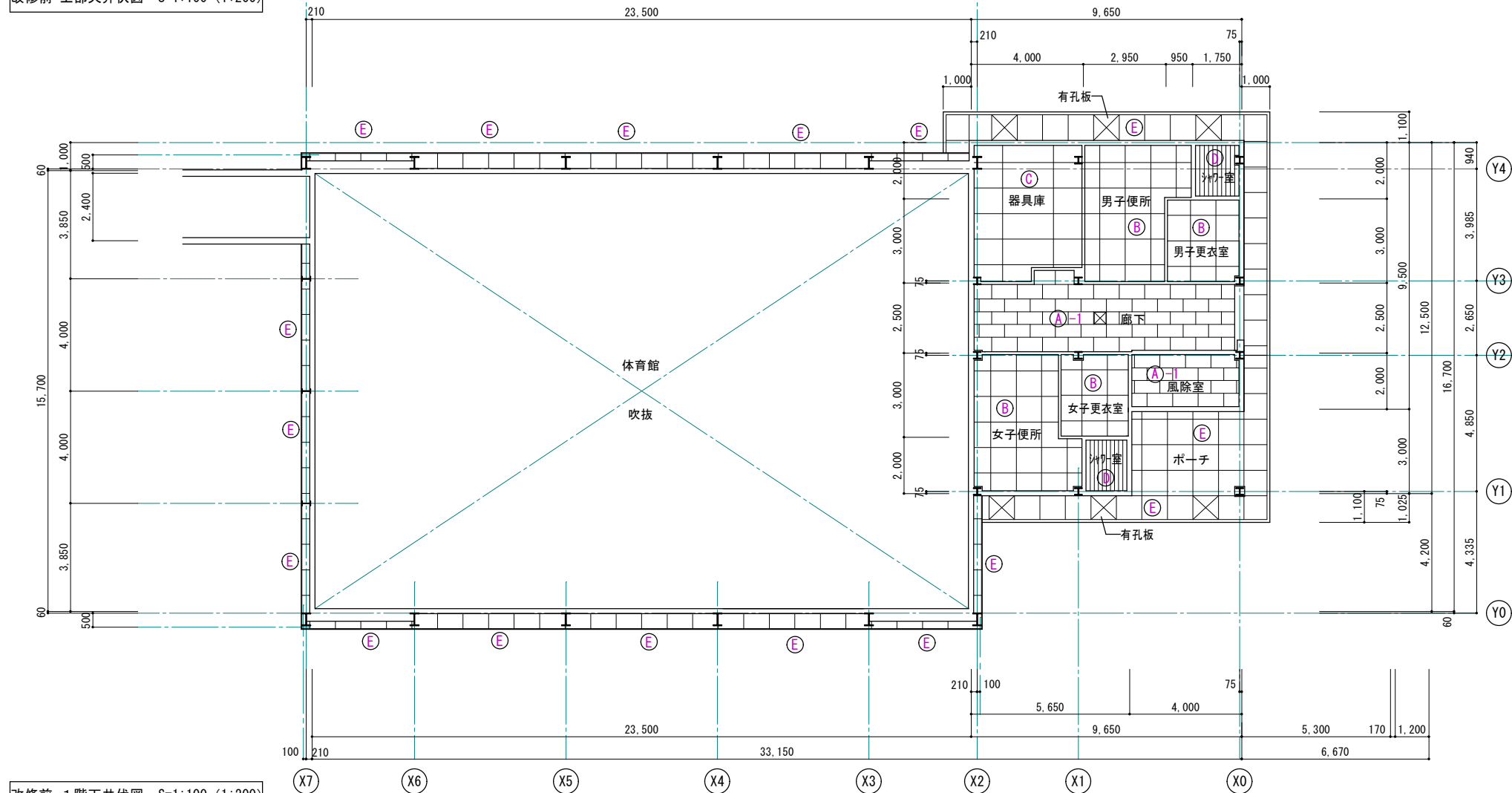




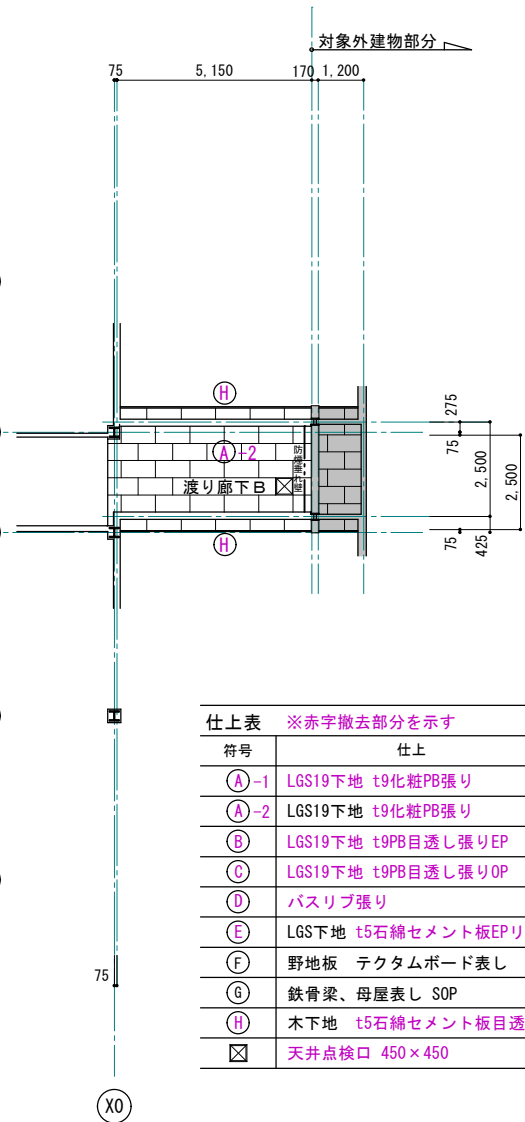
※ 赤文字は、改修部分を表す。



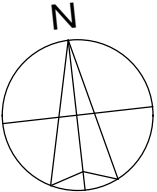
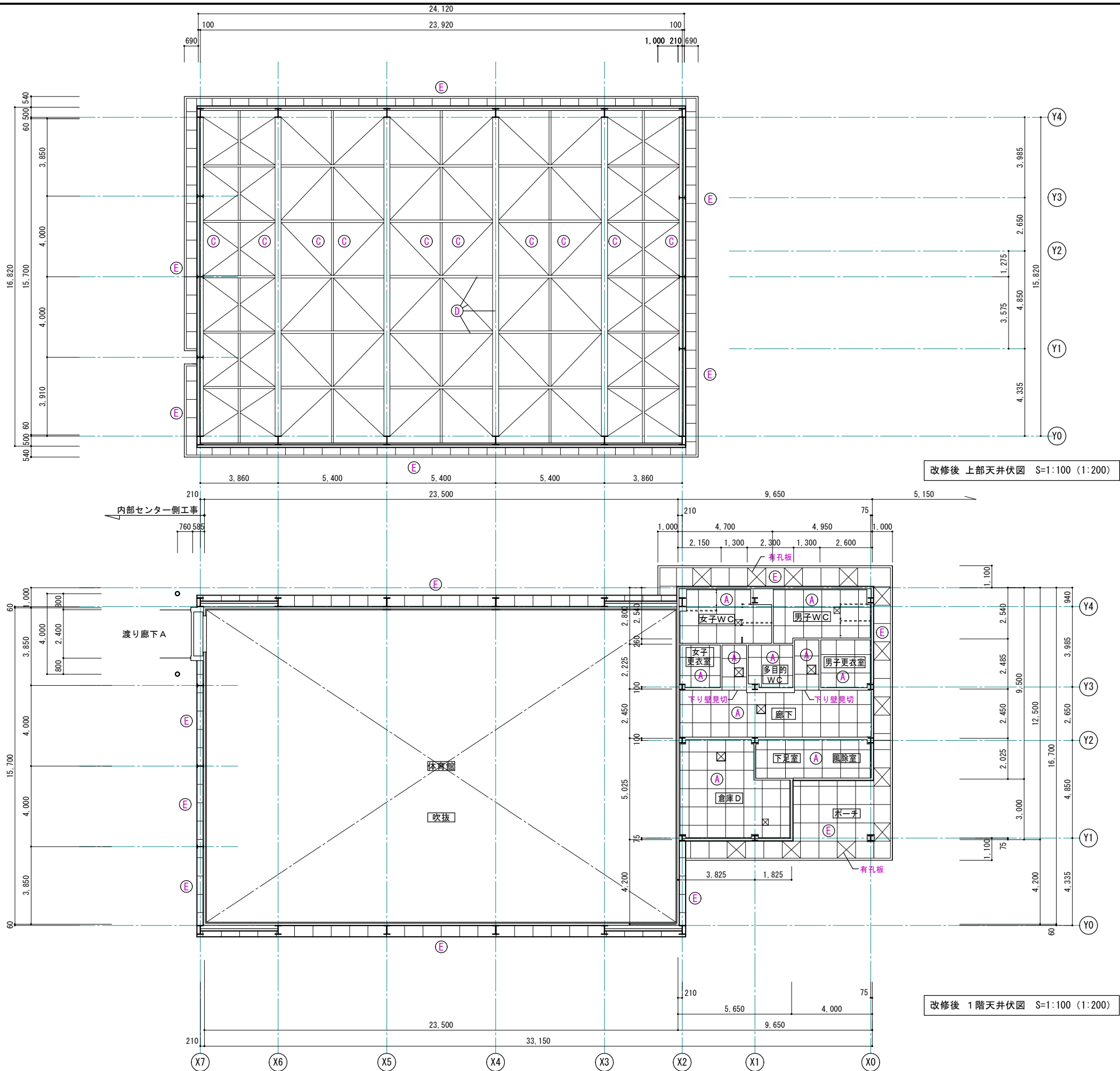
改修前 上部天井伏図 S=1:100 (1:200)



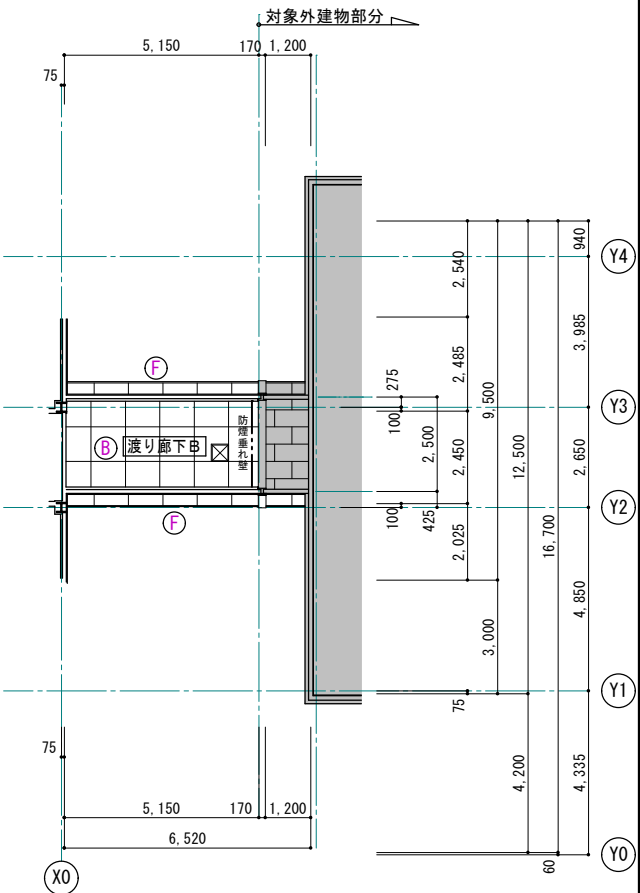
改修前 1階天井伏図 S=1:100 (1:200)



仕上表 ※赤字撤去部分を示す	
符号	仕上
(A)-1	LGS19下地 t9化粧PB張り
(A)-2	LGS19下地 t9化粧PB張り
(B)	LGS19下地 t9PB目透し張りEP
(C)	LGS19下地 t9PB目透し張りOP
(D)	パスリブ張り
(E)	LGS下地 t5石綿セメント板EPリシン吹付け、一部有孔板EP
(F)	野地板 テクタムボード表し
(G)	鉄骨梁、母屋表し SOP
(H)	木下地 t5石綿セメント板目透し張り EPリシン吹付け
☒	天井点検口 450×450



仕上表 ※赤字改修部分を示す	
符号	仕上
(A)	LGS19 @303下地 t9化粧PB張り【新設】
(B)	LGS19下地【既存のまま】t9化粧PB張り【新設】
(C)	野地板 テクタムボード表し【既存のまま】+ 下地調整(RB種)の上、EP吹付塗替え
(D)	鉄骨梁・母屋表し【既存のまま】+ 下地調整(RB種)の上、EP-G塗替え
(E)	LGS25下地【既存のまま】+ t5ケイ酸カルシウム板目透し張りDP、一部有孔板DP【新設】
(F)	木組下地【既存のまま】+ t5ケイ酸カルシウム板目透し張りDP【新設】
☒	天井点検口 450×450 5ヶ所【新設】
☒	天井開口補強 300×300 3ヶ所【新設】



1級建築士事務所 青森県知事登録第A1-1642号
株式会社 **イクラン** 一級建築士事務所
門前 孝治 1級建築士登録第213201号

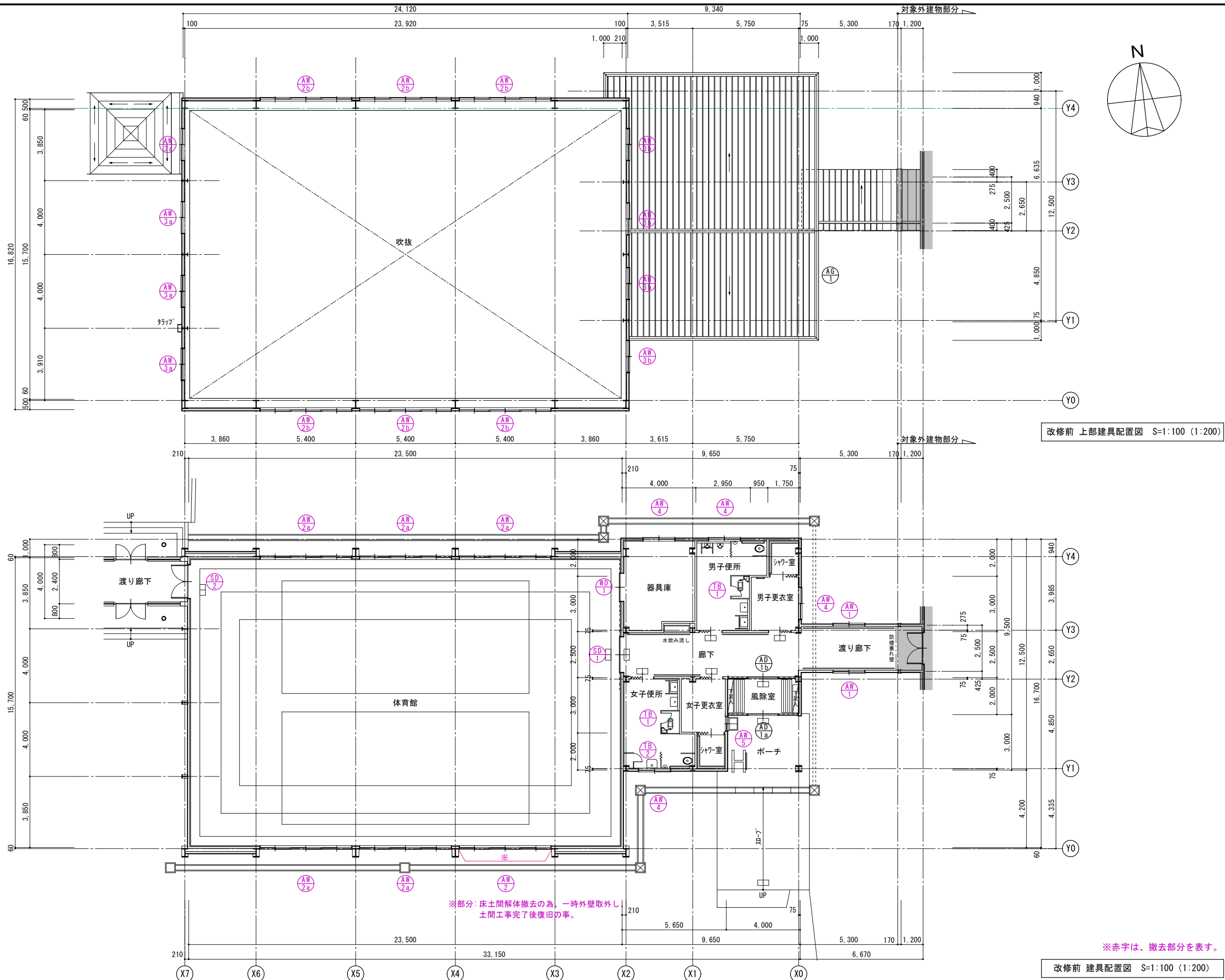
〒036-8353
青森県弘前市下輪師町11
TEL 0172-38-1900
FAX 0172-39-6168

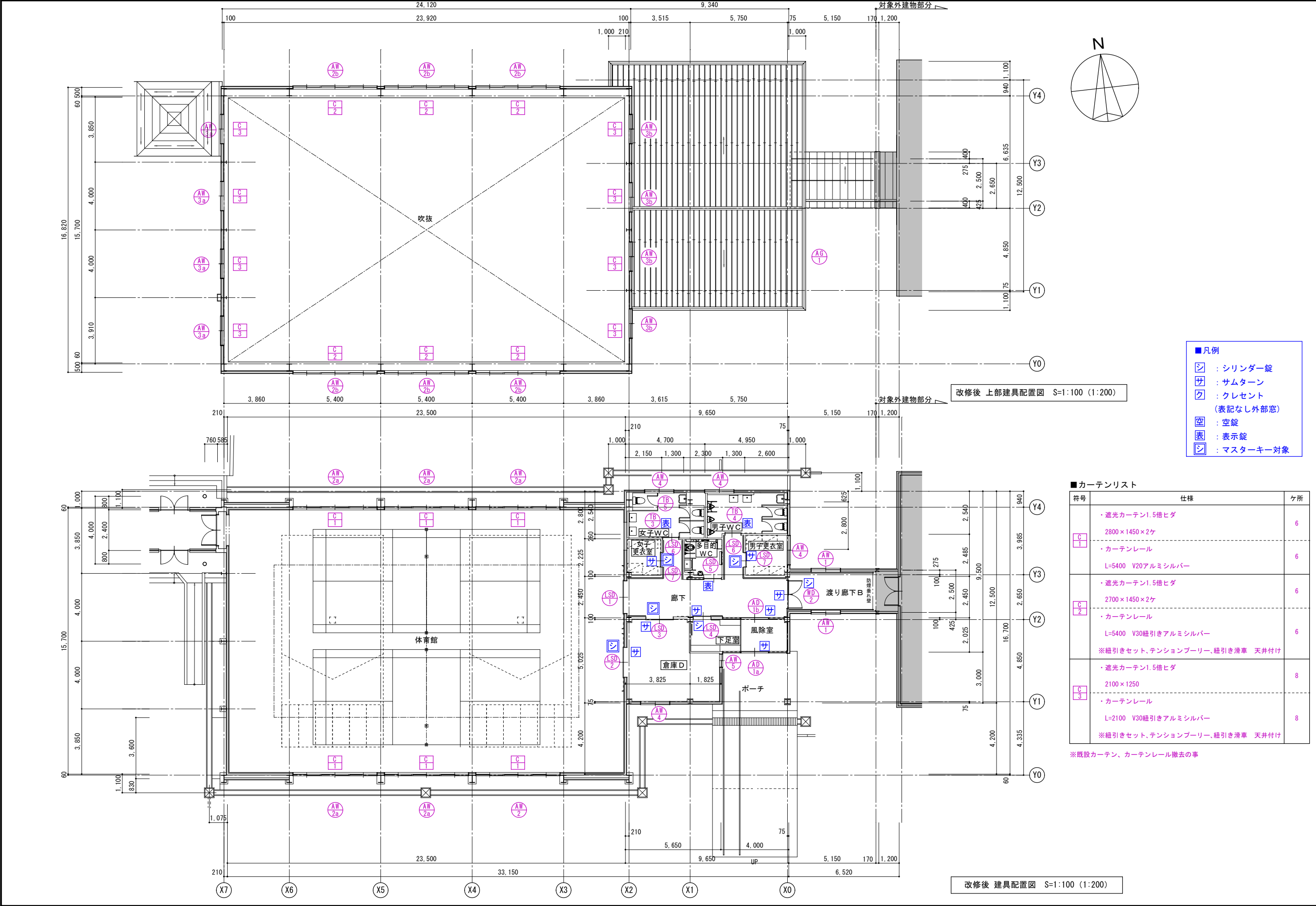
承認	設計	担当

縮尺 A1版 1:100
A3版 1:200
設計年月日 2026.06

工事名称 令和8年度 弘前市社会福祉センター改修工事（建築工事）（ゼロ市債）
図面名称 改修後 天井伏図

AB-702
NO.





- 凡例
- シ : シリンダー錠
 - サ : サムターン
 - ク : クレセント
 - (表記なし外部窓)
 - 空 : 空錠
 - 表 : 表示錠
 - シ : マスターキー対象

■カーテンリスト

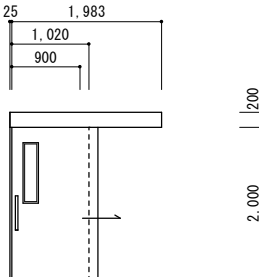
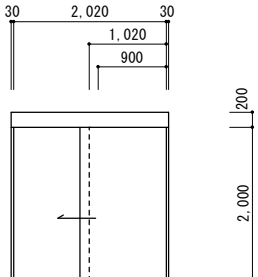
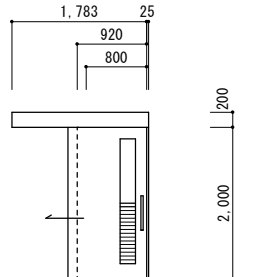
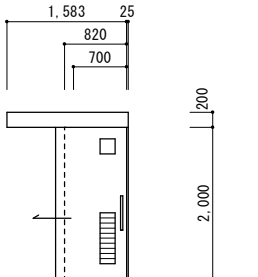
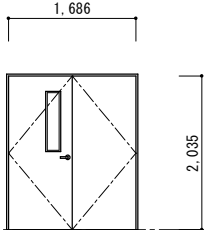
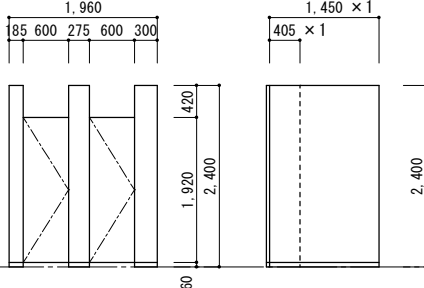
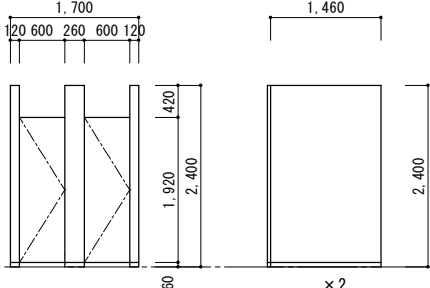
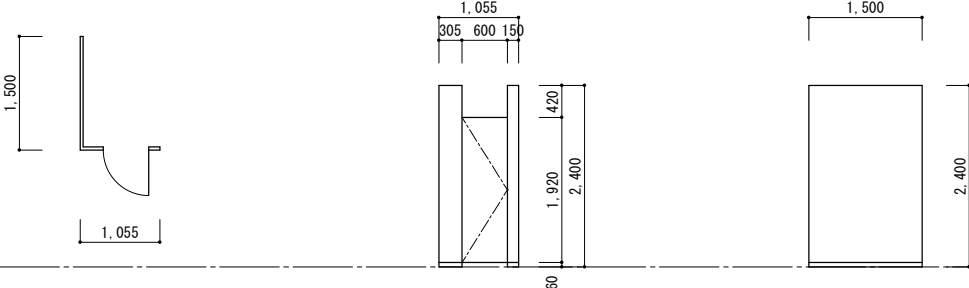
符号	仕様	ヶ所
C 1	・遮光カーテン1.5倍ヒダ 2800×1450×2ヶ ・カーテンレール L=5400 V20アルミシルバー	6
C 2	・遮光カーテン1.5倍ヒダ 2700×1450×2ヶ ・カーテンレール L=5400 V30紐引きアルミシルバー ※紐引きセット、テンションブーリー、紐引き滑車 天井付け	6
C 3	・遮光カーテン1.5倍ヒダ 2100×1250 ・カーテンレール L=2100 V30紐引きアルミシルバー ※紐引きセット、テンションブーリー、紐引き滑車 天井付け	8

※既設カーテン、カーテンレール撤去の事

■ 建具表 1 S=1:50(1:100) ※赤字は、新設・改修部分建具を表す。

符号・箇所	AD1a	×1	【外部額縁改修】	風除室	AD1b	×1	【ガラス改修】	風除室	AW1	×2	【カバー工法】	渡り廊下B	AW2	×1	【新設】	体育館				
形状	ランマ・袖 FIX+自動引分け戸				ランマ・袖 FIX+自動引分け戸				引違い窓				引違い3連窓							
▽FL																				
仕上	アルミ製				アルミ製				アルミ製サッシ カバー工法				アルミ製サッシ カバー工法							
硝子	FL 5、ランマ FL 3【既存のまま】				t6.8真空ガラス				LOW-E3+A12+FL3				LOW-E3+A12+FL3							
金物	付属金物一式【既存のまま】				付属金物一式【既存のまま】				クレセント、網戸、その他付属金物一式				クレセント、網戸、その他付属金物一式							
	外部額縁三方:アルミ製 25×L40								外部額縁三方:アルミ製 25×L40、水切:アルミ製 L45				外部額縁三方:アルミ製 横25×L50、竪50×L50、水切:アルミ製L55 内部額縁アングル							
符号・箇所	AW2a	×5	AW2b	×6	【カバー工法】	体育館	AW3a	×4	AW3b	×4	【カバー工法】	体育館	AW4	×4	【カバー工法】	倉庫D・男子更衣室・男女WC	AW5	×1	【カバー工法】	倉庫D
形状	引違い3連窓				引違い窓				引違い窓				引違い窓							
▽FL																				
	※（ ）内は、AW-2bを表す。																			
仕上	アルミ製サッシ カバー工法				アルミ製サッシ カバー工法				アルミ製サッシ カバー工法				アルミ製サッシ カバー工法							
硝子	LOW-E3+A12+FL3				LOW-E3+A12+FL3				LOW-E3+A12+F4				LOW-E3+A12+F4							
金物	クレセント、網戸 (AW-2a:5ヶ所のみ)、その他付属金物一式				クレセント、その他付属金物一式				クレセント、網戸、その他付属金物一式				クレセント、網戸、その他付属金物一式							
	AW-2a 外部額縁三方:アルミ製 横25×L50、竪50×L50、水切:アルミ製L55 AW-2b 外部額縁三方:アルミ製 25×L40、水切:L45				外部額縁三方:アルミ製 25×L40、水切:アルミ製 L45				外部額縁三方:アルミ製 25×L40、水切:アルミ製 L45				外部額縁三方:アルミ製 25×L40、水切:アルミ製 L45							
符号・箇所	AG1	×1	【外部額縁三方・水切改修】		LSD1	×1	【新設】	体育館	LSD2	×1	【新設】	倉庫D	LSD3	×1	【新設】	倉庫D				
形状	ガラリ				自動閉鎖装置付引分け戸 (カームスライダースリット同等品)				自動閉鎖装置付引分け戸 (カームスライダースリット同等品)				自動閉鎖装置付引分け戸 (ガラリ付)							
▽FL																				
仕上	アルミ製				枠:t1.6垂鉛めっき鋼板EP-G 扉:t1.6垂鉛めっき鋼板EP-G				枠:t1.6垂鉛めっき鋼板EP-G 扉:t1.6垂鉛めっき鋼板EP-G				枠:t1.6垂鉛めっき鋼板EP-G 扉:t0.5木目鋼板							
硝子																				
金物	附属金物一式				堀込引手、駆動方式 (定トルクばね式)、ステンレス下レール、				堀込引手、駆動方式 (定トルクばね式)、ステンレス下レール、				ステンレス天然木抗菌ハンドルL=450、駆動方式 (定トルクばね式)、							
	外部額縁三方:アルミ製 25×L40、水切:アルミ製 L45				三方枠A=235、その他付属金物一式				シリンダー錠+サムターン、三方枠A=235、その他付属金物一式				ステンレス床見切W40、シリンダー錠+サムターン、三方枠A=155、その他付属金物一式							

■ 建具表 2 S=1:50(1:100) ※赤字は、新設・改修部分を表す。

符号・箇所	LSD 4 ×1 【新設】	下足室	LSD 5 ×1 【新設】	多目的WC	LSD 6 ×2 【新設】	男子・女子WC	LSD 7 ×2 【新設】	男子・女子更衣室
形 状	自動閉鎖装置付片引き戸		電動両面戸袋納まり引き戸		自動閉鎖装置付片引き戸(ガラリ付)		自動閉鎖装置付片引き戸(ガラリ付)	
▽FL								
仕 上	枠:t1.6垂鉛めっき鋼板EP-G 扉:t0.5木目鋼板		枠:t1.6垂鉛めっき鋼板EP-G 扉:t0.5木目鋼板		枠:t1.6垂鉛めっき鋼板EP-G 扉:t0.5木目鋼板		枠:t1.6垂鉛めっき鋼板EP-G 扉:t0.5木目鋼板	
硝 子	F4		見込36		見込36		見込36	
金 物	ステンレス天然木抗菌ハンドルL=450、駆動方式(定トルクばね式)、 ステンレス床見切W40、シリンダー錠+サムターン、三方枠A=155、その他付属金物一式		駆動方式(電動式)、多機能トイレ用スイッチ、ステンレス床見切W40、三方枠A=130 その他付属金物一式		ステンレス天然木抗菌ハンドルL=450、駆動方式(定トルクばね式)、 ステンレス床見切W40、三方枠A=110、その他付属金物一式		ステンレス天然木抗菌ハンドルL=450、駆動方式(定トルクばね式)、 ステンレス床見切W40、シリンダー錠+サムターン、三方枠A=110、その他付属金物一式	
符号・箇所	WD 2 ×1 【新設】	渡り廊下B						
形 状	両開き戸							
▽FL								
仕 上	木製既製品		枠見込110					
硝 子	ミスト調ガラス							
金 物	レバーハンドル、本締錠(シリンダー・サムターン)、T番、戸当り、フランス落し その他付属金物一式							
符号・箇所	TB 3 ×1 【新設】	女子WC	TB 4 ×1 【新設】	男子WC	TB 5 ×1 【新設】	女子WC		
形 状	トイレブース(天井までタイプ)		トイレブース(天井までタイプ)		トイレブース(天井までタイプ)			
▽FL								
仕 上	メラミン樹脂化粧板		メラミン樹脂化粧板		メラミン樹脂化粧板			
硝 子								
金 物	アルミRエッジ、アルミエッジ、ステンレス巾木、中心吊グレビティヒンジ、 内開き錠、その他付属金物一式		アルミRエッジ、アルミエッジ、ステンレス巾木、中心吊グレビティヒンジ、 内開き錠、その他付属金物一式		アルミRエッジ、アルミエッジ、ステンレス巾木、中心吊グレビティヒンジ、 内開き錠、その他付属金物一式			

1級建築士事務所 青森県知事登録第A1-1642号

 株式会社 **エクラ** 一級建築士事務所
門前 孝治 1級建築士登録第213201号

〒036-8353

青森県弘前市下輪師町11
T E L 0172-38-1900
F A X 0172-39-6168

承認	設計	担当	

縮尺

A1版 1:50
A3版 1:100

設計年月日

2026.03

工事名称

令和8年度 弘前市社会福祉センター改修工事（建築工事）（ゼロ市債）

図面名称

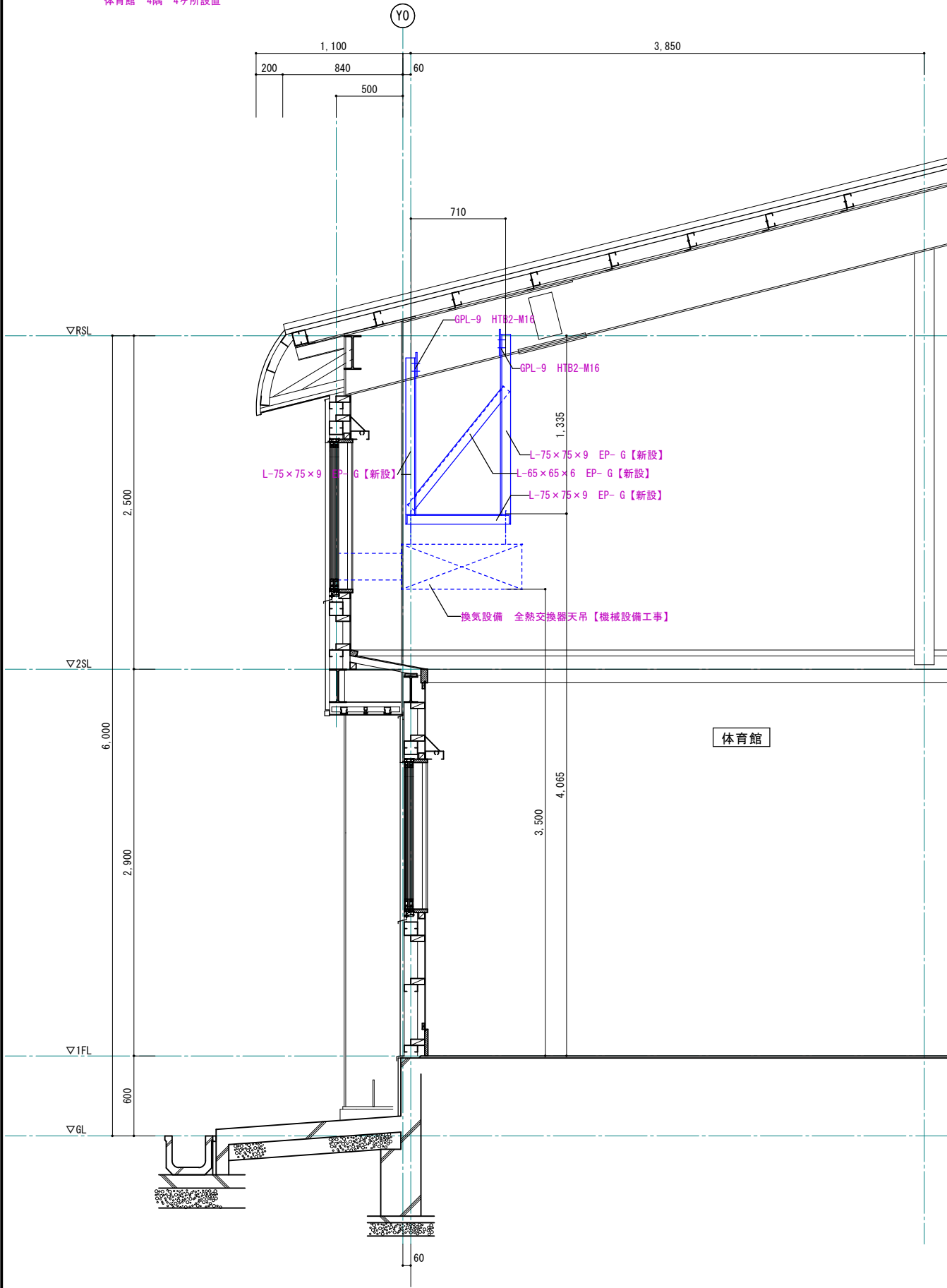
改修後 建具表 2

AB-805

NO.

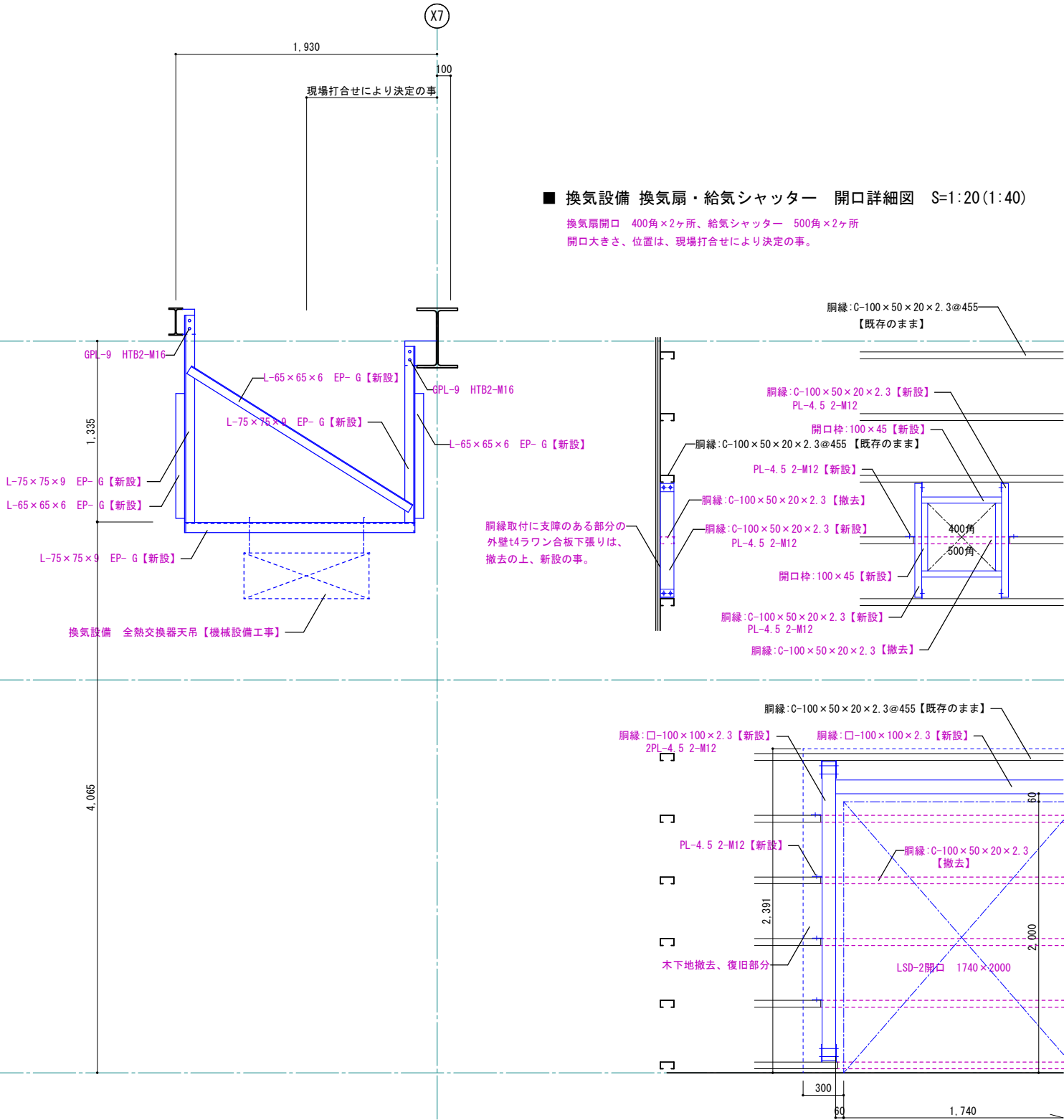
■ 換気設備 全熱交換器天吊 架台詳細図 S=1:20 (1:40)

体育館 4隅 4ヶ所設置

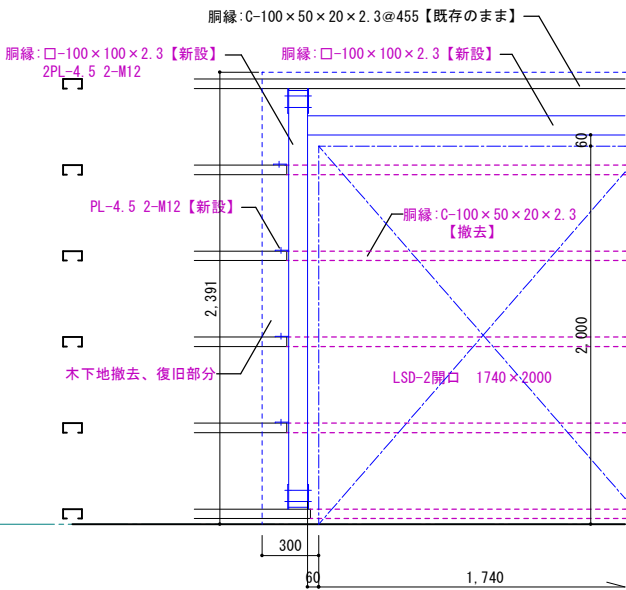


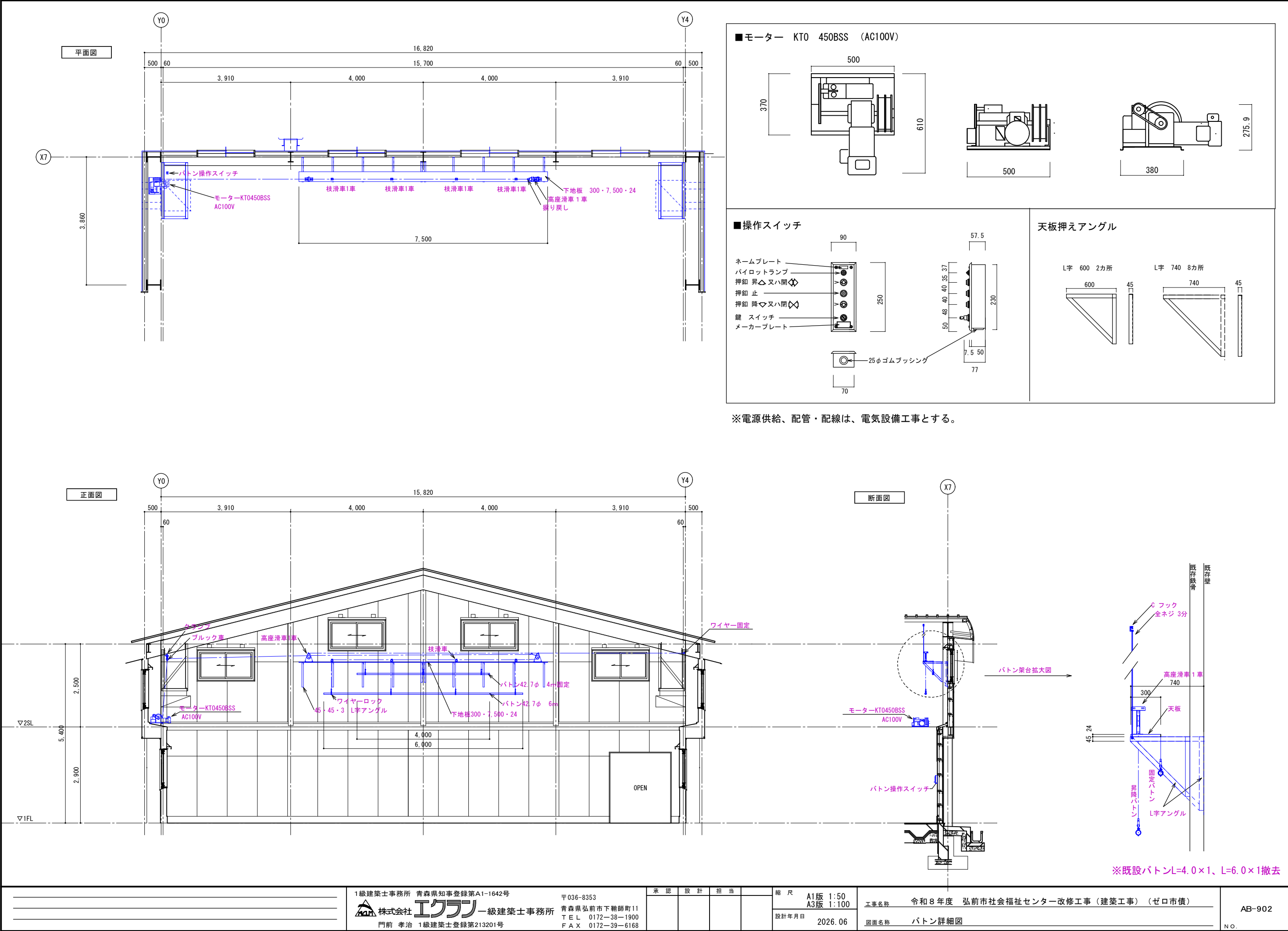
■ 換気設備 換気扇・給気シャッター 開口詳細図 S=1:20 (1:40)

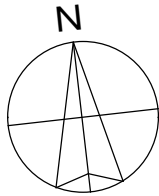
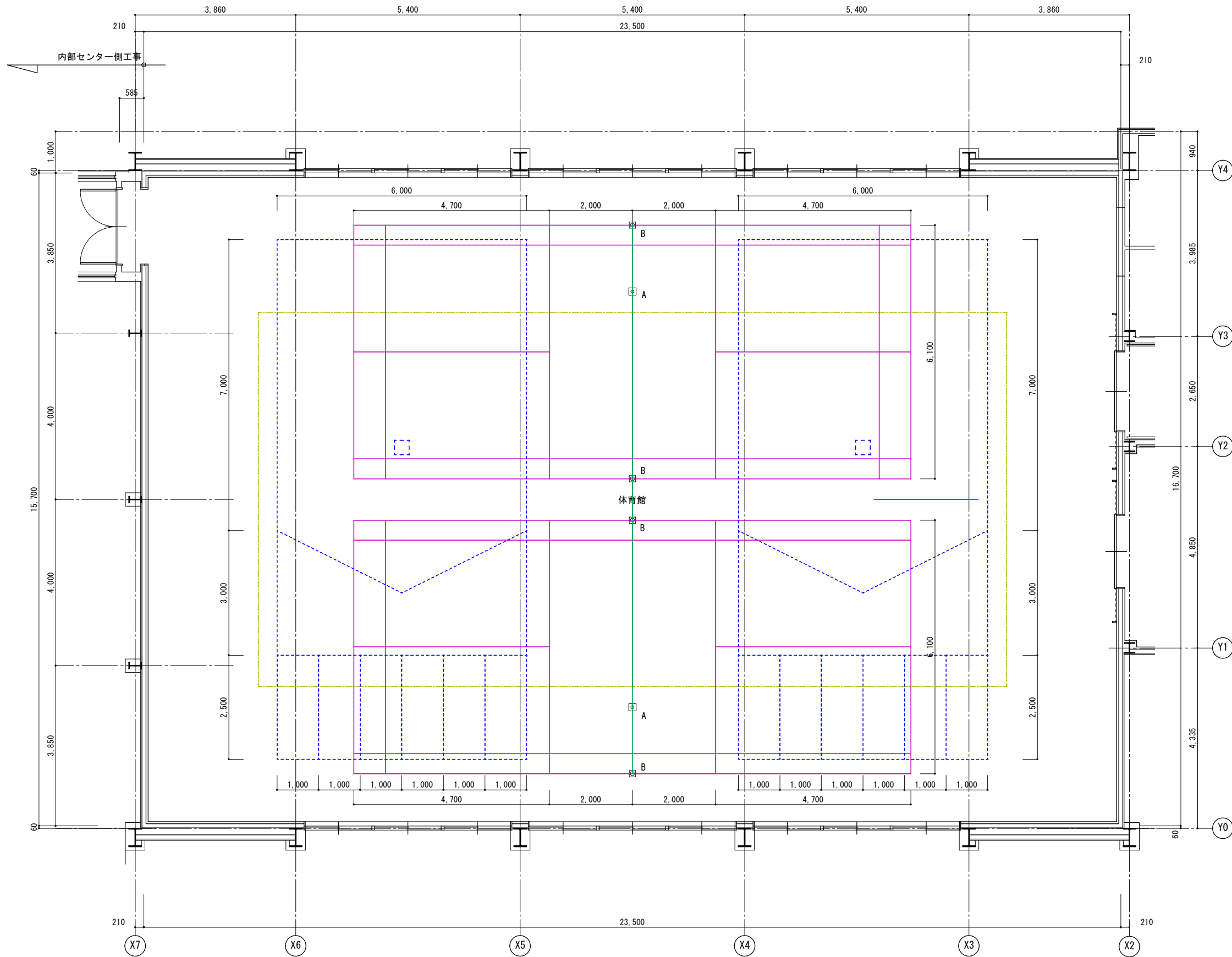
換気扇開口 400角×2ヶ所、給気シャッター 500角×2ヶ所
開口大きさ、位置は、現場打合せにより決定の事。



■ LSD-2 開口詳細図 S=1:20 (1:40)







■凡例

線 種	仕 様	
---	バレーボール6人制 18,000×9,000	1面
---	バドミントンダブルス 13,400×6,100	2面
---	ポッチャ 12,500×6,000	2面
---	防球ネット中央間仕切 両開きチェーン操作式 ポリエチレン100角目	1張
⊠A	床金具(バレー用)アルミ合金製 塗床用	2ヶ所
⊠B	床金具(バドミントン用)アルミ合金製 塗床用	4ヶ所

改修後 コートライン平面図 S=1:50 (1:100)

1級建築士事務所 青森県知事登録第A1-1642号

株式会社 **イクラン** 一級建築士事務所
門前 孝治 1級建築士登録第213201号

〒036-8353

青森県弘前市下輪師町11
TEL 0172-38-1900
FAX 0172-39-6168

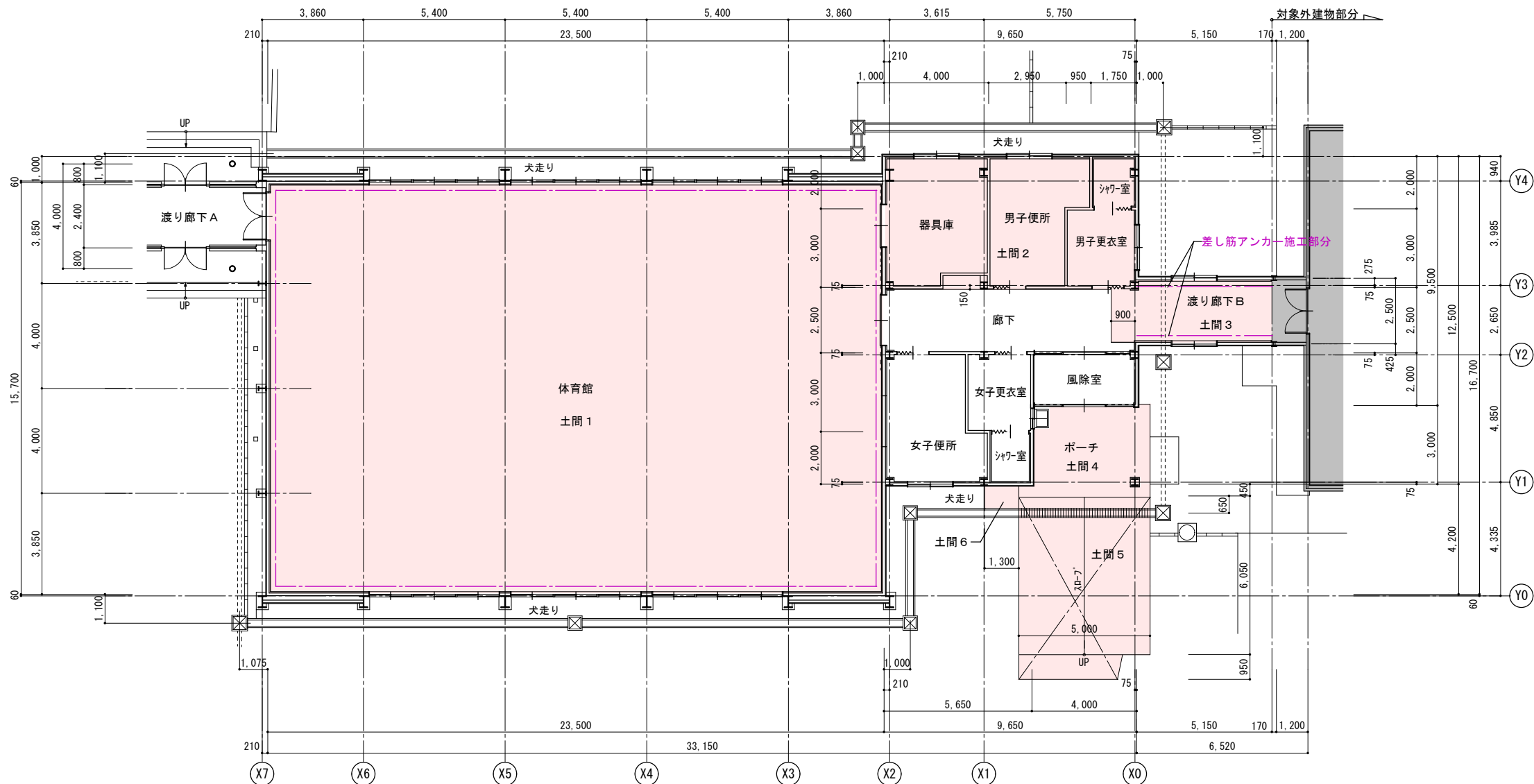
承認	設計	担当

縮尺	A1版 1:50 A3版 1:100
設計年月日	2026.06

工事名称	令和8年度 弘前市社会福祉センター改修工事（建築工事）（ゼロ市債）
図面名称	改修後 コートライン平面図

AB-903

NO.



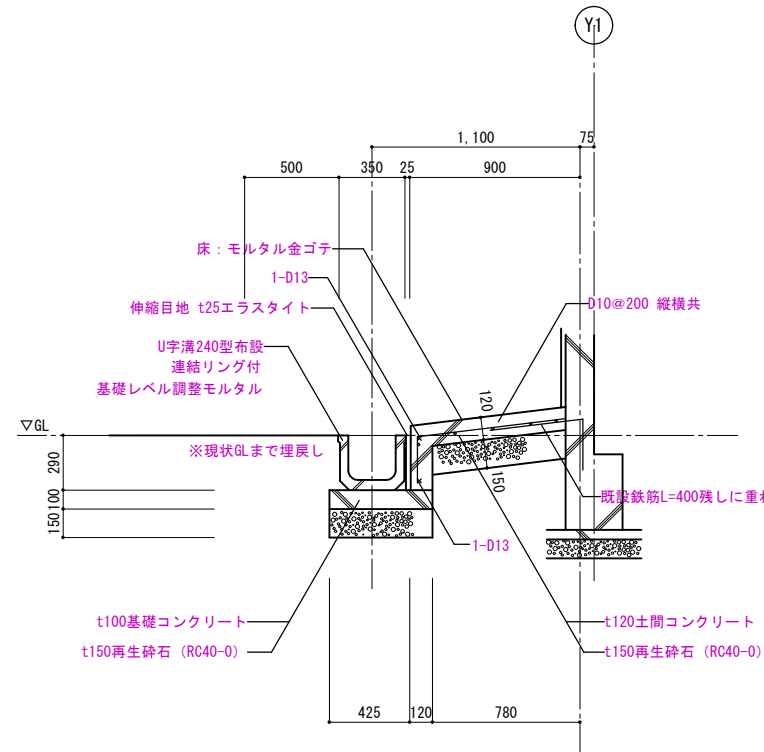
平面図 S=1:100 (1:200)

■ 土間解体・復旧リスト

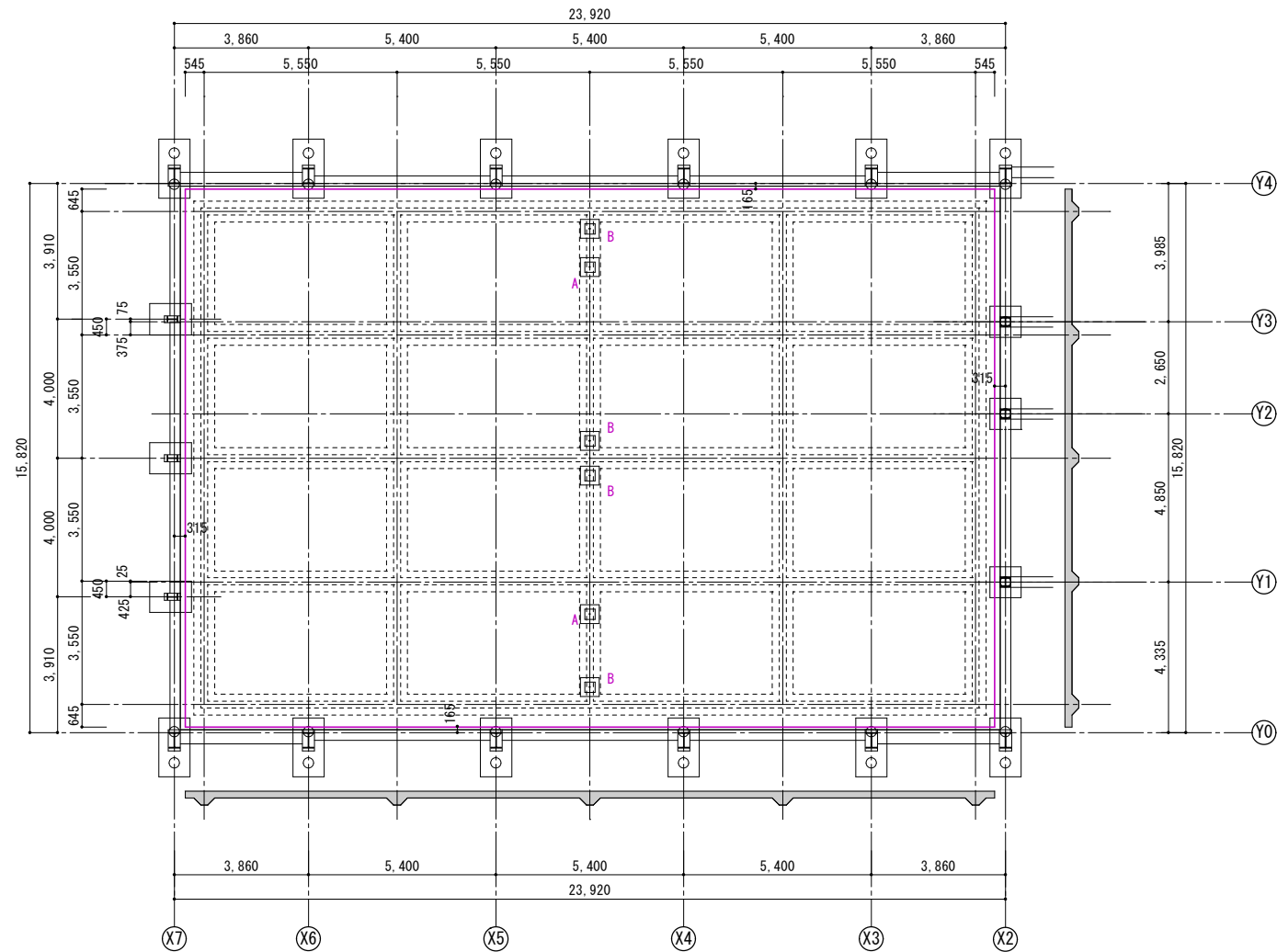
土間1	撤去	t120コンクリート (D10@200クロス) +t20スタイロフォーム+t30捨てコンクリート+t120割栗地業
	復旧	t200コンクリート (配筋: 詳細図による) +t30押出法ポリスチレンフォーム+t0.15土間シート+t30砂敷+再生砕石 (RC40-0) GLまで
土間2	撤去	t120コンクリート (D10@250クロス) +t20スタイロフォーム+t30捨てコンクリート+t120割栗地業
	復旧	t120コンクリート (D10@200 縦横共) +t30押出法ポリスチレンフォーム+t0.15土間シート+t30砂敷+t120再生砕石 (RC40-0)
土間3	撤去	t120コンクリート (D10@250クロス) +t20スタイロフォーム+t30捨てコンクリート+t120割栗地業
	復旧	t120コンクリート (D10@200 縦横共) +t30押出法ポリスチレンフォーム+t0.15土間シート+t30砂敷+再生砕石 (RC40-0) ベース下まで
土間4	撤去	t120コンクリート (D10@250クロス) +t120割栗地業
	復旧	t120コンクリート (D10@200 縦横共) +t120再生砕石 (RC40-0)
土間5	撤去	t120コンクリート (D10@250クロス) +t120割栗地業
	復旧	t120コンクリート (D10@200 縦横共) +t150再生砕石 (RC40-0)
土間6	撤去	t120コンクリート (D10@300クロス) +t120割栗地業
	復旧	t120コンクリート (D10@200 縦横共) +t150再生砕石 (RC40-0)

■ 凡例

	土間解体・撤去部分
	鉄筋切断部分
	その他は、既設鉄筋 L=400残し



■土間6 復旧詳細図 S=1:20 (1:40)

[illegible]

※赤字は、新設を表す。

コンクリート縁石詳細図 S=1:20 (1:40)

